



LEICA D-LUX

取扱説明書

取扱説明書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。

「目次」から探す

➡ P.4 ~

機能から探す

—機能別目次—

➡ P.10 ~

「各部の名前と働き」から探す

➡ P.14 ~

「モニター / ファインダーの表示

一覧」から探す

➡ P.263 ~

カメラに表示されたメッセージ

から探す

—メッセージ表示—

➡ P.269 ~

メニュー名から探す

—メニュー一覧—

➡ P.273 ~

撮影.....P.273

セットアップ.....P.278

動画.....P.275

再生.....P.279

カスタム.....P.276

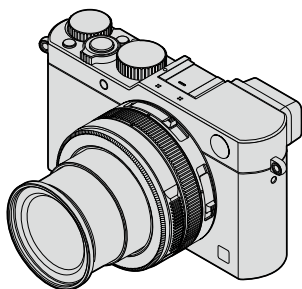
「Q&A 故障かな?と思ったら」

から探す

➡ P.280 ~

本書の詳しい読み方は、次ページへ

Wi-Fi については、221 ページへ



撮影モード表示について

撮影モード：**A P A S M**

アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニューや機能を選択／実行できます。

■本文中の記号について

MENU [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定を示しています。

WIFI [WIFI] ボタンを押して Wi-Fi の設定を示しています。

[AF/AE]、[DISP]、[▶] などは、それぞれの表示のボタンを示しています。



[カスタム] メニューで設定を行う項目を示しています。



上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。



特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(→00) 参照ページを示しています。



クリックすると、説明が次のページに続きます。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → []

- ・本文中の参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- ・Adobe Reader の画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- ・お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

■ 知りたいことの探し方	2	■ 機能別目次	10
■ 本書の見方	3		

はじめに

■ ご使用の前に	12	■ 各部の名前と働き	14
■ 付属品	13	[MENU/SET] ボタン / カーソルボタン /	
■ 別売品	13	コントロールダイヤル	18

準備

■ レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける	19	■ [セットアップ] メニューを使う	41
■ バッテリーを充電する	20	[時計設定]	41
バッテリー残量の表示	21	[ワールドタイム]	41
撮影可能枚数や使用時間の目安	22	[トラベル日付]	42
■ バッテリーやカードを入れる・ 取り出す	24	[Wi-Fi]	42
■ カードについて	25	[電子音]	43
カードをフォーマット（初期化）する	26	[ライブビューモード]	43
記録可能枚数・時間の目安	27	[モニター調整] / [EVF 調整]	44
■ 時計を合わせる	29	[モニター輝度]	45
時計を合わせ直す	30	[スリープモード]	46
■ メニューを使って設定する	31	[USB モード]	47
■ クイックメニュー	34	[テレビ接続設定]	47
クイックメニューをお好みの項目に 変更する	35	[メニュー位置メモリー]	49
■ よく使う機能をボタンに割り当てる （ファンクションボタン）	37	[メニューインフォメーション]	49
■ コントロールリングで設定を 変更する	39	[言語設定]	49
コントロールリングの設定を変更する	40	[バージョン表示]	50
		[セルフタイマー自動解除]	50
		[番号リセット]	50
		[設定リセット]	50
		[Wi-Fi 設定リセット]	51
		[フォーマット]	51
		■ 文字を入力する	52

基本

■ カメラの構え方	53	■ 画像を見る	67
■ ファインダー撮影について	54	動画を見る	70
モニターとファインダーを切り換える	54	■ 再生画面の表示情報を切り換える	71
アイセンサー AF について	55	■ 写真や動画を消す（消去）	73
■ 写真を撮る	56	1 枚消去	73
■ 動画を撮る	58	複数消去（100 枚まで） /	
■ 撮影モードを選ぶ	59	全画像を消去する	74
■ 撮影画面の表示情報を切り換える	62		

撮影モード

■ スナップショットモード	75	■ 絞り値とシャッタースピードを	
手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景）	78	設定して撮る	80
階調豊かな写真に合成する（iHDR）	79	絞り値とシャッタースピードを自動で	
		設定して撮る（プログラムモード）	81
		絞り値を決めて撮る	
		（絞り優先モード）	83
		シャッタースピードを決めて撮る	
		（シャッター優先モード）	84
		絞り値とシャッタースピードを決めて	
		撮る（マニュアル露出モード）	86
		絞り効果 / シャッタースピード効果を	
		確認する（プレビューモード）	88

画像効果（フィルター）

■ 画像効果を加えて撮る	
（フィルター）	89

画質・色合いの設定

■ 効果をつけて画質を調整する (フォースタイル)	100	■ 画像補正機能を使いこなす	111
■ 明るい / 暗い部分を調整する (ハイライトシャドウ)	102	コントラストや露出を補正する (iD レンジコントロール)	111
■ ホワイトバランスを調整する	103	解像感を高める (超解像)	111
■ 画質とサイズを設定する	107	露出の異なる写真を合成する (HDR)	112
写真の横縦比を変える	107	長秒露光時のノイズを低減する (長秒ノイズ除去)	113
記録画素数を設定する	108	色空間を設定する	113
画像の圧縮率を設定する (クオリティ)	109		

ピント・明るさ (露出) の設定

■ 自動でピントを合わせる (オートフォーカス)	114	■ 手動でピントを合わせる (マニュアルフォーカス)	128
フォーカスモードを選ぶ (AFS、AFF、AFC)	114	MF アシスト	131
オートフォーカスモードを 切り換える	115	■ ピントや露出を固定して撮る	133
AF エリアの位置や大きさを 変更する	121	■ 露出を補正して撮る	135
ピントの合わせ方をお好みに 設定する	124	■ ISO 感度を設定する	136
■ 近づいて撮る	126	ISO 感度の上限を設定する	137
ピントの合う範囲	126	ISO 感度のステップ幅を設定する	138
		ISO 感度を拡張する	138
		■ 測光モードを設定する	139

シャッター・ドライブの設定

■ シャッター方式を設定する	140	■ 横縦比を自動的に変えて撮る (アスペクトブラケット)	147
■ ドライブモードを選ぶ	141	■ セルフタイマーで撮る	148
■ 連写する	142	■ パノラマ写真を撮る	150
■ 露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット)	145		

被写体・目的に合わせた機能

- 一定の間隔で自動的に撮影する
（インターバル撮影）..... 153
- ストップモーション動画の作成
（コマ撮りアニメ）..... 156
- 1枚の写真に複数回の露出をする
（多重露出）..... 160
- 操作音と発光の禁止を一括で設定
する（サイレントモード）..... 162
- 個人認証機能を使って撮る
（個人認証）..... 163
- 赤ちゃんやペットのプロフィールを
設定して画像に記録する 166
- 撮影に適した画面表示にする 167

手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

- 手ブレを補正する 169
- ズームを使って撮る 171
 - ズームの種類と用途 172
- 付属のフラッシュを使って撮る 177
 - フラッシュを取り付ける 177
 - 発光モードを変更する
（マニュアルフラッシュ） 180
 - フラッシュモードを切り換える 181
 - 後幕シンクロに設定する 183
 - フラッシュの発光量を調整する 184
 - 露出補正時にフラッシュ発光量を
連動させる 184

動画を撮影する

- 動画を撮る 185
 - 解像度とフレームレートを設定する 185
 - 動画撮影時のピントの合わせ方
（AF 連続動作） 186
 - 動画を撮る 187
 - 4K動画を撮る 191
 - 4K動画から高画質の写真を作成する
（4K フォト） 192
- 動画撮影中に写真を撮影する 195
- [動画] メニューを使う 196
 - [4K フォト] 196
 - [画質設定] 196
 - [写真撮影] 196
 - [AF 連続動作] 196
 - [マイクレベル表示] 197
 - [マイクレベル設定] 197
 - [風音低減] 197

再生・編集

■ グループ画像を見る	198	[コマ撮りアニメ作成]	212
■ 動画から写真を切り出す	200	[リサイズ (縮小)]	
■ [再生] メニューを使う	201	画像サイズ (画素数) を小さくする	213
[スライドショー]	201	[トリミング (切抜き)]	
[再生モード]	203	画像を切り抜く	214
[位置情報記録]	204	[画像回転] / [縦位置自動回転]	215
[RAW 現像]	205	[お気に入り]	216
[タイトル入力]	208	[プリント設定]	217
[文字焼き込み]	209	[プロテクト]	218
[動画分割]	211	[認証情報編集]	219
[インターバル動画作成]	212	[画像表示順]	220
		[消去確認画面]	220

Wi-Fi

■ Wi-Fi® 機能 / NFC 機能について	221	■ 接続について	239
■ Wi-Fi 機能でできること	224	[ネットワーク経由]	
■ スマートフォンとつないで使う	225	無線アクセスポイントを経由して	
スマートフォン / タブレットアプリ		接続する	240
「Leica Image Shuttle」を		[直接接続]	
インストールする	225	直接接続する	243
スマートフォンと接続する	226	以前と同じ設定で素早く接続する	
NFC 機能を使って、		([履歴から接続する] /	
スマートフォンと接続する	230	[お気に入りから接続する])	244
スマートフォンで撮影する		画像の送信設定について	246
(リモート撮影)	231	■ [Wi-Fi 設定]	247
カメラの画像を再生する	232		
カメラの画像を保存する	232		
カメラの画像を簡単に転送する	233		
カメラの画像を SNS へ送信する	234		
スマートフォンから、カメラの画像に			
位置情報を追加する	234		
カメラを操作してスマートフォンに			
画像を送る	236		

他の機器との接続

■ 4K 動画を楽しむ.....	248	■ 写真や動画をレコーダーに残す	256
4K 動画を見る	248	カードをレコーダーに入れて	
4K 動画を残す	248	ダビングする	256
■ テレビで見る.....	249	AV ケーブルを使って再生映像を	
HDTV リンク (HDMI) (HDAVI		ダビングする	256
Control™) を使う.....	251	■ プリントする.....	257
■ パソコンに撮影した画像データを		[複数プリント]	258
コピーする.....	253	写真に日付や文字を入れる	259
写真、動画を取り込む.....	254	本機でプリントの各種設定をする	260

その他 Q&A

■ 外部フラッシュ.....	261	■ メニュー一覧.....	273
■ モニター / ファインダーの		■ Q&A 故障かな? と思ったら	280
表示一覧	263	■ 使用上のお願いとお知らせ	294
■ メッセージ表示.....	269	■ ライカサービスアドレス	301



撮影

撮影

撮影モード.....	P.59
プレビュー.....	P.88
画像効果（フィルター）.....	P.89
マクロ撮影.....	P.126
パノラマ.....	P.150
インターバル撮影.....	P.153
コマ撮りアニメ.....	P.156
多重露出.....	P.160
サイレントモード.....	P.162

ピント（AF/MF）

フォーカスモード.....	P.114
オートフォーカスモード.....	P.115
AF エリアの位置移動.....	P.121
マニュアルフォーカス.....	P.128
AF/AE ロック.....	P.133

露出

AF/AE ロック.....	P.133
露出補正.....	P.135
ISO 感度.....	P.136
測光モード.....	P.139
オートブラケット.....	P.145

ドライブ

ドライブモード.....	P.141
アスペクトブラケット.....	P.147
セルフタイマー.....	P.148

画質・色合い

フォトスタイル.....	P.100
ハイライトシャドウ.....	P.102
ホワイトバランス.....	P.103
記録画素数.....	P.108
クオリティ.....	P.109
iD レンジコントロール.....	P.111
超解像.....	P.111
HDR.....	P.112
長秒ノイズ除去.....	P.113
色空間.....	P.113

フラッシュ

フラッシュモード.....	P.181
後幕シンクロ.....	P.183
フラッシュ光量調整.....	P.184

画面設定

モノクロライブビュー.....	P.168
マイクレベル表示.....	P.197



動画

動画

画質設定.....	P.185
4K 動画.....	P.191
4K フォト.....	P.192
動画撮影中の写真撮影.....	P.195

音声

マイクレベル設定.....	P.197
風音低減.....	P.197



セットアップ / カスタム

基本設定

時計設定	P.29
メニューの設定方法	P.31
クイックメニュー	P.34
電子音	P.43
スリープモード	P.46
リセット (初期化)	P.50
視度調整	P.55
表示の切り換え	P.62、71

カスタマイズ

クイックメニューの [カスタム]	P.35
ファンクションボタン	P.37
コントロールリング	P.40
カスタムセット	P.60
カスタムメニュー	P.276
カーソルボタンロック	P.38
動画ボタン	P.189



再生

再生

オートレビュー	P.57
写真の再生	P.67
再生ズーム	P.68
マルチ再生	P.68
動画の再生	P.70
消去	P.73

表示 / 再生設定

スライドショー	P.201
画像回転 / 縦位置自動回転	P.215

編集

RAW 現像	P.205
リサイズ	P.213
トリミング	P.214

情報追加

位置情報記録	P.204
タイトル入力	P.208
文字焼き込み	P.209

画像設定

お気に入り	P.216
プリント設定	P.217
プロテクト	P.218



Wi-Fi

接続

Image Shuttle	P.225
NFC	P.230
WPS (プッシュボタン)	P.240、243
直接接続	P.243

Image Shuttle

リモート撮影	P.231
画像の保存	P.232
画像の送信	P.233、236
位置情報の送信、追加	P.234
タッチシェアリング	P.247



他機器接続

パソコン

利用可能なソフトウェア	P.253
-------------------	-------

テレビ

HDTV リンク	P.251
----------------	-------

レコーダー

ダビング	P.256
------------	-------

プリンター

ピクトブリッジ PictBridge	P.257
--	-------

ご使用の前に

■本機取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

● 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

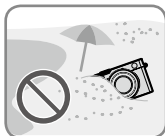
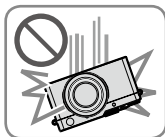
- ・ 本機を落とす、またはぶつける
- ・ レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

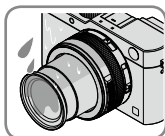
● 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

- ・ 砂やほこりの多いところ
- ・ 雨の日や浜辺など水がかかるところ



■露付きについて（レンズやモニター、ファインダーが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。



■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。

個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください（P.294）

付属品

	オーダー番号
バッテリーパック	
BP-DC15-E	18 544
BP-DC15-U	18 545
BP-DC15-TK	18 546
バッテリー	
チャージャー	
BC-DC15-E	423-109.001-010
BC-DC15-U	423-109.002-010
電源ケーブル	
韓国	423-114.001-003
台湾	423-114.001-004
EU	423-114.001-005
中国	423-114.001-006
UK	423-114.001-007
AUS	423-114.001-008 (仕向け地により 異なります)
フラッシュ CF D	423-109.001-030
USB 接続ケーブル	423-114.001-010
ショルダーストラップ	423-109.001-020
レンズキャップ	423-109.001-018
レンズキャップひも	423-109.001-019
ホットシューカバー	423-109.001-015
CD-ROM (取扱説明書収録)	423-109.001-016
ボタン表示シール (カナダ向け)	423-114.001-009 (カメラモデル 18 471 にのみ付属)
取扱説明書 (本書)	93 588-592 (仕向け地により 異なります)
保証書	439-399.100-026

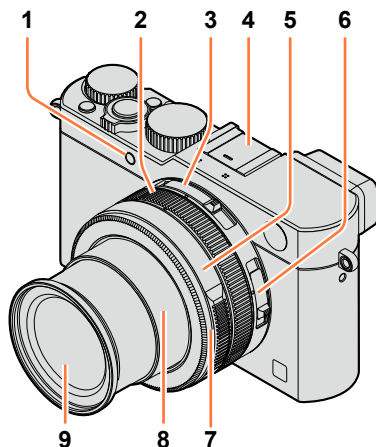
別売品

	オーダー番号
ショルダーストラップ	
アルチザン&アーティスト for Leica、サテン、グリーン	14 884
ショルダーストラップ D-Lux (Typ 109)、レザー、コニャック	18 824
リストストラップ	
アルチザン&アーティスト for Leica、サテン、グリーン	14 885
リストストラップ D-Lux (Typ 109)、レザー、コニャック	18 823
ケース	
プロテクター D-Lux (Typ 109)、 レザー、コニャック	18 820
ケース D-Lux6 (Typ 109)、 レザー、コニャック	18 821
ツイスト D-Lux (Typ 109)、 アルカンタラ、ブラック	18 822
システムケース	
S サイズ、ナイロン、ブラック	18 746
S サイズ、レザー、グレー	18 761
アルチザン&アーティスト for Leica M サイズ、ナイロンレザー、ブラック	14 883
ハンドグリップ D-Lux (Typ 109)	18 547
自動開閉レンズキャップ	18 548
フラッシュ Leica CF 22	18 694
三脚	
ミニ三脚	14 100
トラベル三脚、カーボン繊維	14 101
自由雲台	
自由雲台 18、 ショート、ブラック / シルバー	14 108/14 109
ロング、ブラック / シルバー	14 110/14 112
自由雲台 24	14 113
自由雲台 38	14 114
SD/ クレジットカードシース、 ブラック / コニャック	18 538/18 539

おしらせ

- ・メモリーカードは別売です。(本書では「カード」と表記します)
- ・お使いの前に、付属品をご確認ください。
- ・付属品の種類や形状は、購入された国や地域によって異なる場合があります。
- ・小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ・包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

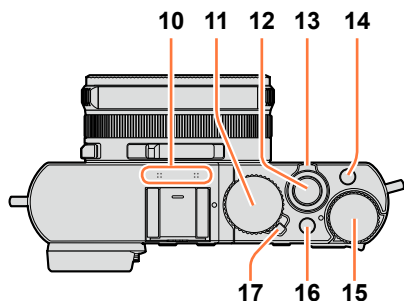
各部の名前と働き



- 1 セルフタイマーランプ (P.148) / AF 補助光ランプ (P.53、125)
- 2 コントロールリング (P.39)
- 3 アスペクト切換スイッチ (P.107)
- 4 ホットシュー (ホットシューカバー) (P.177)
お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。
- 5 絞りリング (P.59)
- 6 フォーカス切換スイッチ (P.114、126、128)
- 7 レンズフロントリング
自動開閉レンズキャップ (別売) の装着時に取り外します。
- 8 レンズ鏡筒
- 9 レンズ部
(フィルター径 Φ 43 mm)

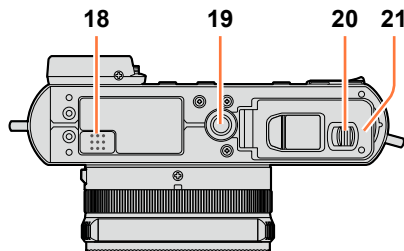
各部の名前と働き

(上面)

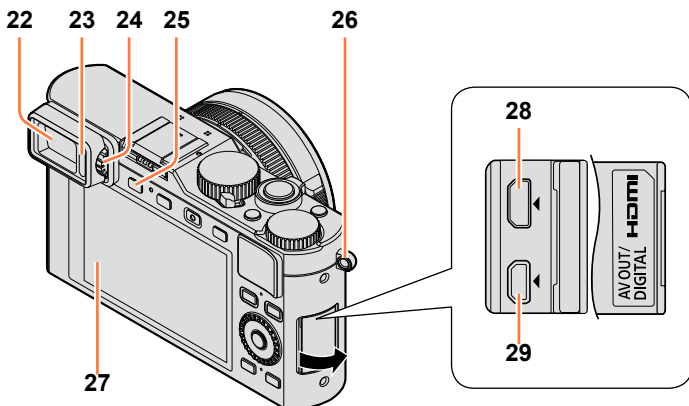


- 10 ステレオマイク (P.53、197)
指で塞がないようにしてください。
音が記録されにくくなります。
- 11 シャッタースピードダイヤル (P.59)
- 12 シャッターボタン
- 13 ズームレバー (P.171)
- 14 [F] (フィルター) ボタン (P.89)
- 15 露出補正ダイヤル (P.135)
- 16 [A] ボタン (P.59)
- 17 電源スイッチ

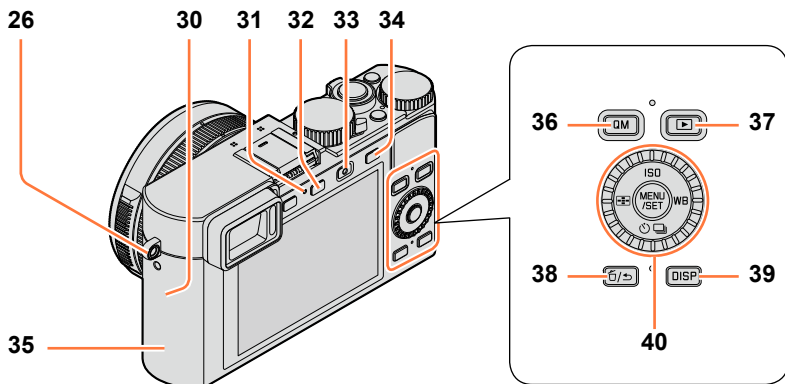
(底面)



- 18 スピーカー
指などで塞がないようにしてください。
音が聞こえにくくなります。
- 19 三脚取り付け部 (P.297)
ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚
を取り付けると、本機を傷つける
場合があります。
三脚の種類によっては適切に取り
付けできない場合があります。
- 20 開閉レバー (P.24)
- 21 カード / バッテリー扉 (P.24)



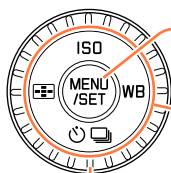
- 22 ファインダー (EVF) (P.54)
本文中は、EVF を「ファインダー」と表記します。
- 23 アイセンサー (P.54)
- 24 視度調整ダイヤル (P.55)
- 25 [EVF] ボタン (P.54) / [Fn3] ボタン (P.37)
ファンクション
- 26 ストラップ取り付け部 (P.19)
- 27 モニター
- 28 [HDMI] 端子 (P.249)
- 29 [AV OUT/DIGITAL] 端子 (P.249、254、256、257)
アウト デジタル



- 26 ストラップ取り付け部 (P.19)
- 30 Wi-Fi® アンテナ部
- 31 Wi-Fi 接続ランプ (P.222)
- 32 ワイファイ [WIFI] ボタン / ファンクション [Fn2] ボタン (P.222)
- 33 動画ボタン (P.58)
- 34 [AF/AE] ボタン (P.133)
- 35 NFC アンテナ部 (P.230)
- 36 クイックメニュー [Q.M.] ボタン (P.34)
- 37 再生ボタン (P.67)
- 38 ワイファイ [G/△] (消去 / 戻る) ボタン / ファンクション [Fn1] ボタン (P.32、73)
- 39 ディスプレイ [DISP] ボタン (P.62、71)
- 40 メニュー [MENU/SET] ボタン / セット カーソルボタン / コントロールダイヤル (P.18)

● 製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

[MENU/SET] ボタン / カーソルボタン / コントロールダイヤル



[MENU/SET] ボタン

メニュー表示・設定など (P.31)

カーソルボタン

メニュー画面では、カーソルの移動などに使います。(P.32)
撮影時は、次の操作ができます。

[ISO] ボタン (▲) (P.136)

[WB] (ホワイトバランス) ボタン (▶) (P.103)

[] (ドライブモード) ボタン (▼)

単写 (P.141)、連写 (P.142)、オートブラケット (P.145)、
アスペクトブラケット (P.147)、セルフタイマー (P.148)、
パノラマ (P.150)

[] (オートフォーカスモード) ボタン (◀)
(P.115、131)

コントロールダイヤル

回すことにより、設定項目を選択したり、設定値を変更したりできます。
(P.32、67)



ボタンやダイヤルの操作を無効にする (撮影時)

ファンクションボタンに [カーソルボタンロック] を設定すると、[MENU/SET] ボタン、カーソルボタンおよびコントロールダイヤルの操作が無効になります。(P.38)



ダイヤル操作ガイドを表示する / 表示しない

MENU ボタン → [カスタム] → [ダイヤル操作ガイド] → [ON] / [OFF]

- [ON] に設定すると、撮影画面にコントロールリング []、コントロールダイヤル [] などの操作ガイドが表示されます。

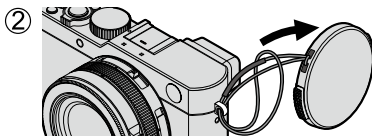
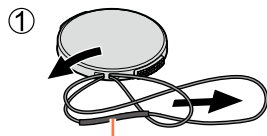


● 本書では、操作するボタンを ▲▼◀▶ で表しています。

レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける

レンズ保護のため、撮影していないときはレンズキャップを付けておいてください。レンズキャップの紛失防止のため、レンズキャップひもの取り付けをお勧めします。また、落下防止のため、ショルダーストラップの取り付けをお勧めします。

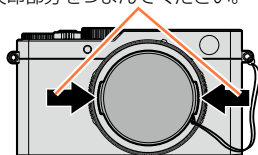
1 レンズキャップと本機をレンズキャップひも（付属）でつなぐ



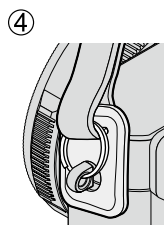
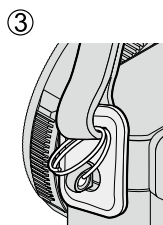
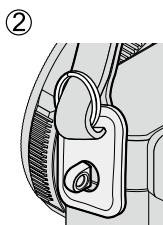
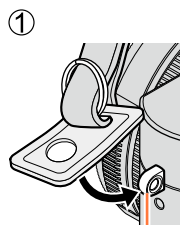
ひもの太い部分がレンズキャップやショルダーストラップ取り付け部にかからないようにしてください。

2 レンズキャップを付ける

レンズキャップを付け外しするときは、図の矢印部分をつまんでください。



3 ショルダーストラップを取り付ける



ショルダーストラップ
取り付け部

- もう片方も取り付けてください。
- ショルダーストラップが抜けないことを確認してください。
- ショルダーストラップの Leica ロゴが外側になるように付けてください。
- ショルダーストラップは肩に掛けて使う
 - 首に掛けての使用はしない。けがや事故の原因になります。
- ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない
 - 誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。

本機で使えるバッテリー

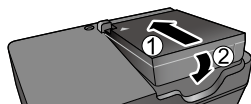
ライカカメラ AG 製純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。

ライカカメラ AG では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。安全に商品をご使用いただくために、ライカ純正バッテリー BP-DC15 のご使用をお勧めいたします (P.13)。

- ・本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

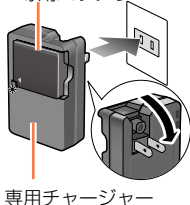
1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

- ・バッテリーとチャージャーの端子を合わせる。

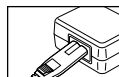


2 電源コンセントに差し込む

プラグインタイプ
専用バッテリー



専用チャージャー



- ・屋内の電源コンセントへ
(室温 10℃ ~ 30℃で充電してください)

充電ランプ ([CHARGE])

点灯：充電中

消灯：充電完了（電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す）

点滅したら：

- ・バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎます。
室温 10℃ ~ 30℃で充電することをお勧めします。
- ・バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

3 充電が完了したら、バッテリーを取り出す

- ・電源コンセントに接続してチャージャーに電気が供給されているときは、主回路が常に通電状態になっています。

バッテリーを充電する

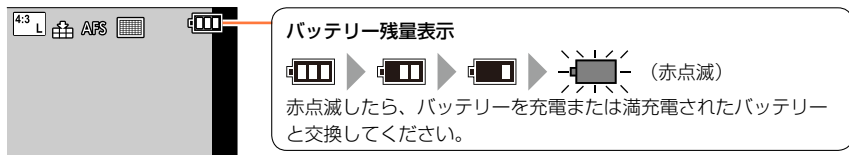
充電時間について

充電時間	約 190 分
------	---------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

バッテリー残量の表示

使用中は、画面にバッテリー残量が表示されます。



- ライカ純正バッテリー BP-DC15 をご使用ください (P.13)。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類 (クリップなど) を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量があっても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)

バッテリーを充電する

撮影可能枚数や使用時間の目安

写真撮影（モニター使用時）

撮影可能枚数	約 350 枚（約 300 枚）	CIPA 規格に基づく
撮影使用時間	約 175 分（約 150 分）	

写真撮影（ファインダー使用時）

撮影可能枚数	約 320 枚（約 270 枚）	CIPA 規格に基づく
撮影使用時間	約 160 分（約 135 分）	

- 括弧内は付属のフラッシュを使用した場合の数値です。

■CIPA 規格の撮影条件

CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

- 温度 23℃ / 湿度 50% RH
- プログラムモード
- モニターを点灯
- SDHC メモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30 秒後に撮影開始（手ブレ補正：[]
- 30 秒間隔で、1 枚撮影
- フラッシュを 2 回に 1 回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作（W 端→T 端、または T 端→W 端）
- 10 枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減ります。例えば、上記の撮影条件において 2 分間隔で撮影した場合は、約 1/4 になります。

バッテリーを充電する

動画撮影（モニター使用時）

画質設定	撮影可能時間	実撮影可能時間※ ¹
[FHD/20M/30p]※ ²	約 135 分	約 65 分
[FHD/20M/25p]※ ³		
[4K/100M/30p]※ ²	約 90 分	約 45 分
[4K/100M/25p]※ ³		

※¹ 電源の入り切り、撮影の開始と終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

※² カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

※³ カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

■撮影条件

- 温度 23℃ / 湿度 50% RH
- [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の MP4 動画の場合：
 - 連続記録時間が 29 分を超える場合やファイルサイズが 4GB を超える場合は、記録を停止します。
 - [FHD] は、ファイルサイズが大きいため 29 分より前に撮影を終了します。
- [画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画の場合：
 - 連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。（ファイルサイズが 4GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて記録・再生されます）

再生（モニター使用時）

再生使用時間	約 260 分
--------	---------

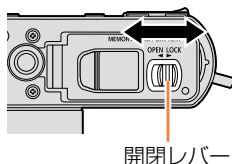
- 使用時間と撮影可能枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。
 - 例えば、次の場合は、使用時間は少なくなり、撮影可能枚数は減少します。
 - スキー場などの低温下
 - フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーやカードを入れる・取り出す

- 電源が切れていることを確認してください。

1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開ける

[OPEN] (開く) [LOCK] (閉じる)



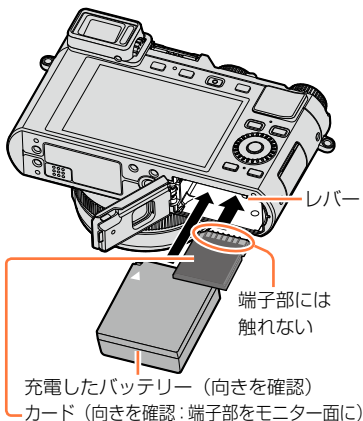
2 バッテリーとカードを奥まで入れる

・バッテリー：

バッテリーを奥まで、ロック音がするまで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する

・カード：

「カチッ」と音がするまで押し込む

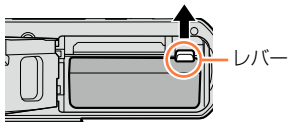


3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる

■取り出すとき

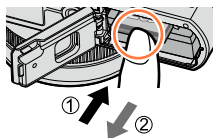
・バッテリー：

レバーを矢印方向へ引く



・カード：

カードの中央を押す



- 使用後は、バッテリーを取り出してください。
- カードは乳幼児が誤って飲み込まないよう手の届かないところに保管してください。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の Leica 表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

カードについて

SD 規格に準拠した次のカードが使用できます。

カードの種類	容量	備考
SD メモリーカード	8 MB ～ 2 GB	- それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。 - SDXC メモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 - 本機は UHS- I UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 - 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHC メモリーカード	4 GB ～ 32 GB	
SDXC メモリーカード	48 GB、64 GB	

■動画撮影とスピードクラスについて

動画の [画質設定] (P.185) によって必要なカードが異なります。以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

【画質設定】	スピードクラス	表示の例
FHD/HD/VGA	Class 4 以上	CLASS④ ④
4K	UHS Speed Class 3	U3

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は電源を切ったり、バッテリーやカードを取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。

カードについて

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。戻すと可能になります。
- 大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)



カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **X** [セットアップ] → [フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しください。ライカ販売店へご連絡ください。

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。(撮影条件、カードの種類により変化します)

記録可能枚数 (写真: 枚)

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [■] の場合

記録画素数	8GB	16GB	32GB	64GB
L (12.5M)	1090	2200	4420	8820
EX M (6.5M)	1880	3810	7630	14970
EX S (3M)	3220	6500	13030	24700

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW ■] の場合

記録画素数	8GB	16GB	32GB	64GB
L (12.5M)	340	700	1400	2800
M (6.5M)	400	810	1620	3230
S (3M)	440	890	1780	3530

- 記録可能枚数が 9999 枚を超える場合は、[9999+] と表示されます。

記録可能時間（動画撮影時）（h：時間、m：分、s：秒）

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

画質設定	8GB	16GB	32GB	64GB
[4K/100M/30p] ^{*1} [4K/100M/25p] ^{*2}	9m 00s	20m 00s	42m 00s	1h 20m 00s
[4K/100M/24p]	9m 00s	20m 00s	42m 00s	1h 20m 00s
[FHD/28M/60p] ^{*1} [FHD/28M/50p] ^{*2}	37m 00s	1h 15m 00s	2h 30m 00s	5h 00m 00s
[FHD/20M/30p] ^{*1} [FHD/20M/25p] ^{*2}	49m 00s	1h 40m 00s	3h 20m 00s	6h 40m 00s
[HD/10M/30p] ^{*1} [HD/10M/25p] ^{*2}	1h 30m 00s	3h 10m 00s	6h 25m 00s	12h 50m 00s
[VGA/4M/30p] ^{*1} [VGA/4M/25p] ^{*2}	3h 25m 00s	7h 00m 00s	14h 10m 00s	28h 15m 00s

^{*1} カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

^{*2} カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。
- [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 29 分を超える場合やファイルサイズが 4GB を超える場合は、記録を停止します。
・ [FHD] は、ファイルサイズが大きいため 29 分前に撮影を終了します。
- [画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。（ファイルサイズが 4GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて記録・再生されます）
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。



記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換える

MENU ボタン →  [カスタム] → [残枚数 / 残時間切換]

 (残枚数)：写真の記録可能枚数を表示します。

 (残時間)：動画の記録可能時間を表示します。



記録可能枚数



記録可能時間

時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。

1 電源を入れる

2 メッセージが表示されているときに [MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼ で表示言語を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

・[時計を設定してください] と表示されます。

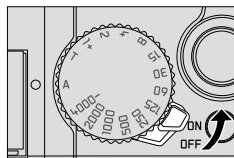
4 [MENU/SET] ボタンを押す

5 ◀▶ で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、▲▼ で設定する

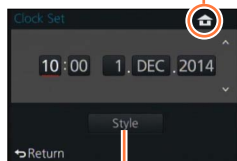
・中止するとき→ [⏮/⏭] ボタンを押す

表示順・時刻表示形式を設定する場合

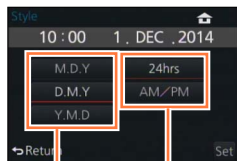
・[表示形式] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、
表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



🏠 : ホームの時間
✈️ : 旅行先の時間



表示形式



表示順

時刻表示形式

6 [MENU/SET] ボタンを押す

・確認画面が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

7 [ホームエリアを設定してください] と表示されたら、 [MENU/SET] ボタンを押す

時計を合わせる

8 ◀▶ でお住まいの地域を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す



GMT (グリニッジ標準時)
との時差

- 時計を設定しないと、お店にプリントを依頼するときや、[文字焼き込み] を使うときに、正しい日付をプリントできません。

時計を合わせ直す

日時を合わせ直すときは、[セットアップ] メニューから [時計設定] を選んで設定します。

- ・時計設定はバッテリーを取り出しても、約 3 か月記憶します。(満充電のバッテリーを入れて約 24 時間経過した場合)

1 [セットアップ] メニューから [時計設定] を選ぶ

- ・メニュー操作について (P.31)

2 日時と表示方法を設定する (29 ページの手順 5、6)

メニューを使って設定する

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。特に [セットアップ] メニューは、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用前に、設定を確認してください。



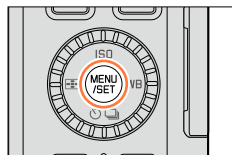
- [セットアップ] メニューの [メニュー位置メモリー] (P.49) を [ON] に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択した状態の画面になります。お買い上げ時は [ON] に設定されています。
- [セットアップ] メニューの [メニューインフォメーション] (P.49) を [ON] に設定していると、メニュー項目 / 設定内容の説明文がメニュー画面に表示されます。

例) [撮影] メニューで、[クオリティ] を [■] から [■] に設定する

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ] → [■]

1 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを表示する



[撮影] (P.273 ~)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[動画] (P.275)	画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[カスタム] (P.276 ~)	画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[セットアップ] (P.278)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[再生] (P.279)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

メニューを使って設定する

2 ▲▼でメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- コントロールダイヤルでも選択できます。
- [DISP] ボタンを押したり、ズームレバーを回したりしても、ページを切り換えることができます。



メニュー項目

3 ▲▼で設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- コントロールダイヤルでも選択できます。



設定内容

4 撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [右/左] ボタンを押す

- 撮影時は、シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

メニューを使って設定する

メニューの種類を切り換える

例) [撮影] メニューから [セットアップ] メニューへの切り換え

1 ◀を押す

2 ▲▼で [X] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ

- ・コントロールダイヤルでも選択できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・続けてメニュー項目を選んで設定してください。



メニューの種類

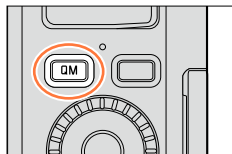
- モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
- メニュー項目により、設定方法が異なります。

クイックメニュー

一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

- ・撮影モードなど撮影時の設定により、表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

1 [QM] ボタンを押してクイックメニューを表示する



2 コントロールダイヤルを回してメニュー項目を選び、▼または▲を押す

- ・◀▶でも選択できます。



3 コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ

- ・◀▶でも選択できます。



4 [QM] ボタンを押してクイックメニューを終了する

クイックメニューの設定方法を切り換える

MENU ボタン →  [カスタム] → [Q.MENU]

[プリセット]：あらかじめ決められた項目を設定できます。

[カスタム]：項目をお好みで変更し、設定できます。(P.35)

(モニタースタイル) のモニター撮影情報画面 (P.62) でのクイックメニューの使用

(画面が表示されるまで、繰り返し [DISP] ボタンを押す)

[QM] ボタンを押し、コントロールダイヤルを回して項目を選び、

[MENU/SET] ボタンを押してください。

コントロールダイヤルを回して設定内容を選び、

[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。

- ・▲▼◀▶と[MENU/SET] ボタンでも設定できます。



クイックメニューをお好みの項目に変更する

[カスタム] メニューの [Q.MENU] (P.34) を [カスタム] に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは 15 項目まで設定しておくことができます。

1 ▼で [Q] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

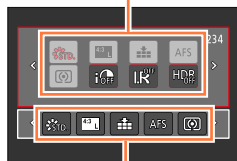
2 ▲▼◀▶で上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶で下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ換えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼で下段に移動し、解除する項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押してください。
- 設定できる項目は、以下のとおりです。



クイックメニューとして
設定できる項目



クイックメニュー画面に
表示できる項目

[撮影] メニュー / 撮影機能

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| • フォトスタイル (P.100) | • フラッシュモード (P.181) |
| • 記録画素数 (P.108) | • フラッシュ光量調整 (P.184) |
| • クオリティ (P.109) | • iA ズーム (P.173) |
| • AFS/AFF/AFC (P.114) | • デジタルズーム (P.174) |
| • 測光モード (P.139) | • 手ブレ補正 (P.169) |
| • iD レンジコントロール (P.111) | • ISO 感度 (P.136) |
| • 超解像 (P.111) | • ホワイトバランス (P.103) |
| • HDR (P.112) | • オートフォーカスモード (P.115) |
| • シャッター方式 (P.140) | • ドライブモード (P.141) |

[動画] メニュー

- | | |
|-------------------------|----------------|
| • 4K フォト (P.192) | • 写真撮影 (P.195) |
| • 動画記録方式 / 画質設定 (P.185) | |

[カスタム] メニュー

- | | |
|--------------------|----------------------|
| • サイレントモード (P.162) | • ゼブラパターン表示 (P.167) |
| • ピーキング (P.130) | • モノクロライブビュー (P.168) |
| • ヒストグラム表示 (P.64) | • 記録枠表示 (P.189) |
| • ガイドライン表示 (P.65) | • ズームレバー (P.176) |

4 ボタンを押す

- 35 ページの手順 **1** の画面に戻ります。撮影画面にするには [MENU/SET] ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

特定のボタンに、よく使う機能を割り当てることができます。

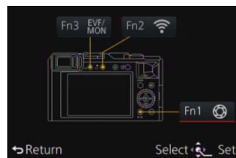
1 メニューを設定する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [Fn ボタン設定]

2 ▲▼ で機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼ で割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 割り当てられる機能については 38 ページをお読みください。
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、
[デフォルトに戻す] を選んでください。



よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

ファンクションボタンに機能を割り当てる

ファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn3] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

[撮影] メニュー / 撮影機能		
• Wi-Fi (P.222) : [Fn2] *	• 記録画素数 (P.108)	• フラッシュ光量調整 (P.184)
• EVF/ モニター切換 (P.55) : [Fn3] *	• クオリティ (P.109)	• iA ズーム (P.173)
• AF/AE LOCK (P.133)	• AFS/AFF/AFC (P.114)	• デジタルズーム (P.174)
• AF-ON (P.129、133)	• 測光モード (P.139)	• 手ブレ補正 (P.169)
• プレビュー (P.88) : [Fn1] *	• ハイライトシャドウ (P.102)	• ISO 感度 (P.136)
• 水準器表示 (P.66)	• iD レンジコントロール (P.111)	• ホワイトバランス (P.103)
• フォーカスエリア選択	• 超解像 (P.111)	• AF モード/MF (P.115)
• カーソルボタンロック	• HDR (P.112)	• ドライブモード (P.141)
• フォトスタイル (P.100)	• シャッター方式 (P.140)	• デフォルトに戻す
	• フラッシュモード (P.181)	

[動画] メニュー	
• 4K フォト (P.192)	• 写真撮影 (P.195)
• 動画記録方式 / 画質設定 (P.185)	

[カスタム] メニュー		
• カスタムセット呼出 (P.60)	• ヒストグラム表示 (P.64)	• モノクロライブビュー (P.168)
• サイレントモード (P.162)	• ガイドライン表示 (P.65)	• 記録枠表示 (P.189)
• ピーキング (P.130)	• ゼブラパターン表示 (P.167)	• ズームレバー (P.176)

* お買い上げ時のファンクションボタン設定

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。

- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
- [フォーカスエリア選択] 設定時は、AF エリアまたは MF アシストの位置設定画面を表示することができます。
- [カーソルボタンロック] 設定時は、カーソルボタン、[MENU/SET] ボタン、コントロールダイヤルの操作が無効になります。もう一度、ファンクションボタンを押すと有効になります。

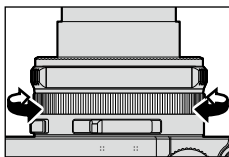


こんなときは使えません

- 次の場合、[Fn1] ボタンに登録した機能は働きません。
 - 画像効果（フィルター）設定時（[ジオラマ] [ワンポイントカラー] [サンシャイン]）
 - [多重露出] 設定時
- 次の場合、[Fn2] ボタンに登録した機能は働きません。
 - インターバル撮影時
 - [4K フォト] を [ON] に設定後の 4K 動画撮影時

コントロールリングで設定を変更する

本機ではコントロールリングで設定を変更することができます。



コントロールリングで設定できる項目は撮影モードによって異なります。
 以下はあらかじめ割り当てられている設定です。

撮影モード	設定
A スナップショットモード	ステップズーム (P.175)
P プログラムモード	ステップズーム (P.175)
A 絞り優先モード	ステップズーム (P.175)
S シャッター優先モード	SS+ シャッタースピード調整* (P.84)
M マニュアル露出モード	SS+ シャッタースピード調整* (P.86)

*シャッタースピードダイヤルでは設定できない、次のような値に設定することができます。

- 1/4000 秒より高速（電子シャッター時 (P.140)）
- 1 秒より低速（メカシャッター時 (P.140)）
- 1/3 EV ステップ

- パノラマ撮影時、コントロールリングは画像効果（フィルター）の選択に割り当てられます。（P.150）
- マニュアルフォーカス設定時、コントロールリングはピント調整に割り当てられます。（P.128）
- コントロールリングはお好みの設定に変更することもできます。（P.40）

コントロールリングの設定を変更する

コントロールリングに割り当てる設定を変更することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [コントロールリング]

2 ▲▼で設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

割り当て可能な設定
標準
Q ズーム (P.171)
Q ステップズーム (P.175)
ISO ISO 感度 (P.136)
WB ホワイトバランス (P.103)
フィルター選択 (P.89)
[OFF] (未設定)

- お買い上げ時の設定に戻す場合は、[標準] を選びます。(P.39)
- コントロールリングを使わない場合は、[OFF] (未設定) を選んでください。

- 割り当てた機能は、撮影モードに関係なく共通で設定されます。
ただし、撮影モードや撮影時の設定 (パノラマ撮影やフィルター設定など) との組み合わせによっては、割り当てた機能が働かない場合があります。
- マニュアルフォーカス設定時は、ピント調整に固定されます。[コントロールリング] で割り当てた設定は使えません。(P.128)

[セットアップ] メニューを使う

【時計設定】【スリープモード】は、大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

【セットアップ】メニューの設定方法は → 31 ページ

【時計設定】

日時と表示方法を設定します。(P.30)

【ワールドタイム】

撮影日時を旅行先の現地時間に合わせます。

- ・お買い上げ時は、まず【ホーム】を設定してください。

【旅行先】の設定は、【ホーム】設定後に行えます。

設定：旅行先 / ホーム

1 ▲▼で【旅行先】または【ホーム】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶で地域を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す



■サマータイムを設定する場合

手順 **2**で ▲ を押す（再度、押すと解除）

- ・サマータイム [☀] を設定すると、現在時刻が 1 時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

■旅行先から戻ってきた場合

手順 **1**で【ホーム】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームとの時差を参考に設定してください。

[セッティング] メニューを使う

[セッティング] メニューの設定方法は → 31 ページ

【トラベル日付】

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■トラベル日付設定

設定：設定 / OFF

- 1 ▲▼で【トラベル日付設定】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲▼で【設定】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲▼◀▶で出発日を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲▼◀▶で帰着日を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す

■【旅行先】を記録する場合

【トラベル日付設定】が設定されているときは、旅行先を設定できます。

- ① 上記の手順 1 で【旅行先】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼で【設定】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ 旅行先を入力する（文字入力方法：P.52）

- 経過日数や旅行先をプリントするときは、[文字焼き込み] を行ってください。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。[ワールドタイム] で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。
- 【トラベル日付設定】を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に【トラベル日付設定】を【設定】にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、【トラベル日付設定】は自動的に解除されます。
- 動画撮影の際、【旅行先】は記録できません。

【Wi-Fi】

設定：[Wi-Fi 機能] / [Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。（P.224、247）

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。

■電子音音量

設定：🔊 (大) / 🔊 (小) / 🔊 (OFF)

■シャッター音音量

設定：🔊 (大) / 🔊 (小) / 🔊 (OFF)

■シャッター音音色

設定：🔊① / 🔊② / 🔊③

- [サイレントモード] を [ON] に設定時は、[電子音音量]、[シャッター音音量] は OFF になります。

[ライブビューモード]

撮影時の画面（ライブビュー画面）の表示速度・画質を設定します。

設定

[30fps]	表示画質を優先し、表示速度は「30 コマ / 秒」で表示します。 比較的動きの遅い被写体を、ピントをしっかりと確認しながら撮りたい場合などに適しています。電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
[60fps]	表示速度を優先し、「60 コマ / 秒」で表示します。表示画像は少し粗くなります。 動きの速い被写体を撮影する場合などに適しています。

- [ライブビューモード] の設定は、撮影画像に影響はありません。
- 暗い場所では、表示速度が遅くなる場合があります。
- ファインダーは [60fps] に固定されます。

[セッティング] メニューを使う

[セッティング] メニューの設定方法は → 31 ページ

【モニター調整】 / 【EVF 調整】

モニター / ファインダーの明るさや色合いを調整します。

設定

 明るさ	明るさを調整します。
 コントラスト	明暗差を調整します。
 彩度	色の鮮やかさを調整します。
 赤み	赤みを調整します。
 青み	青みを調整します。

1 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する

- ・コントロールダイヤルを回しても、調整できます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

【モニター輝度】

周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。

設定

A* (AUTO)	周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
1* (MODE1)	モニターを明るくします。
2* (MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
3* (MODE3)	モニターを暗くします。

- モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。
- 「MODE1」は、撮影時に 30 秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押すと再び明るくなります)
- 「AUTO」または「MODE1」を設定すると、使用時間が減少します。
- 再生時は、「AUTO」は選択できません。

[セッティング] メニューを使う

[セッティング] メニューの設定方法は → 31 ページ

【スリープモード】

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源が切れます。

- 解除するとき→シャッターボタン半押し、または電源を入れ直す

設定：10分 / 5分 / 2分 / 1分 / OFF



こんなときは使えません

- 次の場合、働きません。
 - 動画撮影 / 再生時
 - [多重露出] 設定時
 - パソコン・プリンター接続時
 - スライドショー中
 - [インターバル撮影] 設定時
 - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

[USB モード]

USB 接続ケーブル（付属）でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。

設定

 接続時に選択	パソコンまたは PictBridge 対応プリンターに接続したときに、接続方法を選ぶ場合に設定します。
 PictBridge(PTP)	PictBridge 対応プリンターに接続するときに設定します。
 PC	パソコンに接続するときに設定します。

[テレビ接続設定]

本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。

■ビデオ出力（カメラモデル 18 470/18 473 のみ使用可能なメニューです）

AV ケーブルまたは HDMI マイクロケーブル接続時に働きます。

設定

NTSC	ビデオ出力を NTSC システムに設定します。
PAL	ビデオ出力を PAL システムに設定します。

■テレビ画面タイプ

AV ケーブル接続時に働きます。

設定：[16:9] / [4:3]

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

[テレビ接続設定] (続き)

■HDMI 出力解像度

HDMI マイクロケーブルを使って本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI 出力の映像方式を設定します。

設定

AUTO	接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。
4K	有効走査線数 2160 本のプログレッシブ方式で、サイズが 3840 × 2160 の出力をします。
1080p	有効走査線数 1080 本のプログレッシブ方式で出力します。
1080i	有効走査線数 1080 本のインターレース方式で出力します。
720p	有効走査線数 720 本のプログレッシブ方式で出力します。
[576p] ^{※1} / [480p] ^{※2}	有効走査線数 576 本 ^{※1} /480 本 ^{※2} のプログレッシブ方式で出力します。

※1 [ビデオ出力] が [PAL] 設定時

※2 [ビデオ出力] が [NTSC] 設定時

- HDMI マイクロケーブル接続時に働きます。
- [AUTO] に設定していて映像がテレビに出ないときは、[AUTO] 以外の固定された設定に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

【テレビ接続設定】（続き）

■HDTV リンク

本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続した HDTV リンク対応機器を自動的に連動させ、HDTV のリモコンで操作できるように設定します。(P.251)

設定

ON	HDTV リンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。 • すべての操作はできません。 • 本機のボタンでの操作は制限されます。
OFF	本機のボタンでの操作になります。

- HDMI マイクロケーブル接続時に働きます。

【メニュー位置メモリー】

直前に操作したメニューの選択位置を記憶します。

設定：[ON] / [OFF]

【メニューインフォメーション】

メニュー画面にメニュー項目 / 設定内容の説明文を表示します。

設定：[ON] / [OFF]

【言語設定】

画面に表示させる言語を設定します。

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

【バージョン表示】

本体または付属のフラッシュ（装着時）のファームウェアのバージョンを確認できます。

- バージョン表示中に [MENU/SET] ボタンを押すと、ライセンスなど本機のソフトの情報が表示されます。

【セルフタイマー自動解除】

電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。

設定：[ON] / [OFF]

【番号リセット】

画像のファイル番号をリセットします。（新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を 0001 にリセットします）

- フォルダー番号を 100 にリセットするには：
まず、カードを本機でフォーマットし、[番号リセット] で [はい] を選びます。その後、フォルダー番号のリセット画面で [はい] を選びます。
- フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。
フォルダー番号が 999 になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。（P.26）

【設定リセット】

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■撮影設定

■セットアップ / カスタム設定

- 撮影設定をリセットすると、[個人認証] で登録したデータもリセットされます。
- セットアップ / カスタム設定をリセットした場合、以下もリセットされます。
 - ・ [プロフィール設定] の設定内容
 - ・ [再生] メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダー番号、時計設定はリセットされません。

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 31 ページ

【Wi-Fi 設定リセット】

[Wi-Fi] で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。
- 修理を依頼する場合も、個人情報の控えを取ったあと、必ずリセットしてください。

【フォーマット】

カードをフォーマット（初期化）します。（P.26）

文字を入力する

個人認証機能、[プロフィール設定] の赤ちゃんやペットの名前、[トラベル日付] の旅行先などを登録するときは、カーソルボタンを使って文字を入力します。

- ・漢字は入力できません。
- ・画面を表示するための操作の例：

MENU ボタン → [撮影] → [プロフィール設定] → [設定] → [赤ちゃん 1] → [名前] → [設定]

1 ▲▼◀▶ で文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで [MENU/SET] ボタンを押す

カーソル位置に文字が入力されます。

- ・：空白を入力できます。

■文字の種類を切り換えるとき

- ・[DISP] ボタンを押す
- ・▲▼◀▶ で [切換] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

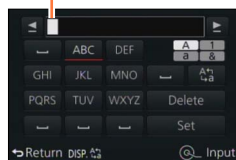
■続けて文字を入力するとき

- ・▲▼◀▶ で を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ・ズームレバーを T 側に回す
- ・コントロールダイヤルを右側に回す

■文字を修正するとき

- ① ▲▼◀▶ で を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、修正する文字にカーソル位置を移動する
 - ・ズームレバーまたはコントロールダイヤルでもカーソル位置を移動できます。
- ② ▲▼◀▶ で [消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ▲▼◀▶ で正しい文字を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

カーソル位置



3 入力が終わったら、▲▼◀▶ で [決定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

- 入力できる文字数は以下のとおりです。

: 最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)

: 最大 30 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 9 文字)

* 、、、、 は最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)

カメラの構え方

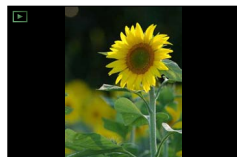
- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開くと手ブレが軽減します。
- レンズ部は触らないでください。
- 動画撮影の際は、マイクを指で塞がないようにしてください。
- フラッシュ撮影時のフラッシュ発光部や AF 補助光ランプを塞がないようにしてください。また、近くで見ないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- 落下防止のため、ショルダーストラップの使用をお勧めします。



縦位置検出機能について

カメラを縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転] を [ON] に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画は、縦向きに表示できません。



ファインダー撮影について

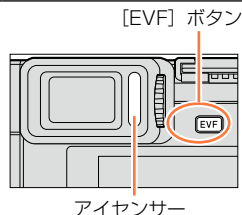
ファインダーを使用すると、周囲が明るくても被写体を確認することができます。

モニターとファインダーを切り換える

[EVF] / [Fn3] ボタンは、[EVF] と [Fn3] (ファンクション 3) の 2 とおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、[EVF] ボタンとして使えます。

- ファンクションボタンについて詳しくは 37 ページをお読みください。



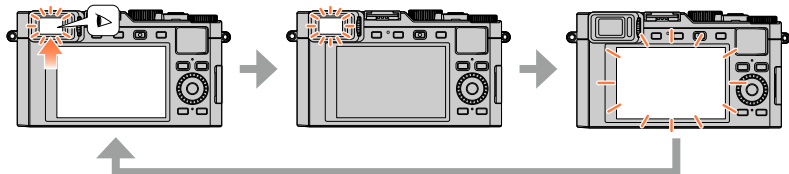
1 [EVF] ボタンを押す

- 以下のように切り換わります。

ファインダー / モニター
自動切換

ファインダー表示

モニター表示



ファインダー / モニター自動切換について

ファインダー / モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換えます。

- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は [EVF] ボタンを押して、切り換えてください。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換わりません。
- [カスタム] メニューの [アイセンサー] でアイセンサーの感度を設定できます。(P.55)



アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定する

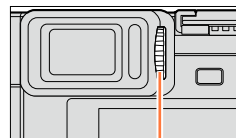
MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [アイセンサー]

[感度]	アイセンサーの感度を設定します。 [強] / [弱]
[EVF/ モニター切換]	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 [EVF/MON AUTO] (ファインダー / モニター自動切換) / [EVF] (ファインダー表示) / [MON] (モニター表示) • [EVF] ボタンで表示を切り換えると、[EVF/ モニター切換] の設定も切り換わります。

視度調整について

使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。



視度調整ダイヤル

アイセンサー AF について

[カスタム] メニューの [アイセンサー AF] を [ON] に設定時は、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。

- アイセンサー AF はファインダーをのぞいたときに一度だけピントを合わせます。のぞいたままの状態ですべてピントを合わせることはありません。

- [アイセンサー AF] でピントが合っても電子音は鳴りません。



こんなときは使えません

- 低照度時は、[アイセンサー AF] が動かない場合があります。

写真を撮る

- ・[] ボタン(▼)を押して、ドライブモードを [] (単写) に設定する。

1 撮影モードを選ぶ (P.59)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

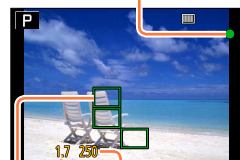


- ・絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- ・暗い環境ではフォーカス表示が [] と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- ・[撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFF]、[AFC] に設定時
 - － 半押し中にピントが合った 1 回目のみ電子音が鳴ります。
 - － オートフォーカスモードを []、[] などのカスタムマルチに設定している場合は、半押し中にピントが合った 1 回目のみ AF エリアが一瞬表示されます。

フォーカス表示

(ピントが合う：点灯

ピントが合わない：点滅)



絞り値

シャッタースピード

AF エリア

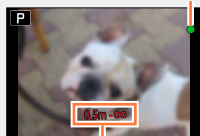
(ピントが合う：緑)

3 シャッターボタンを全押しして撮影する



- ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、[ピピピピッ] と音がします。
ピントの合う範囲が赤色で表示されますので、参考にしてください。
なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。
- 暗いときやズーム倍率によっては、AF エリアが大きく表示される場合があります。
- オートフォーカス中に表示画像が粗くなる場合があります。

フォーカス表示



ピントが合う範囲



- 次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
 - 動きの速い被写体
 - 非常に明るい、または濃淡のないもの
 - ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
 - 暗いときや手ブレしているとき
 - 被写体に近すぎるとき
 - 遠くと近くを同時に撮るとき



写真撮影後に撮影画像を表示する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [オートレビュー]

時間	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 [ホールド]：シャッターボタン半押しまで表示 [5 秒] / [4 秒] / [3 秒] / [2 秒] / [1 秒] / [OFF]
再生操作優先	[ON]：オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。 [OFF]：オートレビュー中は、撮影時と同様のボタン操作になります。

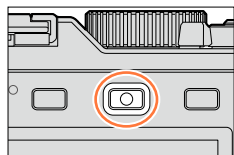
- [時間] を [ホールド] に設定時、[再生操作優先] は [ON] に固定されます。

動画を撮る

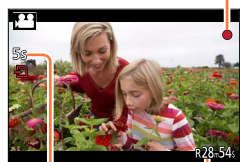
MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画も撮影できます。(P.191)
音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。(P.59)
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP] ボタンを押すと再度表示されます。
- マイクを指で塞がないでください。
- 動画撮影中も、ズーム操作ができます。
 - ズームレバーやコントロールリングの操作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中に写真を撮ることができます。(P.195)



記録動作表示



記録経過時間

残り記録可能時間（目安）

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

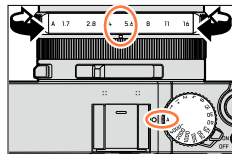
- 詳しくは、185 ページの「動画を撮る」をお読みください。

撮影モードを選ぶ

絞りリングとシャッタースピードダイヤルを使って撮影モードを選ぶには

1 絞りリングおよびシャッタースピードダイヤルを回す

- 絞りリングやシャッタースピードダイヤルは、ゆっくり回して「カチッ」と音がするところに確実に合わせてください。
絞りリングは [A] (AUTO) と、[1.7] から [16] までの間で設定できます。



撮影時の設定を組み合わせる（カスタムセット）

お好みのメニュー設定を組み合わせ、カスタムセットに登録できます（3 つまで）。
[カスタム] メニューから [カスタムセット呼出] を選ぶことで、すぐにその設定に切り換えることができます。

■カスタムセットに登録する

- ① [撮影] メニューや [動画] メニュー、[カスタム] メニューなどをお好みの設定にする
- ② メニューを設定する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [カスタムセット登録]

- ③ ▲▼ で登録したいカスタムセット（C1 ～ C3）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ 確認画面が表示されます。[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押します。

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

【撮影】メニュー	【セットアップ】メニュー	【再生】メニュー
・ [個人認証] で登録されたデータ ・ [プロフィール設定] の設定内容	・ すべてのメニュー	・ [縦位置自動回転] ・ [画像表示順] ・ [消去確認画面]

■カスタムセットを呼び出す

- ① メニューを設定する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [カスタムセット呼出]

- ② ▲▼ でカスタムセットを選ぶ
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。



ファンクションボタンからカスタムセットを呼び出す

ファンクションボタンを [カスタムセット呼出] に設定しておくと、ファンクションボタンを押すことで、すぐにお好みの設定に切り換えることができます。

- ① [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定] で、お好みのファンクションボタンに [カスタムセット呼出] を割り当てておく（P.37）
- ② [カスタムセット呼出] を割り当てたファンクションボタンを押し、◀▶ でカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



メニュー設定を変更する

カスタムセットのいずれかを選択した状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。

登録内容を変更する場合は、[カスタム] メニューの [カスタムセット登録] で登録内容を上書きしてください。



こんなときは使えません

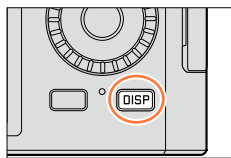
- 次の場合は使えません。
 - スナップショットモード時

撮影画面の表示情報を切り換える

撮影情報（各種設定のアイコンなど）、水準器（P.66）の表示は、消すこともできます。

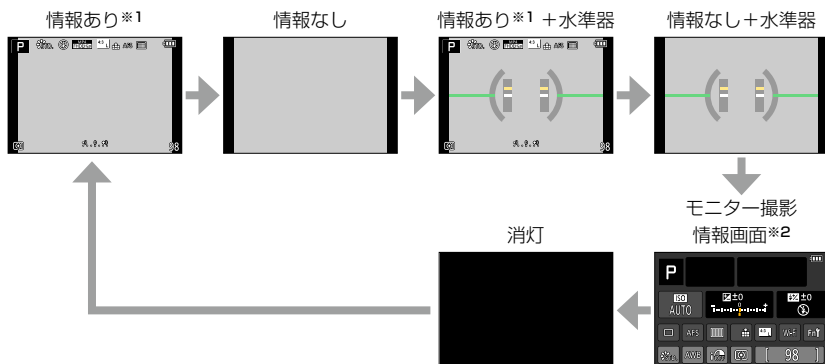
1 [DISP] ボタンを押して表示を切り換える

- ・[カスタム] メニューの [モニター表示スタイル]、[EVF 表示スタイル] で、モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ []（モニタースタイル）または []（ファインダースタイル）から選ぶことができます。



■ [] モニタースタイル

- ・画面は以下のように切り換わります。（モニター表示での例です）



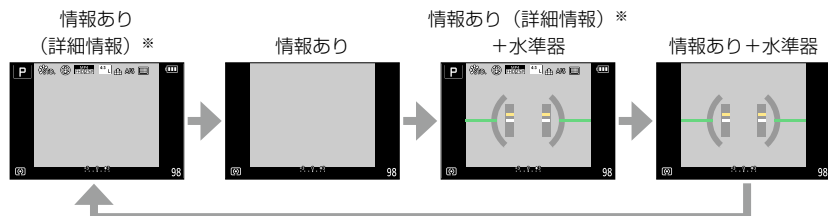
※1 [カスタム] メニューの [ヒストグラム表示] を [ON] に設定すると、ヒストグラムが表示されます。（P.64）また、[カスタム] メニューの [露出メーター] を [ON] に設定すると、露出メーターが表示されます。（P.81）

※2 [カスタム] メニューの [モニター撮影情報画面] を [ON] にしているときのみ表示されます。（P.65）モニターで撮影情報を確認しながらファインダーを使って撮影することができます。

撮影画面の表示情報を切り換える

■ [] ファインダースタイル

- 画面は以下のように切り換わります。(ファインダー表示での例です)



※ [カスタム] メニューの [ヒストグラム表示] を [ON] に設定すると、ヒストグラムが表示されます。(P.64) また、[カスタム] メニューの [露出メーター] を [ON] に設定すると、露出メーターが表示されます (P.81)

- 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP] ボタンを押すと再度表示されます。

fc モニターの表示方法を切り換える

MENU ボタン → fc [カスタム] → [モニター表示スタイル]

[] : ファインダースタイル

[] : モニタースタイル

fc ファインダーの表示方法を切り換える

MENU ボタン → fc [カスタム] → [EVF 表示スタイル]

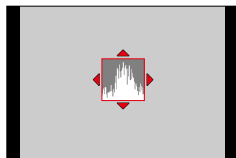
[] : ファインダースタイル

[] : モニタースタイル

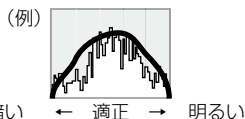
ヒストグラムを表示する / しない

MENU ボタン → **Fn** [カスタム] → [ヒストグラム表示] → [ON] / [OFF]

▲▼◀▶ で位置を設定することができます。



画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。山が中央にあるときに適正な明るさ（適正露出）です。露出補正などの参考にします。



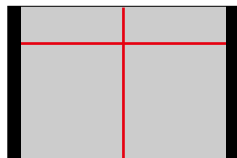
- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時や、マニュアル露出モードでマニュアル露出アシストが 0 EV 以外のとき
 - フラッシュが発光するとき
 - 適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

ガイドラインを表示する / しない

MENU ボタン →  [カスタム] → [ガイドライン表示]
→ [] / [] / [] / [OFF]

• パノラマ撮影時、ガイドラインは表示されません。

[] にすると、▲▼◀▶で位置を設定することができます。



モニターの撮影情報画面を表示する / しない

MENU ボタン →  [カスタム] → [モニター撮影情報画面] → [ON] / [OFF]

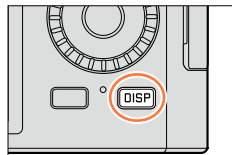
水準器を使う

風景写真など、カメラの傾きが気になるときは、水準器表示を参考にしてください。

1 [DISP] ボタンを押して表示を切り換える

画面表示を切り換えて、水準器が表示されるまで、押してください。

2 カメラの傾きを補正する

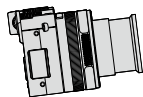


■水準器の見方

黄色い線が現在の傾き具合を表しています。白い線に合わせるように本機の傾きを補正してください。

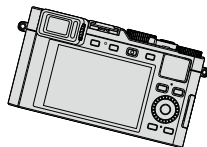
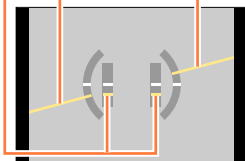
上下の傾き

- この場合、上を向いています。



左右の傾き

- この場合、右側が下がっています。



- カメラの傾きがほぼ補正された状態では、水準器は緑色に変わります。
- 縦位置撮影時は、自動で縦位置用の表示に切り換わります。

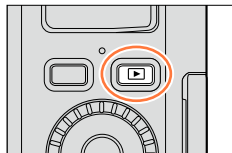
- 傾きがほぼ補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- ファンクションボタンに「水準器表示」を設定しているときは、ファンクションボタンを押すごとに、水準器の表示 / 非表示を切り換えることができます。

こんなときは使えません

- 本機を動かしている間は、水準器表示が正しく表示できない場合があります。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能 (P.53) が正しく働かない場合があります。

画像を見る

1 再生ボタンを押す



2 ◀▶ を押す、またはコントロールダイヤルを回して表示する画像を選ぶ

- ◀▶ を押したままにすると、連続して画像を送ることができます。
- 画像送りの速さは、再生の状況によって変わります。



■再生を終了するには

再度、再生ボタンを押すか、動画ボタンを押してください。またはシャッターボタンを半押ししてください。

- 再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

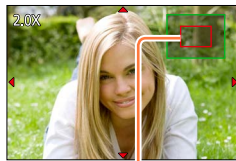
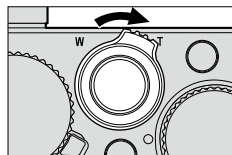
こんなときは使えません

- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。
DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

拡大して見る（再生ズーム）

1 ズームレバーを T 側に回す

- ズームレバーを T 側に回すごとに、2/4/8/16 倍に拡大します。（表示画質は粗くなります）
- ズーム倍率を縮小するとき
→ズームレバーを W 側に回す
- ズーム位置を変えるとき→▲▼◀▶を押す



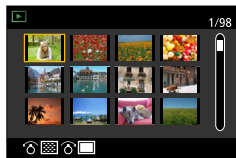
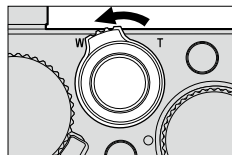
ズーム位置表示

● 動画再生中、パノラマ写真の自動スクロール中、連続再生中は、再生ズームは使えません。

画像を一覧で見る（マルチ再生）

1 ズームレバーを W 側に回す

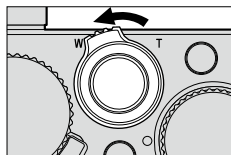
- ズームレバーを W 側に回すと、1 画面表示→12 画面表示
→30 画面表示→カレンダー画面に切り換わります。（T 側に回すと戻ります）
- 12 画面または 30 画面で、カーソルボタンで画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、1 画面表示されます。
- コントロールダイヤルでも画像を選ぶことができます。



● [!] と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

1 ズームレバーを W 側に回して、カレンダー画面を表示する



2 ▲▼◀▶ で撮影日を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 12 画面表示に切り換わります。
- コントロールダイヤルでも選択できます。

選択日



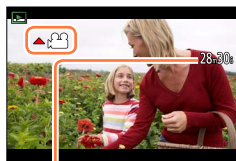
- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、[時計設定] せずに撮影した画像は、2014 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は MP4 です。

1 再生状態で動画アイコン ([🎥]) が付いた画像を選び、 ▲を押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。



動画記録時間

例) 28 分 30 秒のとき：
28m30s

動画再生中の操作

▲：一時停止 / 再生

▼：停止

◀：早戻し (2 段階*) / (一時停止中) コマ戻し

▶：早送り (2 段階*) / (一時停止中) コマ送り

コントロールダイヤル (反時計回り)：音量下げる

コントロールダイヤル (時計回り)：音量上げる

[MENU/SET] ボタン：(一時停止中) 写真切り出し (P.200)

*もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。

- 早戻し中や早送り中などの場合、▲を押すと通常の再生速度になります。

● パソコンで見る場合は、利用可能なソフトウェアをお使いください。(P.253)

● カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

画像効果 (フィルター) の [ジオラマ] を設定して撮影された動画は、約 10 倍の速度で再生されます。

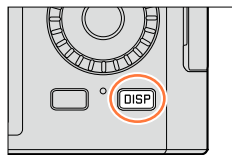
● カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

画像効果 (フィルター) の [ジオラマ] を設定して撮影された動画は、約 8 倍の速度で再生されます。

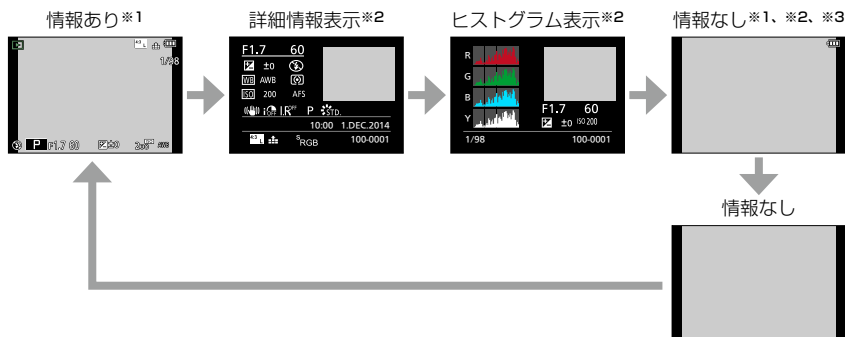
再生画面の表示情報を切り換える

1 枚再生時の画像情報（ファイル番号など）や撮影情報（撮影時の設定など）は、非表示にすることもできます。

1 【DISP】ボタンを押して表示を切り換える



・画面は以下のように切り換わります。



※1 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。【DISP】ボタンを押すと再度表示されます。

※2 再生ズーム中、動画再生中、パノラマ写真の自動スクロール中、連続再生中、スライドショー再生中は、表示 / 非表示の切り換えのみにになります。

※3 【カスタム】メニューの【ハイライト表示】(P.72) を【ON】にしているときのみ表示されます。

- 再生時はヒストグラム（カラー）を R（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）、Y（輝度）に分けて表示します。
- マルチ再生中やカレンダー画面では、表示を切り換えられません。

白飛びしている箇所を表示する / しない

MENU ボタン → **1/c** [カスタム] → [ハイライト表示] → [ON] / [OFF]

オートレビューまたは再生時に白飛び（明るすぎて、それ以上の階調が出ていない状態）している部分を点滅表示できます。撮影画像に影響はありません。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム [ON]

表示（P.64）などを参考に露出をマイナス補正して（P.135）撮影してください。（ヒストグラムの右端部分が白飛びしています）

- マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は動きません。



[OFF]



写真や動画を消す（消去）

一度消した画像は元に戻せません。

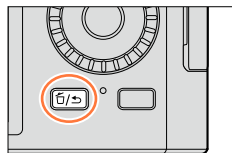
次の場合、画像は消去されません。

- プロテクトした画像
- カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] になっている
- DCF 規格（P.67）以外の画像

- 消去中は、電源を切らないでください。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。

1 枚消去

1 消去する画像を表示中に [G/△] ボタンを押す



2 ▲で [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押します。

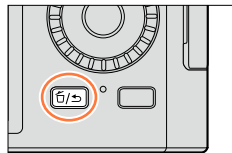


- [再生] メニューの [消去確認画面] で、消去確認画面で [はい] / [いいえ] のどちらが最初に選ばれているかを設定できます。お買い上げ時は [いいえ] が選ばれるように設定されています。（P.220）

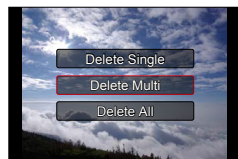
写真や動画を消す（消去）

複数消去（100 枚※まで） / 全画像を消去する

※グループ画像（P.198）は 1 枚として扱います。（選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます）

1 画像を表示中に [G/△] ボタンを押す**2 ▲▼ で [複数消去] / [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- コントロールダイヤルでも選択できます。
- [全画像消去] のとき→確認画面が表示されます。
[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押します。
- [全画像消去] のとき [お気に入り] 画像があると、[お気に入り以外全消去] が選べます。（P.216）

**3 ([複数消去] のとき) ▲▼◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- コントロールダイヤルでも選択できます。

**4 ([複数消去] のとき) ◀で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 確認画面が表示されます。[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押します。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

スナップショットモード

撮影モード：[A]

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

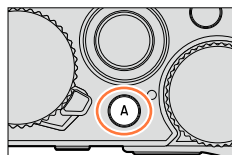
カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

- 自動シーン判別 / 逆光補正 / 顔・瞳認識 / オートホワイトバランス / インテリジェント ISO / デジタル赤目補正 / iA ズーム / 超解像 / 手ブレ補正 / iD レンジコントロール / 長秒ノイズ除去 / クイック AF/AF 補助光

1 [A] ボタンを押す

スナップショットモードに切り換わります。

- もう一度押すと、絞りリングとシャッタースピードダイヤルによって設定されている撮影モードに切り換わります。



2 被写体にカメラを向ける

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが 2 秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
- ◀ を押し、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。詳しくは 117 ページをお読みください。



fc [A] ボタンの操作方法を切り換える

MENU ボタン → fc [カスタム] → [A ボタン切換]

[押して切換]：[A] ボタンを押すと、スナップショットモードに切り換わります。

[押し続けて切換]：[A] ボタンをしばらく押したままにすると、スナップショットモードに切り換わります。

スナップショットモード

自動シーン判別

写真撮影時

i人物	i風景	iマクロ	i夜景 & 人物 ^{*1}
i夜景	i手持ち夜景 ^{*2}	i料理	i赤ちゃん ^{*3}
i夕焼け	A どのシーンにも当てはまらないとき		

^{*1} フラッシュ撮影時

^{*2} [i手持ち夜景] が [ON] の場合 (P.78)

^{*3} 個人認証機能で登録した乳幼児 (3 歳未満) を認識したとき

動画撮影時

i人物	i風景	iローライト	iマクロ
A どのシーンにも当てはまらないとき			

- [i人物]、[i風景]、[i赤ちゃん] のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。スナップショットモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。(顔・瞳認識)
- [i手持ち夜景] と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 追尾 AF 時は、被写体をロックするまで自動シーン判別は働きません。
- [個人認証] を [ON] に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i人物]、[i風景]、[i赤ちゃん] の右上に [R] が表示されます。

● 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。



逆光補正について

スナップショットモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像を明るくすることにより自動で逆光補正します。

フラッシュを使うには

- 1 本機の電源を切る
- 2 ホットシューカバーを取り外す
- 3 フラッシュを取り付ける
- 4 本機とフラッシュの電源スイッチを [ON] にする

詳しくは、177 ページまたは 261 ページをお読みください。

■フラッシュ

フラッシュの電源スイッチを [OFF] にしているときは [ⓧ] (発光禁止) に、[ON] にしているときは [iA] (オート) に設定されます。

[ON] にしているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で [iA]、[iA] (赤目軽減オート)、[iA] または [iA] に設定します。

- [iA] と [iA] のときは、[デジタル赤目補正] 機能が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。
- [iA] と [iA] のときは、シャッタースピードが遅くなります。

設定できるメニューについて

以下のメニューのみ設定できます。

メニュー	項目
[撮影]	[記録画素数] / [クオリティ] / [AFS/AFF/AFC] / [連写速度] / [セルフタイマー] / [i 手持ち夜景] / [iHDR] / [インターバル撮影] / [コマ撮りアニメ] / [個人認証]
[動画撮影]	[画質設定] / [AFS/AFF/AFC]
[カスタム]	[サイレントモード] / [ガイドライン表示] / [残枚数 / 残時間切換]
[セットアップ]	すべてのメニュー項目が設定できます。(P.41)

手持ちで夜景を撮る (i 手持ち夜景)

[i 手持ち夜景] は手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できる機能です。

MENU ボタン →  [撮影] → [i 手持ち夜景] → [ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- 画面に複数枚撮影のメッセージが表示されます。シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 三脚などでカメラを固定しているときは、[i ] と判別されません。
- フラッシュは [] (発光禁止) に固定されます。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 次の場合、[i 手持ち夜景] は使えません。
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

階調豊かな写真に合成する (iHDR)

[iHDR] は背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成する機能です。

[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iHDR] → [ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- 画面に複数枚撮影のメッセージが表示されます。シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 次の場合、[iHDR] は使えません。
 - ・フラッシュ撮影時
 - ・連写撮影時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時（[[自動撮影] 設定時のみ）

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

絞りリングとシャッタースピードダイヤルの設定によって、露出を設定することができます。

[撮影] メニューなどで各種設定を変えて、お好みの設定で撮影することができます。また、画像効果を加えて撮影することもできます。(P.89)

撮影モード	絞りリング	シャッタースピードダイヤル
P プログラムモード (P.81)	[A] (AUTO)	[A] (AUTO)
A 絞り優先モード (P.83)	お好みの設定値に*1	[A] (AUTO)
S シャッター優先モード (P.84)	[A] (AUTO)	お好みの設定値に*2
M マニュアル露出モード (P.86)	お好みの設定値に*1	お好みの設定値に*2

- 絞り優先モード、シャッター優先モード、マニュアル露出モードでは、設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(P.88)

また、画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。

動画撮影時は、設定したシャッタースピードより高速のシャッタースピードになる場合があります。

*1 F1.7～F16の間で設定できます。

ズーム位置によっては選べない値があります。

*2 1秒～1/4000秒の間で設定できます。

次の場合は、コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して設定してください。

- 1/4000秒より高速または1秒より低速のシャッタースピード
- 1/3EV ステップ刻みのシャッタースピード

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

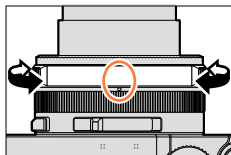
絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る (プログラムモード)

モード: **P**

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 絞りリングを [A] (AUTO) に設定する

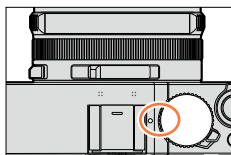
設定位置に確実に合わせてください。



2 シャッタースピードダイヤルを [A] (AUTO) に設定する

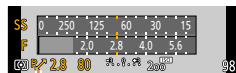
プログラムモードに設定され、撮影モードアイコンが [P] に変わります。

使う設定に確実に合わせてください。



3 シャッターボタンを半押しする

- 適正な露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。



プログラムシフト表示

4 数値が黄色で表示されている間 (約 10 秒間) に、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする (P.82)

- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまでコントロールダイヤルを回してください。
- 露出を補正する場合は、露出補正ダイヤルで調整してください。(P.135)

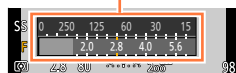


露出メーターを表示する / しない

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [露出メーター] → [ON] / [OFF]

- [ON] に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。(P.62)
- 約 4 秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。

露出メーター

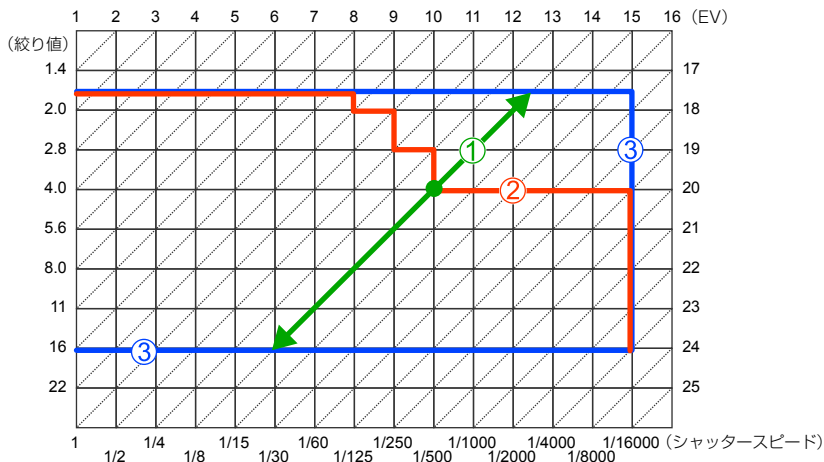


絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

プログラムシフトについて

同じ露出（明るさ）になるように、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトを使うと、プログラムモードでもシャッタースピードや絞り値を調整して撮影できます。

<プログラムシフトの例>



- ① プログラムシフト量
- ② プログラムシフト線図
- ③ プログラムシフト限界

● EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。

こんなときは使えません

- 次の場合、プログラムシフトは使えません。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ ISO 感度を [B ISO] に設定時

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

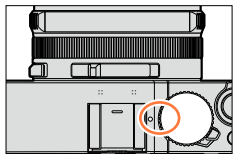
絞り値を決めて撮る（絞り優先モード）

モード： **A**

絞り値を大きくすると、ピントが合う奥行きが広がり、手前から背景までくっきりと写ります。絞り値を小さくすると、ピントが合う奥行きが狭くなり、背景をぼかしたりできます。

1 シャッタースピードダイヤルを [A] (AUTO) に設定する

使う設定に確実に合わせてください。

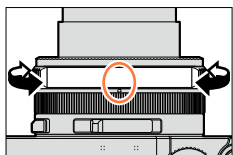


2 絞りリングを回して絞り値を選ぶ

絞り優先モードに設定され、撮影モードアイコンが [A] に変わります。

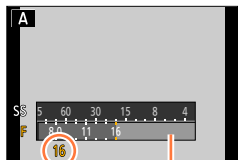
使いたい設定値に確実に合わせてください。

- 露出を補正する場合は、露出補正ダイヤルで調整してください。
(P.135)



設定可能な絞り値※	設定されるシャッタースピード (秒)
F1.7 ~ F16	60 ~ 1/4000 (メカシャッター使用時) 1 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)

※ズーム位置によっては選べない値があります。



露出メーター

絞り値

- 絞りリングを回すと、露出メーターが表示されます。適正な露出でない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

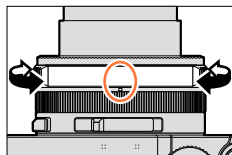
シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先モード）

モード：[S]

シャッタースピードを速くすると、被写体のブレを抑えて撮影できます。シャッタースピードを遅くすると、被写体の動きを表現できます。

1 絞りリングを [A]（AUTO）に設定する

設定位置に確実に合わせてください。

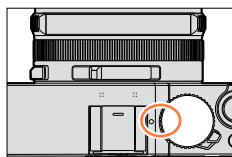


2 シャッタースピードダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ

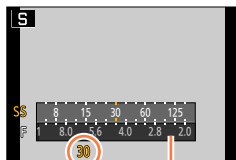
シャッター優先モードに設定され、撮影モードアイコンが [S] に変わります。

使いたい設定値に確実に合わせてください。

- 露出を補正する場合は、露出補正ダイヤルで調整してください。（P.135）



設定可能なシャッタースピード（秒）	設定される絞り値
60 ~ 1/4000（メカシャッター使用時）	F1.7 ~ F16
1 ~ 1/16000（電子シャッター使用時）	



露出メーター

シャッタースピード

■シャッタースピードダイヤルに記載のないシャッタースピードに設定するには

次のシャッタースピードは、コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して設定してください。シャッタースピードは、画面で確認してください。

シャッター方式の設定は 140 ページをお読みください。

- 1/4000 秒より高速または 1 秒より低速のシャッタースピード
 - ① シャッタースピードダイヤルを [4000-] または [1+] に設定する
 - ② コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回してシャッタースピードを選ぶ
- 1/3EV ステップ刻みのシャッタースピード

シャッタースピードダイヤルの設定値から $\pm 2/3$ ステップの範囲で設定できます。

例：シャッタースピードを 1/400 秒に設定する場合

 - ① シャッタースピードダイヤルを回して [500] を選ぶ
 - ② コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して [400] を選ぶ

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

- シャッタースピードダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正な露出でない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ISO 感度が [ISO] のときに、撮影モードをシャッター優先モードに切り換えると、ISO 感度は [AUTO] になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚やセルフタイマーの使用をお勧めします。

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る（マニュアル露出モード）

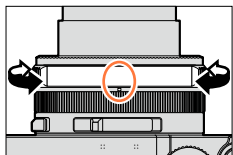
モード：[M]

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

1 絞りリングを回して絞り値を選ぶ

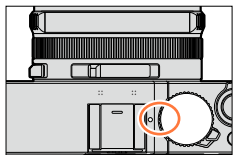
設定位置に確実に合わせてください。



2 シャッタースピードダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ

マニュアル露出モードに設定され、撮影モードアイコンが [M] に変わります。

使いたい設定値に確実に合わせてください。

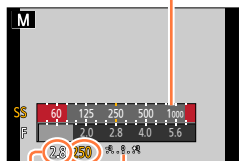


露出メーター

設定可能な絞り値※1	設定可能なシャッタースピード※2（秒）
F1.7 ~ F16	T（タイム）、 60 ~ 1/4000（メカシャッター使用時） 1 ~ 1/16000（電子シャッター使用時）

※1 ズーム位置によっては選べない値があります。

※2 絞り値によっては選べない値があります。

絞り値
マニュアル露出
アシスト
シャッタースピード

■シャッタースピードダイヤルに記載のないシャッタースピードに設定するには

次のシャッタースピードは、コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して設定してください。設定方法については、84 ページをお読みください。

- 1/4000 秒より高速または 1 秒より低速のシャッタースピード
- 1/3EV ステップ刻みのシャッタースピード

- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ISO 感度が [ISO] のときに、撮影モードをマニュアル露出モードに切り換えると、ISO 感度は [AUTO] になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚やセルフタイマーの使用をお勧めします。

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

**マニュアル露出アシスト (目安)**

	標準的な明るさ (適正露出) に写ります。
	明るく写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
	暗く写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

T (タイム) について

シャッタースピードを T (タイム) に設定し、シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開いた状態になります。(最大約 120 秒間)

シャッターボタンをもう一度押すと、シャッターが閉じます。花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- タイム撮影時は、十分に充電されたバッテリー (P.20) を使用してください。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- ISO 感度を [AUTO] に設定時、シャッタースピードを T (タイム) に設定すると、ISO 感度は [200] に切り換わります。
- 電子シャッター使用時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。



- タイム撮影時は、手ブレ防止のために、三脚の使用またはスマートフォンをシャッターの代わりとして使用し (P.225、231)、リモート撮影することをお勧めします。
- タイム撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[撮影] メニューの [長秒ノイズ除去] を [ON] にして撮影することをお勧めします。(P.113)

**撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない**

MENU ボタン → [カスタム] → [常時プレビュー (M モード)] → [ON] / [OFF]

- フラッシュ使用時は動きません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り値とシャッタースピードを設定して撮る

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード）

撮影モード：[A] [P] [A] [S] [M]

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- ・ **絞り効果の確認**：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- ・ **シャッタースピード効果の確認**：実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

1 ファンクションボタンに「プレビュー」を設定する（P.37）

- ・ 次の手順は、[Fn1] ボタンに「プレビュー」を設定した場合の例です。

2 [Fn1] ボタンを押して確認画面を切り換える

- ・ [Fn1] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。

**被写界深度の性質**

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い (狭い) 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い (広い) 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど

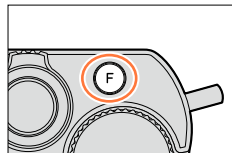
- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認のできる範囲は、8 秒～ 1/16000 秒です。

画像効果を加えて撮る（フィルター）

撮影モード：**A P A S M**

いろいろな効果の中から好みの設定を選んで、画面上で効果を確認しながら撮影できます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができます。パノラマ撮影時にも画像効果を加えることができます。

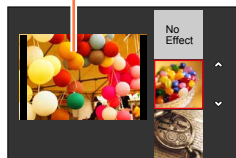
1 [F] ボタンを押す



2 ▲▼を押す、またはコントロールダイヤルを回して画像効果（フィルター）を選ぶ

- 選べる画像効果（フィルター）は22種類あります。（P.92～99）
- 選んだ作例写真の画像効果がプレビュー表示に反映されます。

プレビュー表示



3 [MENU/SET] ボタンを押す

画像効果が設定された画面が表示されます。

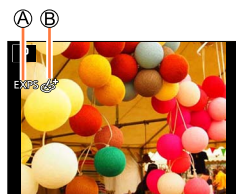
例：プログラムモードで、画像効果（[サンシャイン]）を設定した場合

① 画像効果

（[効果なし（No Effect）] を選択時は表示されません）

② 画像効果の調整（P.91）

（画像効果設定時のみ表示されます）



画像効果（フィルター）を変更するには

再度、[F] ボタンを押して、上記手順 **2**以降と同様の操作を行ってください。

画像効果を加えて撮る（フィルター）

- 撮影モードを変更したり、電源を切ったりしても、設定は記憶されます。
- 画像効果を加えないときは、[効果なし (No Effect)] を選択してください。
- 画像効果を設定すると、次の設定は固定されます。
 - ・ ホワイトバランス：[AWB]
 - ・ フォトスタイル：[スタンダード]
 - ・ ハイライトシャドウ：[スタンダード]
 - ・ iD レンジコントロール：[OFF]
 - ・ HDR：[OFF]
 - ・ 色空間：[sRGB]
- フラッシュは [ⓧ]（発光禁止）になります。
- 選んだ効果が反映されたプレビュー画面や撮影画面の表示は、実際に撮影した画像と異なる場合があります。

画像効果（フィルター）を選ぶ画面の表示を切り換えるには

1 [DISP] ボタンを押して切り換える

- ・ [DISP] ボタンを押すごとに、画像効果を選ぶ画面が切り換わります。
- ・ ガイド表示に切り換えると、選択されている画像効果の説明が表示されます。



画像効果を加えて撮る（フィルター）

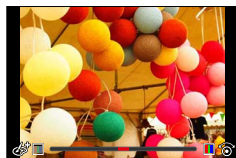
画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 ► を押して設定画面を表示する

2 コントロールダイヤルを回して画像効果を調整する

- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。それぞれの画像効果の「調整できる項目」をお読みください。
- [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
- 画像効果の設定を行うと、画面に【】が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心（標準）を選んでください。



画像効果の適用前と適用後の写真を撮る（フィルターなし同時記録）

1 回シャッターボタンを押すと、効果適用前と適用後の写真 2 枚を同時に撮影できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フィルターなし同時記録】**

設定：[ON] / [OFF]

- [ON] に設定すると、効果適用後、効果適用前の順で撮影されます。
 - 効果適用前の写真は、画像効果（フィルター）をかけたときのメニュー設定に従います。ただし、次の設定は固定されます。
 - ホワイトバランス：[AWB]（微調整はできません）
 - [iD レンジコントロール]：[OFF]
 - 撮影後、[オートレビュー] で表示される写真は、効果適用後の写真のみになります。
- [ON] に設定すると、連写、オートブラケット、アスペクトブラケット、ホワイトバランスブラケット、[インターバル撮影]、[コマ撮りアニメ]、パノラマ撮影はできません。
- 動画撮影時は動きません。

画像効果を加えて撮る（フィルター）

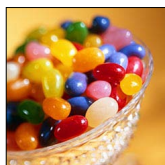
画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【ポップ】

色を強調したポップアート風の画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

鮮やかさ	落ち着いた色合い	◀▶	派手な色合い
------	----------	----	--------

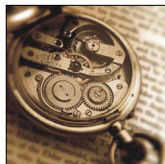


【レトロ】

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかな画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	黄色っぽい色	◀▶	赤っぽい色
-----	--------	----	-------



【オールドデイズ】

光に包まれた柔らかく、懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

コントラスト	明暗差が小さい	◀▶	明暗差が大きい
--------	---------	----	---------



【ハイキー】

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	ピンクっぽい色	◀▶	水色っぽい色
-----	---------	----	--------

● パノラマ撮影時、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。



画像効果を加えて撮る（フィルター）

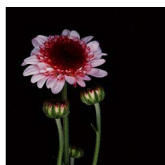
画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【ローキー】

全体的に暗く落ち着いた雰囲気、明るい部分を引き立てる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	赤っぽい色	◀▶	青っぽい色
-----	-------	----	-------



【セピア】

セピア色の画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

コントラスト	明暗差が小さい	◀▶	明暗差が大きい
--------	---------	----	---------



【モノクローム】

白黒の画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	黄色っぽい色	◀▶	青っぽい色
-----	--------	----	-------



【ダイナミックモノクローム】

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

コントラスト	明暗差が小さい	◀▶	明暗差が大きい
--------	---------	----	---------



画像効果を加えて撮る（フィルター）

画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【ラフモノクローム】

粗い粒子感を加えたモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

粒子感	粒子感が弱い	◀▶	粒子感が強い
-----	--------	----	--------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



【シルキーモノクローム】

全体を少しぼかし、柔らかな雰囲気モノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

ボケ具合	ボケ具合が小さい	◀▶	ボケ具合が大きい
------	----------	----	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



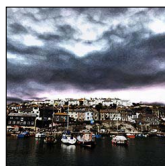
【インプレッシブアート】

強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

鮮やかさ	白黒	◀▶	派手な色合い
------	----	----	--------

- パノラマ撮影時、写真のつなぎ目が目立つことがあります。



【ハイダイナミック】

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

鮮やかさ	白黒	◀▶	派手な色合い
------	----	----	--------



画像効果を加えて撮る（フィルター）

画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【クロスプロセス】

意外な発色で、独特の雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色
-----	--------------------------------



【トイフォト】

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	オレンジっぽい色	◀▶	青っぽい色
-----	----------	----	-------



【トイポップ】

明るく鮮やかにトイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

周辺光量が落ちる範囲	小さい	◀▶	大きい
------------	-----	----	-----



【ブリーチバイパス】

高コントラストで彩度を低くした、映画で使われるような渋い雰囲気の画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

コントラスト	明暗差が小さい	◀▶	明暗差が大きい
--------	---------	----	---------



画像効果を加えて撮る（フィルター）

画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

[ジオラマ]

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

鮮やかさ	落ち着いた色合い ◀▶	派手な色合い
------	-------------	--------



■ぼかし方の設定

[ジオラマ] では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き（ぼかす向き）やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

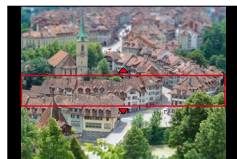
① [Fn1] ボタンを押す

② ▲ ▼ または ◀ ▶ でぼかさない部分を移動する

③ コントロールダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

④ [MENU/SET] ボタンを押す

・ [DISP] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。



● 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

● 動画に音声は録音されません。

● カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

動画は約 1/10 の時間で記録されます。（10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります）表示される記録可能時間は約 10 倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。

● カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

動画は約 1/8 の時間で記録されます。（8 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります）表示される記録可能時間は約 8 倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。

● 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで、カメラを構えたままお待ちください。

● フォーカスモードが [MF] の場合、ピントを合わせた場所にぼかさない部分を移動させてください。

画像効果を加えて撮る（フィルター）

画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【ソフトフォーカス】

全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

ボケ具合	ボケ具合が小さい	◀▶	ボケ具合が大きい
------	----------	----	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



【ファンタジー】

淡い色調で空想の世界のような雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

鮮やかさ	落ち着いた色合い	◀▶	派手な色合い
------	----------	----	--------



【クロスフィルター】

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

光の輝きの長さ	輝きが短い	◀▶	輝きが長い
---------	-------	----	-------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



画像効果を加えて撮る（フィルター）

画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【ワンポイントカラー】

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

残す色の量	少し色を残す	◀▶	多く色を残す
-------	--------	----	--------



■色の選択

- ① [Fn1] ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶ で残す色を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ [DISP] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。



● 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

画像効果を加えて撮る（フィルター）

画像効果（フィルター）の設定方法は → 89 ページ

【サンシャイン】

光が差し込むような雰囲気を作る画像効果です。

調整できる項目（▶ を押して設定画面を表示する）

色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色
-----	--------------------------------



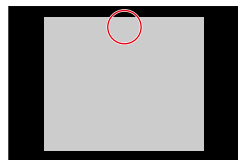
■光源の設定

- ① [Fn1] ボタンを押す
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ で光源の中心の位置を移動する
 - ・ 光源の中心は画面の端まで移動できます。



光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。



- ③ コントロールダイヤルを回して光源の大きさを調整する
 - ・ 4 種類の大きさに変更できます。
 - ・ [DISP] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。

- ④ [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

効果をつけて画質を調整する（フォトスタイル）

撮影モード： **A P A S M**

撮りたいイメージに合わせて、色や画質を調整できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フォトスタイル】**

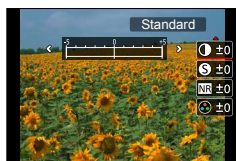
 STD. 【スタンダード】	標準的な設定です。
 VIVID 【ヴィヴィッド】	彩度やコントラストが高めの設定です。
 NAT 【ナチュラル】	コントラストが低めの設定です。
 MONO 【モノクローム】	白黒など、単色の階調のみで表現する設定です。
 SCNY 【風景】	青空や緑を鮮やかにする設定です。
 PORT 【人物】	肌色を健康的に見せる設定です。
 CUST 【カスタム】	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。

- 画像効果（フィルター）設定時は、[スタンダード] に固定されます。
- [撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

効果をつけて画質を調整する（フォトスタイル）

■画質を調整する

① ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ



② ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する

C コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
S シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
色度※1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
色調※1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。（効果：弱）青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。（効果：中）青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。（効果：強）青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—

※1 [モノクローム] 選択時のみ [色調] が表示されます。それ以外では [彩度] が表示されます。

※2 [モノクローム] 選択時のみ [フィルター効果] が表示されます。

- 画質を調整すると、アイコンに [+] が表示されます。

③ [MENU/SET] ボタンを押す

■調整した画質の設定を [カスタム] に登録する

①「画質を調整する」の手順 ② で画質を調整し、[DISP] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

明るい / 暗い部分を調整する (ハイライトシャドウ)

撮影モード：**A P A S M**

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

1 メニューを設定する

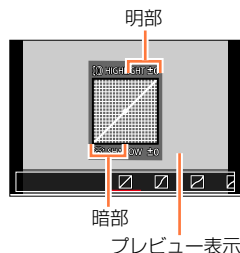
MENU ボタン → [撮影] → [ハイライトシャドウ]

2 ◀▶ で設定項目を選ぶ

☒ (スタンダード)	調整なしの状態になります。
☒ (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
☒ (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
☒ (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
/ / (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

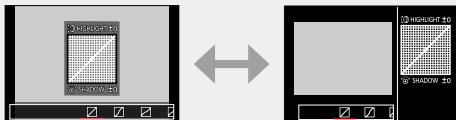
3 コントロールリングを回して明部の、コントロールダイヤルを回して暗部の明るさを調整する

- お好みの設定を登録する場合は ▲ を押して、カスタム登録先 (カスタム 1 () / カスタム 2 () / カスタム 3 ()) を選んでください。



4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 明るさ調整の画面で [DISP] ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



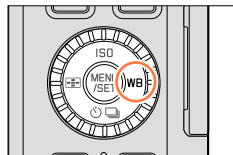
- / / に登録した設定は、電源を切っても記憶しています。
- / / / で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。
- [撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

ホワイトバランスを調整する

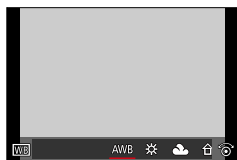
撮影モード： **A P A S M**

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタン (▶) を押す



2 コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



[AWB]	環境光に応じて、自動で色合いを調整します。
[☀]	晴天下に適した色合いに調整します。
[☁]	曇天下に適した色合いに調整します。
[合]	日陰に適した色合いに調整します。
[💡]	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
[WB]※	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
[1] / [2] / [3] / [4]	手動で設定した設定値を使用します。
[M]	あらかじめセットしている色温度設定を使用します。

※動画撮影中は [AWB] の動作になります。



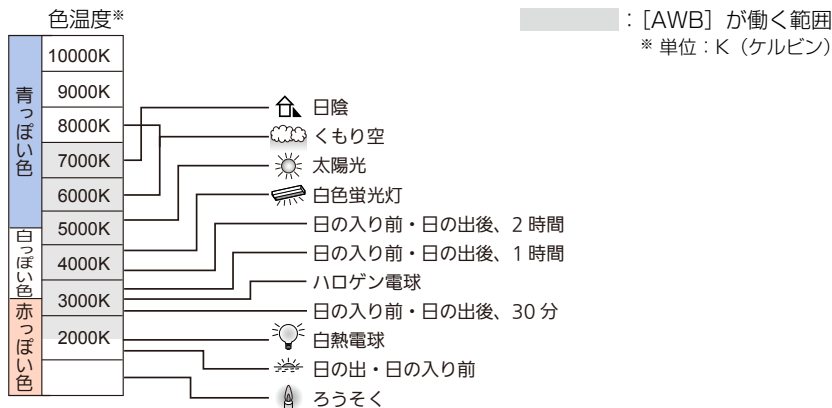
蛍光灯や LED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または [1]、[2]、[3]、[4] をご使用ください。

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲 (P.178) 外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- 次の場合、[AWB] に固定されます。
 - ・ 画像効果 (フィルター) 設定時

ホワイトバランスを調整する

■オートホワイトバランスについて

AWB（オートホワイトバランス）に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを「AWB」以外に設定して調整してください。

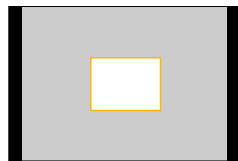


K＝ケルビン色温度

手動でホワイトバランスを設定する

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

- 1 「WB」 ボタン (▶) を押す
- 2 コントロールダイヤルを回して [1], [2], [3], または [4] を選び、▲を押す
- 3 画面中央の枠内に紙など白いものを写し、[MENU/SET] ボタンを押す



- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、設定し直してください。

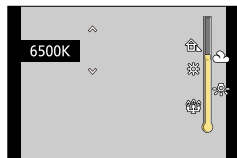
ホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを設定する

色温度でホワイトバランスを設定できます。色温度とは、光の色を数値（単位：K＊）で表したもので、温度が高いほど青く、低いほど赤くなります。

＊ケルビン

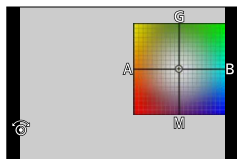
- 1 [WB] ボタン (▶) を押す
- 2 コントロールダイヤルを回して [K] を選び、▲ を押す
- 3 ▲ ▼ で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 2500K ～ 10000K まで設定できます。



ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。

- 1 ホワイトバランスを選び ▼ を押す
- 2 ▲ ▼ ◀ ▶ でホワイトバランスを微調整する
 - ◀ : A (アンバー：オレンジ系) ▶ : B (ブルー：青系)
 - ▲ : G (グリーン：緑系) ▼ : M (マゼンタ：赤系)
 - [DISP] ボタンを押すと中心点に戻ります。



3 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスを A (アンバー) または B (ブルー) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスを G (グリーン) または M (マゼンタ) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに [＋] (グリーン) または [－] (マゼンタ) が表示されます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影時にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- [1], [2], [3], [4] で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または [K] で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準（中心点）に戻ります。

ホワイトバランスを調整する

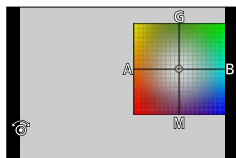
ホワイトバランスのブラケット撮影をする

ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、1回の撮影操作で異なる色合いの写真を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランスを微調整する」の手順 2 でホワイトバランスを微調整し、コントロールダイヤルを回してブラケット設定を行う

時計回りに回す：横方向（A ～ B）

反時計回りに回す：縦方向（G ～ M）



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、ホワイトバランスのアイコンの上に [BKT] が表示されます。
- 電源を切ると（スリープモードを含む）、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は 1 回しか鳴りません。

こんなときは使えません

- 次の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
 - ・パノラマ撮影時
 - ・動画撮影時
 - ・[4K フォト] を [ON] に設定時
 - ・[クオリティ] を [RAW  - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・インターバル撮影時

画質とサイズを設定する

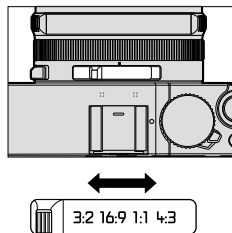
写真の横縦比を変える

撮影モード：[A] [P] [A] [S] [M]

アスペクト切換スイッチで写真の横縦比を簡単に切り換えることができます。

1 アスペクト切換スイッチを操作して、画像横縦比を切り換える

[4:3]	4:3 テレビの横縦比
[1:1]	正方形横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比



- プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。(P.292)

 **こんなときは使えません**

- パノラマ撮影時は使えません。

画質とサイズを設定する

記録画素数を設定する

撮影モード：**A P A S M**

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【記録画素数】**

画像横縦比	4:3	1:1	16:9	3:2
記録画素数	[L] 12.5M 4112 × 3088	[L] 10M 3088 × 3088	[L] 11M 4480 × 2520	[L] 12M 4272 × 2856
	[EX M] 6.5M 2976 × 2232	[EX M] 5M 2240 × 2240	[EX M] 8M 3840 × 2160	[EX M] 6.5M 3120 × 2080
	[EX S] 3M 2048 × 1536	[EX S] 2.5M 1536 × 1536	[EX S] 2M 1920 × 1080	[EX S] 3M 2112 × 1408

- [連写速度] を [SH] に設定時は、記録画素数は [S] に固定されます。



こんなときは使えません

- パノラマ撮影時は使えません。

画像の圧縮率を設定する（クオリティ）

撮影モード：**A P A S M**

JPEG 形式または RAW 形式のファイルフォーマットを選択できます。

JPEG 形式では、画質を選択することもできます。

Adobe® Photoshop® Lightroom® のようなソフトウェアを使って編集したいときは、RAW 形式が最適です。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【クオリティ】**

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先して、JPEG 形式で記録します。
		標準画質で、JPEG 形式で記録します。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
	RAW + JPEG	RAW 形式に加え、JPEG 形式でも記録します。※ ¹
		
	RAW	RAW 形式で記録します。※ ²

※¹ 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

※² 各画像横縦比の最大記録画素数（[L]）に固定されます。



RAW について

RAW 形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。JPEG 形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。RAW 画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

RAW 画像を編集することで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式で保存ができます。

・[再生] メニューの [RAW 現像] で RAW 画像を現像することができます。（P.205）



こんなときは使えません

- 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。
 - スナップショットモード
 - 画像効果（フィルター）
 - ホワイトバランス※1
 - [撮影] メニューの [フォトスタイル]※1、[ハイライトシャドウ]※1、[iD レンジコントロール]※1、[デジタル赤目補正]※2、[超解像]※1、[色空間]※1
 - 次の場合は、[RAW ] [RAW ] [RAW] に設定できません。
 - パノラマ撮影時
- ※1 [再生] メニューの [RAW 現像] では、撮影時の設定から調整をするので、撮影時の設定で JPEG 形式の写真を書き出すことができます。
- ※2 撮影時に [デジタル赤目補正] が働いた場合、[再生] メニューの [RAW 現像] では、補正が働いた JPEG 形式の写真を書き出します。

画像補正機能を使いこなす

コントラストや露出を補正する (iD レンジコントロール)

撮影モード： **A P A S M**

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【iD レンジコントロール】**

設定： **【AUTO】** / **【強】** / **【中】** / **【弱】** / **【OFF】**

- **【AUTO】** では、撮影状況に合わせて効果の強さを自動的に設定します。
- **【撮影】** メニューと **【動画】** メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。



こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 次の場合、**【iD レンジコントロール】** は働きません。
 - ・パノラマ撮影時
 - ・**【HDR】** を **【ON】** に設定時

解像感を高める (超解像)

撮影モード： **A P A S M**

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【超解像】**

設定： **【強】** / **【中】** / **【弱】** / **【拡張】** / **【OFF】**

- **【拡張】** は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時は **【拡張】** は **【弱】** に変わります。
- **【撮影】** メニューと **【動画】** メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

画像補正機能を使いこなす

露出の異なる写真を合成する (HDR)

撮影モード： **A P A S M**

露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。HDR 合成した画像は JPEG で記録されます。

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[HDR]**

[ON]		HDR 合成した写真を撮影します。
[OFF]		HDR 合成を行いません。
[設定]	[D レンジ設定]	[AUTO] ：被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV] / [±2EV] / [±3EV] ：設定した露出の調整幅で撮影します。
	[自動位置調整]	[ON] ：手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF] ：画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

■HDR とは

High Dynamic Range (ハイダイナミックレンジ) の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影されることがあります。
- **[自動位置調整]** を **[ON]** に設定時は、画角がわずかに狭くなります。
- フラッシュ撮影時は **[ⓧ]** (発光禁止) に固定されます。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では動きません。
- 次の場合、**[HDR]** は使えません。
 - ・ **[クオリティ]** を **[RAW **] **[RAW **] **[RAW]** に設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ **[コマ撮りアニメ]** 時 (**[自動撮影]** 設定時のみ)

画像補正機能を使いこなす

長秒露光時のノイズを低減する（長秒ノイズ除去）

撮影モード： **A P A S M**

夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【長秒ノイズ除去】**

設定：[ON] / [OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のために選択したシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。

こんなときは使えません

- 次の場合、[長秒ノイズ除去] は動きません。
 - ・パノラマ撮影時
 - ・動画撮影時
 - ・[連写速度] を [SH] に設定時
 - ・電子シャッター使用時

色空間を設定する

撮影モード： **A P A S M**

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

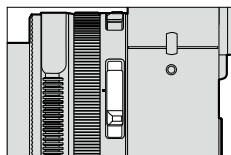
MENU ボタン →  **【撮影】** → **【色空間】**

[sRGB]	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いので、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、[sRGB] に設定してください。
- 動画撮影時は、[sRGB] に固定されます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

- 1** フォーカス切換スイッチを[AF]
または[AF $\frac{1}{2}$]に切り換える



オートフォーカスが働きます

指標に合わせる

フォーカスモードを選ぶ（AFS、AFF、AFC）

撮影モード：[A] [P] [A] [S] [M]

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [AFS/AFF/AFC]

フォーカス 切換 スイッチ	設定	被写体の動き、 撮影シーン (お勧め)	設定内容
AF* AF $\frac{1}{2}$ *	AFS	静止している (風景、 記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
	AFF	動きが予測できない (子ども、 ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
	AFC	動いている (スポーツ、 鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動物予測)
MF	—		手動でピントを合わせます。(P.128)

*スナップショットモード時は、フォーカス切換スイッチを[AF]または[AF $\frac{1}{2}$] (AFマクロ) に切り換えても、AFマクロに固定されます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）



【AFF】、【AFC】で撮影する場合は

- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- 【AFF】 や 【AFC】 で明るさが足りないときは 【AFS】 と同じ動作をします。このとき画面の表示が黄色の 【AFS】 に変わります。



こんなときは使えません

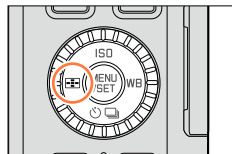
- 次の場合、【AFS】で動作します。
 - ・ パノラマ撮影時

オートフォーカスモードを切り換える

撮影モード： **A P A S M**

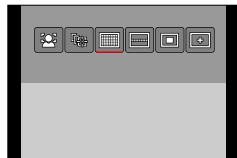
被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 ボタン（◀）を押す



2 ◀▶ でオートフォーカスモードを選び、【MENU/SET】ボタンを押す

- 、、、 を選択時に ▼ を押すと、AF エリア設定画面が表示されます。AF エリア設定画面での操作については、121 ページをお読みください。



- 次の場合、（1 点）に固定されます。
 - ・ 画像効果（フィルター）設定時（[ジオラマ]）



こんなときは使えません

- 次の場合、（ピンポイント）に設定できません。
 - ・ 【AFS/AFF/AFC】（P.114）を 【AFF】 または 【AFC】 に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

人物を正面から撮るとき （顔・瞳認識）

人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせてます。（「測光モード」を （マルチ測光）に設定時）

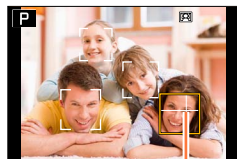
- ・検知できる顔は 15 個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。

カメラが顔を認識すると AF エリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示。

黄色の AF エリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。



ピントを合わせる目

- AF エリアの位置と大きさ、ピントを合わせる目を変えることができます。（P.121）
- （顔・瞳認識）選択時、「測光モード」を （マルチ測光）に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。（P.139）

 こんなときは使えません

- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、（49 点）に切り換わります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき （追尾 AF）

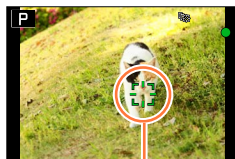
1 被写体を追尾 AF 枠に合わせ、シャッターボタンを半押しする

被写体を認識すると、追尾 AF 枠が白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。

AF ロックに失敗したときは、赤く点滅したあと消えます。

もう一度ロックをやり直してください。

- ・追尾 AF を解除するとき→ [MENU/SET] ボタンを押す
- ・ピントが合う範囲：[AF ]（AF マクロ）と同じ
- ・スナップショットモードでは、◀を押すごとに追尾 AF と顔認識が切り換わります。



追尾 AF 枠

- [測光モード] を []（マルチ測光）に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。（P.139）
- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾 AF が正しく動作しない場合があります。追尾 AF が動かないときは、[]（1点）となります。

こんなときは使えません

- インターバル撮影時は []（追尾 AF）は使えません。
- 次の場合、[]（追尾 AF）は []（1点）の動作になります。
 - ・画像効果（フィルター）設定時（[セピア] [モノクローム] [ダイナミックモノクローム] [ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・[フォトスタイル] の [モノクローム]

被写体が中央にないとき （49点） / など（カスタムマルチ）

（49点）

撮影画面の広範囲（最大 49 点）の中の被写体にピントを合わせます。



- ピントを合わせるエリアを選択できます。（P.121）

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

[] など（カスタムマルチ）

被写体に合わせて、49 点の AF エリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。

1 [] ボタン（◀）を押す

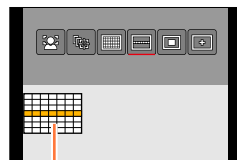
2 カスタムマルチアイコン（[] など）を選び、▲を押す

- ▼を押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

3 ◀▶で設定項目を選ぶ

- 現在の AF エリアの形状が、画面の左下に表示されます。

[]（横）	横一列の形状 流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
[]（縦）	縦一列の形状 建築物の撮影などに便利な形状です。	
[FREE]（フリー）	自由な形状	
[C1] / [C2] / [C3]（カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。	



現在の AF エリアの形状

4 ▼を押す

- AF エリア設定画面が表示されます。

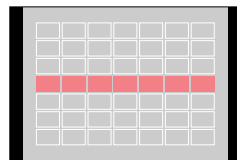
5 AF エリアを選ぶ

- 選択されている AF エリアは黄色で、選択されていない AF エリアは白色で表示されます。

[] / [] 選択時

[] 選択時は縦方向に、[] 選択時は横方向に、大きさと位置を設定できます。

ボタン操作	操作内容
▲▼◀▶	位置の移動
コントロールダイヤル	大きさの変更（最大 3 列まで）
[DISP] ボタン	初期設定に戻す

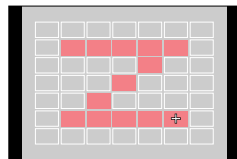


自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

【FREE】 / 【C1】 / 【C2】 / 【C3】 選択時

▲▼◀▶ で AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

- もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- [DISP] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。



6 [Fn2] ボタンを押す

■設定した AF エリアを 【C1】、【C2】、【C3】（カスタム）に登録する

① 118 ページの手順 **3** の画面で、▲ を押す

② ▲▼ で登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 【C1】 / 【C2】 / 【C3】 に登録した設定は、電源を切っても記憶しています。
- 【.....】 / 【I】 / 【FREE】 で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。
- [カスタム] メニューの [ダイレクトフォーカス移動] を [ON] に設定時、カーソルボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

ピントを合わせる位置が決まっているとき **[■]（1点） / [+]（ピンポイント）****[■]（1点）**

画面中央の AF エリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにお勧め）

- AF エリアの位置と大きさを変更することができます。（P.121）

**フォーカスロック**

撮りたいものが中央にないときは、次のようにして撮影してください。（[AFS/AFF/AFC] を [AFS] に設定時のみ）

1 被写体にピントを合わせる

AF エリアを
被写体に合わせ



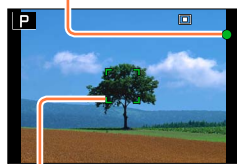
半押しのまま

2 撮りたい構図に戻し、撮影する

全押し

フォーカス表示

（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）

**AF エリア**

（ピントが合う：緑
ピントが合わない：赤）

**[+]（ピンポイント）**

[■]（1点）より小さな点で繊細なピント合わせができます。

- 拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。（P.122）
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が拡大表示されます。
- 拡大表示される時間は [カスタム] メニューの [ピンポイント AF 時間] で設定できます。（P.122）
- 動画撮影中、**[+]**（ピンポイント）に設定している場合は、**[■]**（1点）に切り換わりします。

**こんなときは使えません**

- 次の場合、**[+]**（ピンポイント）に設定できません。
 - [AFS/AFF/AFC]（P.114）を [AFF] または [AFC] に設定時

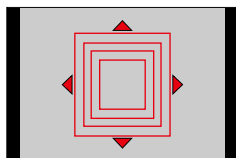
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

AF エリアの位置や大きさを変更する

■ [F] / [□] 選択時

AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

- ① [F] または [□] を選び、▼を押す
 - ・ AF エリア設定画面が表示されます。
- ② AF エリアを変更する
 - AF エリアの位置：▲▼◀▶を押す
 - AF エリアの大きさ：コントロールダイヤルを回す
 - ・ [F] 選択時に、黄色の枠内の目に AF エリアを設定すると、ピントを合わせる目が変更されます。
 - ・ AF エリアの位置を元に戻すとき
→ [DISP] ボタンを押す
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す

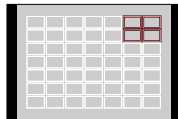
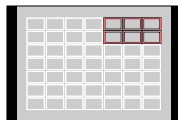
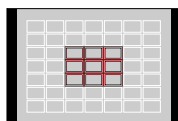


■ [9] 選択時

AF エリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49 点の AF エリアは 9 点（画面の端では 6 点または 4 点）ごとのグループに分けられています。

- ① [9] を選び、▼を押す
 - ・ AF エリア設定画面が表示されます。
- ② ▲▼◀▶ で AF エリアのグループを選択する
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ [+] 表示（選択したグループの中心点）のみが画面に残ります。
 - ・ [MENU/SET] ボタンを押すと AF エリア枠の設定が解除されます。

グループの例



自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

■ **[+]** 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。

- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

- ① **[+]** を選び、**▼** を押す
- ② **▲▼◀▶** でピントを合わせる位置を決め、**[MENU/SET]** ボタンを押す
 - ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が拡大表示されます。
- ③ **▲▼◀▶** で **[+]** を、ピントを合わせる位置に移動する
 - **[DISP]** ボタンを押すと、ピントを合わせる位置はアシスト画面の中央に戻ります。



アシスト画面の表示を変更する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → **[ピンポイント AF 表示]**

[全画面]：画面全体に拡大表示されます。



[PIP]：画面の一部に拡大表示されます。



- **[PIP]** のときは約 3 倍～6 倍、**[全画面]** のときは約 3 倍～10 倍に拡大 / 縮小できます。コントロールダイヤルで 1 倍ずつ拡大 / 縮小します。

画面が拡大表示される時間を設定する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → **[ピンポイント AF 時間]** →
[LONG] (約 1.5 秒) / **[MID]** (約 1.0 秒) / **[SHORT]** (約 0.5 秒)

- シャッターボタンを離すと時間内でも拡大表示は消えます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）



カーソルボタンで AF エリアを移動させる / させない

MENU ボタン → [カスタム] → [ダイレクトフォーカス移動] → [ON] / [OFF]

、、 選択時には AF エリアを、 のときは拡大位置を移動することができます。

- などの [カスタムマルチ] 選択時は、AF エリア設定画面を表示します。
- ドライブモード、ホワイトバランス、ISO 感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー（P.34）を使って設定してください。

- [測光モード]（P.139）が （スポット）のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。画面の端では、AF エリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。



こんなときは使えません

- 次の場合、[ダイレクトフォーカス移動] は [OFF] に固定されます。
 - 画像効果（フィルター）設定時
- デジタルズーム領域では、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

ピントの合わせ方をお好みに設定する

〔カスタム〕メニューを使うことで、ピントの合わせ方を詳細に設定できます。



シャッターボタン半押し時にピントを合わせる / 合わせない

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [シャッター半押し AF] → [ON] / [OFF]



シャッターボタン半押しでシャッターを切る / 切らない

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [シャッター半押しリリース] → [ON] / [OFF]



〔AF/AE〕ボタンでピントを合わせる

シャッターボタンの代わりに〔AF/AE〕ボタンでピントを合わせることができます。

1 [カスタム] メニューを設定する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [シャッター半押し AF] → [OFF]

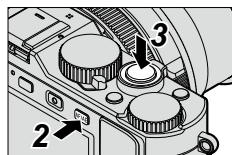
MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [AF/AE ロック切換] → [AF-ON]

2 [AF/AE] ボタンを押す

ピントを合わせます。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- ・露出を合わせて、写真を撮影します。



事前にピントを合わせる / 合わせない

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [クイック AF] → [ON] / [OFF]

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

- ピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてください。
- 次の場合、〔クイック AF〕は働きません。
 - ・プレビューモード時
 - ・低照度時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

 AF 補助光ランプを光らせる / 光らせない**MENU** ボタン →  **[カスタム]** → **[AF 補助光]** → **[ON]** / **[OFF]**

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きな AF エリアが表示されます）

- AF 補助光ランプの有効距離は 1.5m です。
- AF 補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所で AF 補助光ランプを光らせたくない場合は、**[OFF]** に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 次の場合、**[OFF]** に固定されます。
 - ・ **[サイレントモード]** を **[ON]** に設定時

 ピントが合わなくても撮影する / しない**MENU** ボタン →  **[カスタム]** → **[フォーカス / リリース優先]**

[フォーカス]：ピントが合うまで撮影できません。

[リリース]：シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると撮影されます。

- **[リリース]** に設定すると、フォーカスモードを **[AFS]**、**[AFF]** または **[AFC]** に設定していても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影時は動きません。

 AF 後に手動でピントを調整する / しない**MENU** ボタン →  **[カスタム]** → **[AF + MF]** → **[ON]** / **[OFF]**

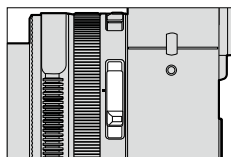
AF ロックしている間（**[AFS/AFF/AFC]** を **[AFS]** に設定時のシャッターボタン半押し、または **[AF/AE]** ボタンでの AF ロック）に手動でピントを微調整することができます。

近づいて撮る

撮影モード：**A P A S M**

被写体を大きく撮影したいとき、**[AFマクロ]**（AF マクロ）にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて（W 端なら 3cm まで）撮影できます。

1 フォーカス切換スイッチを [AFマクロ] に切り換える



近くまでピント
が合います
（オートフォーカ
スが働きます）



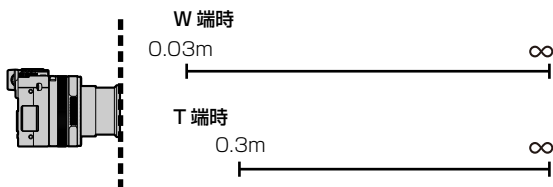
指標に合わせる

ピントの合う範囲

被写体に近づきすぎると、ピントが合いません。

最短撮影距離

最短撮影距離は、レンズ前から被写体までの距離です。ズームの位置により段階的に変化します。



フォーカス切換スイッチを
[AFマクロ]（AF マクロ）に設定時

フォーカス 切換スイッチ	ズーム	
	W 端時	T 端時
[AF]	50cm	50cm
[AFマクロ]（AF マクロ）	3cm	30cm
[MF]（P.128）	3cm	30cm

ピントが合う範囲



- ピントの合う範囲は、ズーム操作をしたときなどに表示されます。

近づいて撮る

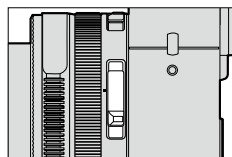
- スナップショットモードでは、フォーカス切換スイッチの設定にかかわらず、最短撮影距離が [AF ] と同じになります。
- 被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに多少時間がかかります。
- 三脚や [セルフタイマー] の使用をお勧めします。また、近距離で撮影するときは、フラッシュを使用しないことをお勧めします。
- 被写体が近い場合、くっきりと写る範囲が狭くなるため、ピントを合わせたあとにカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
- 画像周辺の解像度が少し下がる場合があります。

手でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

撮影モード：[A] [P] [A S M]

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

1 フォกัส切換スイッチを [MF] に切り換える



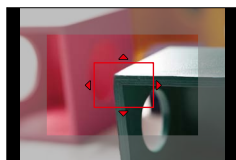
手でピントを合わせます

指標に合わせる

2 [MF] ボタン（◀）を押す

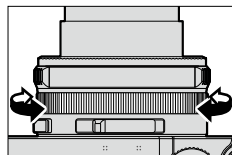
3 ▲▼◀▶ で拡大表示する部分を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。（MF アシスト）（P.131）
- [DISP] ボタンを押すと、拡大表示する部分は中央に戻ります。



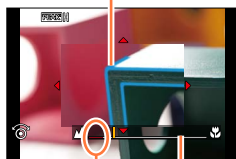
4 コントロールリングを回してピントを調整する

時計回りに回す：近くにピントを合わせる
反時計回りに回す：遠くにピントを合わせる



MF アシスト（拡大画面）
ピーキング

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）（P.130）
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。（MF ガイド）（P.129）



∞（無限）を MF ガイド
示す目安

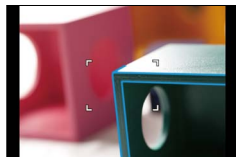
- ズーム操作後は、ピントを合わせ直してください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

Ⓕ MF ガイドを表示する / しない**MENU** ボタン → **Ⓕ** [カスタム] → [MF ガイド] → [ON] / [OFF]**Ⓕ オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる****MENU** ボタン → **Ⓕ** [カスタム] → [AF/AE ロック切換] → [AF-ON]

マニュアルフォーカス時に [AF/AE] ボタンを押すとオートフォーカスが働きます。

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- MF アシスト画面でオートフォーカスを動かせると、MF アシスト画面の中央でピントを合わせます。



手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）



ピントが合っている部分に色を付けて表示する / しない

MENU ボタン → **Fc** [カスタム] → [ピーキング]

- マニュアルフォーカス時や [AF + MF] で手動でピント合わせをしているときに働きます。

[ON]	ピントが合っている部分に色を付けて表示します。														
[OFF]	ピントが合っている部分を表示しません。														
[設定]	[検出レベル]	ピントが合っている部分の検出レベルを設定します。 [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。 設定：[高] / [低] ・ ピントが合う範囲は検出レベルの設定では変わりません。													
	[表示色]	ピーキング表示の色を設定します。 設定 [検出レベル] の設定により、設定できる色が異なります。 [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。 <table><tr><td>[検出レベル]</td><td>[高]</td><td>↔</td><td>[低]</td></tr><tr><td rowspan="3">[表示色]</td><td> (水色)</td><td>↔</td><td> (青)</td></tr><tr><td> (黄色)</td><td>↔</td><td> (オレンジ)</td></tr><tr><td> (緑)</td><td>↔</td><td> (白)</td></tr></table>	[検出レベル]	[高]	↔	[低]	[表示色]	 (水色)	↔	 (青)	 (黄色)	↔	 (オレンジ)	 (緑)	↔
[検出レベル]	[高]	↔	[低]												
[表示色]	 (水色)	↔	 (青)												
	 (黄色)	↔	 (オレンジ)												
	 (緑)	↔	 (白)												

- [ピーキング] を [ON] に設定すると、画面に [PEAK H] (検出レベル：高) または [PEAK L] (検出レベル：低) が表示されます。
- [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定] (P.37) で [ピーキング] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ON] (検出レベル：低) → [ON] (検出レベル：高) → [OFF] の順に切り換わります。
- 画面上で輪郭がはっきりした部分をピントが合っている部分として色を付けて表示するため、撮影条件により表示のされかたが異なります。
- 表示される色は撮影画像に影響はありません。



こんなときは使えません

- 次の場合、ピーキングは動きません。
 - ・ 画像効果（フィルター）設定時（[ラフモノクローム]）

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MF アシスト

■MF アシストを表示する

- コントロールリングを回すと表示されます。
- ◀を押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて [MENU/SET] ボタンを押しても表示できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
 - 拡大位置の設定画面で [DISP] ボタンを押したとき
- [カスタム] メニューの [ダイレクトフォーカス移動] が [ON] のときは、カーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面になります。

■MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET] ボタンを押しても終了します。
- コントロールリングを回して表示した場合は、操作をやめると約 10 秒後に終了します。



こんなときは使えません

- デジタルズーム領域または動画撮影中は MF アシストは表示されません。



MF アシストの表示方法を設定する

MENU ボタン → **f** [カスタム] → [MF アシスト]

[]	コントロールリングを回す、または [] ボタン (◀) を押して拡大。
[] FOCUS]	コントロールリングを回して拡大。
[]	[] ボタン (◀) を押して拡大。
[OFF]	コントロールリングまたは [] ボタン (◀) では拡大表示しません。

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MF アシストの表示を変更する

MENU ボタン →  [カスタム] → [MF アシスト表示]

[全画面]：画面全体に拡大表示されます。



[PIP]：画面の一部に拡大表示されます。



- [PIP] のときは約 3 倍～6 倍、[全画面] のときは約 3 倍～10 倍に拡大 / 縮小できます。コントロールダイヤルで 1 倍ずつ拡大 / 縮小します。

ピントや露出を固定して撮る

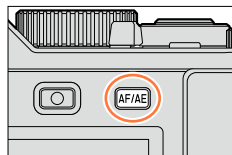
撮影モード： **A P A S M**

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合（AE ロック）や、被写体が AF エリアから外れた構図で撮りたい場合（AF ロック）などに便利です。

1 被写体にカメラを向ける

2 [AF/AE] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- [AF/AE] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。



3 [AF/AE] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK] 設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AEL：
露出を固定中（AE ロック）



[AF/AE] ボタンの機能を設定する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [AF/AE ロック切換]

[AE LOCK]	露出だけを固定します。 • 露出が合うと、[AEL] および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 • ピントが合うと、[AFL] およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 • ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF-ON]	オートフォーカスが作動します。

[AF/AE] ボタンを離してもロックを維持する / しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [AF/AE ロック維持] → [ON] / [OFF]

ピントや露出を固定して撮る

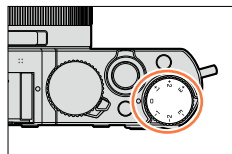
- マニュアル露出モード時は AF ロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は AE ロックのみ有効です。
- 動画撮影中は AF ロックのみ有効です。撮影中に AF ロックを解除すると、新たにロック操作はできません。
- AE ロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。
- ロック後にズーム操作を行った場合は、ロックが解除されますので、ロックし直してください。

露出を補正して撮る

撮影モード：[A] [P] [A] [S] [M]

逆光時や、暗すぎる / 明るすぎる場合に露出を補正します。

1 露出補正ダイヤルを回して補正值を選ぶ



• 露出補正值は - 3EV ~ + 3EV の範囲で設定可能です。

- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- [撮影] メニューの [フラッシュ設定] の [露出補正連動] を [ON] に設定時は、露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。(P.184)

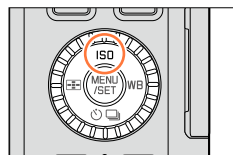
ISO 感度を設定する

撮影モード：**A P A S M**

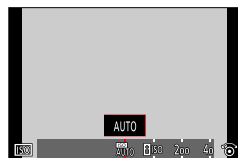
ISO 感度（光に対する感度）を自分で設定します。

暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

1 【ISO】 ボタン（▲）を押す



2 コントロールダイヤルを回して ISO 感度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200 * ¹ までの範囲で自動設定します。
ISO (インテリジェント ISO)	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200 * ¹ までの範囲で自動設定します。
100 * ² /200/400/800/ 1600/3200/6400/ 12500/25000	それぞれの ISO 感度に固定します。 • 【ISO 感度ステップ】を [1/3EV] に設定しているときは、設定できる ISO 感度の項目が増えます。(P.138)

*¹ 【撮影】メニューの【ISO 感度上限設定】(P.137)を【OFF】以外に設定しているときは、【ISO 感度上限設定】の設定値までの範囲で自動的に設定します。

*² 【拡張 ISO 感度】が【ON】の場合のみ



設定の目安

ISO 感度	200	↔	25000
適した撮影場所	明るい（屋外）		暗い
シャッタースピード	遅くなる		速くなる
ノイズ	減る		増える
被写体ブレ	多い		少ない

ISO 感度を設定する

- 画像効果（フィルター）の [ハイダイナミック] 設定時、[ISO 感度] は [AUTO] に固定されます。
- [ハイダイナミック] 以外の画像効果（フィルター）設定時および [多重露出] 設定時は、[3200] までの設定になります。
- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、178 ページをお読みください。
- シャッター優先モード時およびマニュアル露出モード時、[ISO] は選択できません。
- [ダイレクトフォーカス移動]（P.123）が [ON] に設定されているときは、カーソルボタンでの操作が AF エリアの移動に変わりますので、クイックメニュー（P.34）を使って設定してください。
- 動画撮影する場合は下記の設定項目になります。
[AUTO]、[200] ～ [6400]

ISO 感度の上限を設定する

撮影モード： **A** **P** **A** **S** **M**

[ISO 感度] の設定が [AUTO] または [ISO] のときの ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [ISO 感度上限設定]

設定：[400] / [800] / [1600] / [3200] / [6400] / [12500] /
[25000] / [OFF]



こんなときは使えません

- 動画撮影時は働きません。

ISO 感度を設定する

ISO 感度のステップ幅を設定する

撮影モード：A P A S M

ISO 感度を 1EV ごとに設定するか、1/3EV ごとに設定するかを変更します。

MENU ボタン →  [撮影] → [ISO 感度ステップ]

[1/3EV]	[L.100]* / [L.125]* / [L.160]* / [200] / [250] / [320] / [400] / [500] / [640] / [800] / [1000] / [1250] / [1600] / [2000] / [2500] / [3200] / [4000] / [5000] / [6400] / [8000] / [10000] / [12500] / [16000] / [20000] / [25000]
[1EV]	[L.100]* / [200] / [400] / [800] / [1600] / [3200] / [6400] / [12500] / [25000]

* [拡張 ISO 感度] が [ON] の場合のみ

- [1/3EV] から [1EV] に設定を変更した場合、[ISO 感度] の設定が変更される場合があります。（[1EV] で設定できる近い ISO 感度が設定されます）

ISO 感度を拡張する

撮影モード：A P A S M

設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [拡張 ISO 感度]

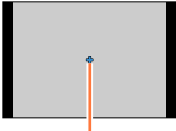
設定：[ON] / [OFF]

測光モードを設定する

撮影モード： **A P A S M**

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【測光モード】**

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
 マルチ測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
 中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
 スポット	[+] (スポット測光ターゲット) の中心  スポット測光ターゲット	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

- **【撮影】** メニューと **【動画】** メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

シャッター方式を設定する

撮影モード： **A P A S M**

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	60 秒～1/4000 秒	1 秒*1～1/16000 秒
シャッター音	メカシャッター音*2+ 電子シャッター音*3	電子シャッター音*3

*1 ISO 感度 [ISO3200] まで。[ISO3200] より高いときは、1 秒より速くなります。

*2 メカシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

*3 [シャッター音音量] で、電子シャッター音の設定ができます。(P.43)

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [シャッター方式]

AUTO	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 ・フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

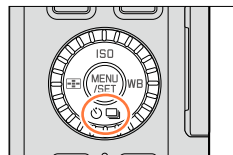
- 画面に が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- [連写速度] を [SH] に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- [サイレントモード] を [ON] に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯や LED などの照明下では、横しみが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。(P.84)
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

ドライブモードを選ぶ

撮影モード：**A P A S M**

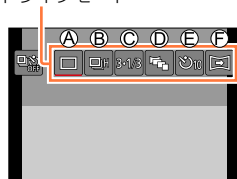
シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 ボタン (▼) を押す



2 ◀▶ でドライブモードを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

ドライブモード



① 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
② 連写 (P.142)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
③ オートブラケット* (P.145)	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
④ アスペクト ブラケット* (P.147)	シャッターボタンを押すと、4種類の画像横縦比の写真を自動的に4枚撮影します。
⑤ セルフタイマー (P.148)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
⑥ パノラマ* (P.150)	シャッターボタン押し、本機を左右または上下に動かしている間に連続撮影をして、1枚のパノラマ写真に合成します。

*スナップショットモードでは設定できません。

- ドライブモードを解除する場合は、 (単写) または  (オフ) を選んでください。単写に切り換わります。
- ▲を押すと、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。ただし、単写およびアスペクトブラケットの設定は変更できません。

連写する

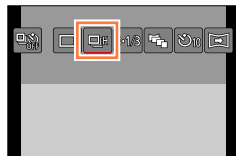
撮影モード：[A] [P] [A S M]

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

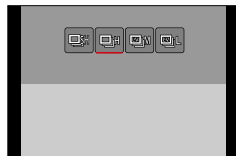
- 連写速度を [SH] で撮影した画像は、ひとつの連写グループ (P.198) として記録されます。

1 [ON/OFF] ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ で連写アイコン ([LH] など) を選び、▲を押す



3 ◀▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



		[SH] (超高速)*1	[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	AFS	40 コマ / 秒	11 コマ / 秒	7 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	—	6.5 コマ / 秒	6.5 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
最大記録 枚数*2	RAW ファイルあり	—	20 枚*3	20 枚*3	20 枚*3
	RAW ファイルなし	60 枚	カードの空き容量に依存*3		

*1 電子シャッターが働きます。

*2 連写できる最大記録枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

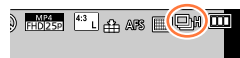
*3 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、次の設定によって低下することがあります。
 - [記録画素数] (P.108) / [クオリティ] (P.109) / ISO 感度 (P.136) / フォーカスモード (P.114) / [フォーカス/リリース優先] (P.125)
- 連写速度は、[撮影] メニューの [連写速度] でも設定できます。
- RAW ファイルについては、109 ページをお読みください。

連写する

4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■連写を解除するとき

手順 **2** で [□] (単写) または [ Off] を選ぶ。



連写とピントについて

ピント合わせは、フォーカスモード (P.114) と [カスタム] メニューの [フォーカス/リリース優先] (P.125) の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 枚目
	リリース	
AFF/AFC ※1	フォーカス	常時ピント※2
	リリース	予測ピント※3
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を [SH] に設定時は、ピントは 1 コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

- [H] 設定時、連写枚数が多くなると途中で連写速度が低下することがあります。
- [SH] または [H]（フォーカスモードが [AFS] または [MF] の場合）設定時、1 枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[H]（フォーカスモードが [AFF] または [AFC] の場合）、[M] または [L] 設定時、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度（コマ / 秒）が遅くなる場合があります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**

こんなときは使えません

- 次の場合、連写は無効になります。
 - ・ 画像効果（フィルター）設定時（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ ホワイトバランスブラケット設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）
 - ・ 動画撮影時
 - ・ [4K フォト] を [ON] に設定時
 - ・ フラッシュ撮影時
 - ・ T（タイム）撮影時
 - ・ [i 手持ち夜景] 撮影時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
- 次の場合、連写の [SH] は使えません。
 - ・ [クオリティ] を [RAW  - ・ [コマ撮りアニメ] 時

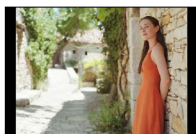
露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット)

撮影モード：**A P A S M**

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で 7 枚まで撮影します。

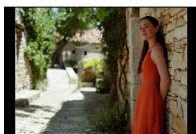
補正幅：[3・1/3]、ブラケット順序：[0/ー/+] 設定時の例

1 枚目



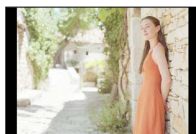
± 0 EV

2 枚目



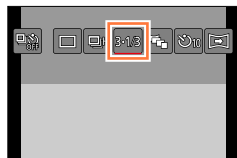
- 1/3 EV

3 枚目

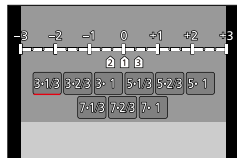


+ 1/3 EV

- 1 **[]** ボタン (**▼**) を押す
- 2 **◀▶** でオートブラケットアイコン ([3・1/3] など) を選び、**▲** を押す



- 3 **◀▶** で補正幅を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

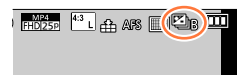


- 4 **ピントを合わせて撮影する**

- ・シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- ・設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- ・設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源を切った場合は、1 枚目からの撮影になります。

■オートブラケットを解除するとき

手順 **2** で **[]** (単写) または **[]** を選ぶ。



露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット）

■オートブラケットの単写 / 連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

①メニューを設定する

MENU ボタン →  【撮影】 → 【オートブラケット】②▲▼で [単写 / 連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

③▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

単写 / 連写設定		(単写)	補正幅	3・1/3 (3 枚撮影)	ブラケット順序	0/-/+
		(連写)		3・2/3 (3 枚撮影)		-/0/+
				3・1 (3 枚撮影)		
				5・1/3 (5 枚撮影)		
				5・2/3 (5 枚撮影)		
				5・1 (5 枚撮影)		
				7・1/3 (7 枚撮影)		
				7・2/3 (7 枚撮影)		
				7・1 (7 枚撮影)		

- ・[] 設定時は、1 枚ずつ撮影できます。
- ・[] 設定時は、設定枚数まで連続撮影できます。
- ・設定後はメニューを終了してください。

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

 こんなときは使えません

- 次の場合、オートブラケットは無効になります。
 - ・画像効果（フィルター）設定時（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ホワイトバランスブラケット設定時
 - ・動画撮影時
 - ・[4K フォト] を [ON] に設定時
 - ・フラッシュ撮影時
 - ・T（タイム）撮影時
 - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）
 - ・[フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時

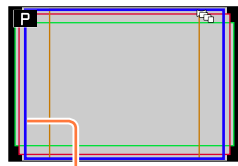
横縦比を自動的に変えて撮る (アスペクトブラケット)

撮影モード： **A P A S M**

1 回シャッターボタンを押すと、4 種類の画像横縦比 (4:3、3:2、16:9、1:1) の写真を自動的に 4 枚撮影します。(シャッター音は 1 回のみ)

1 **【☺】 ボタン (▼) を押す**

2 **◀▶ でアスペクトブラケットアイコン (【】) を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**



それぞれの横縦比で写る範囲が表示されます。

3 **ピントを合わせて撮影する**

■アスペクトブラケットを解除するとき

手順 **2** で **【□】** (単写) または **【off】** を選ぶ。

- [記録画素数] を [S] に設定時は、自動的に [M] に変わります。
- シャッタースピードや絞り値、ピント、露出補正、および [ホワイトバランス] [ISO 感度] の設定は、4 枚とも共通です。

こんなときは使えません

- 次の場合、アスペクトブラケットは無効になります。
 - 画像効果 (フィルター) 設定時 ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - 動画撮影時
 - [4K フォト] を [ON] に設定時
 - T (タイム) 撮影時
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時

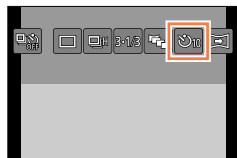
セルフタイマーで撮る

撮影モード：[A] [P] [A S M]

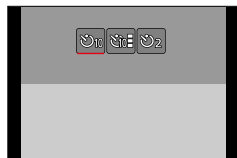
三脚の使用をお勧めします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

1 [📷] ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ でセルフタイマーアイコン ([📷₁₀] など) を選び、▲ を押す



3 ◀▶ でセルフタイマーの動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

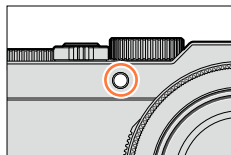
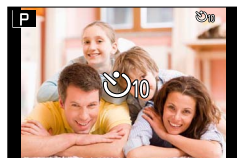


📷 ₁₀	10 秒後に撮影します。
📷 ₁₀ 📷	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
📷 ₂	2 秒後に撮影します。

- セルフタイマーの時間は、[撮影] メニューの [セルフタイマー] でも設定できます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



■セルフタイマーを解除するとき

手順 **2** で [📷] (単写) または [📷_{OFF}] を選ぶ。

- 電源スイッチを [OFF] にしても解除されます。([セルフタイマー自動解除] (P.50) を [ON] に設定時)

セルフタイマーで撮る

- [心:] 設定時、フラッシュ撮影する場合、発光量は一定にならないことがあります。

 こんなときは使えません

- 次の場合は、[心:] に設定できません。
 - ・ ホワイトバランスブラケット設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ T (タイム) 撮影時
- 次の場合、セルフタイマーは無効になります。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ [4K フォト] を [ON] に設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

パノラマ写真を撮る

撮影モード：A P A S M

撮影したい方向にカメラを動かし、その間に連写した写真を自動的につなぐことで、簡単にパノラマ写真を撮影できます。

- 1 [📷] ボタン (▼) を押す
- 2 ◀▶ でパノラマアイコン ([📷]) などを選び、▲ を押す
- 3 ◀▶ で撮影方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	左→右	水平のガイドラインが表示されます。
	右→左	
	下→上	垂直のガイドラインが表示されます。
	上→下	

・撮影方向は、[撮影] メニューの [パノラマ撮影方向] でも設定できます。



画像効果 (フィルター) を加えるには

- ① [F] ボタンを押して、画像効果を選ぶ (P.89)

④ 撮影方向

⑤ 画像効果

([効果なし (No Effect)] を選択時は表示されません)

⑥ 画像効果の調整

(画像効果設定時のみ表示されます)

- ・コントロールリングを回しても、画像効果を設定できません。
- ・[トイフォット]、[トイポップ]、[ジオラマ]、[サンシャイン] は設定できません。
- ・パノラマ撮影中、次の画像効果は画面に反映されません。
 - [ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター]

- ② [MENU/SET] ボタンを押す



4 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

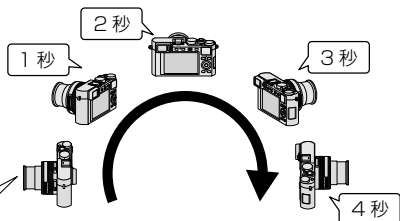
5 シャッターボタンを全押しし、撮影方向へ小さな円を描くようにカメラを動かして撮影する

左から右に撮影する場合



撮影の方向と進み具合 (目安)

- 一定の速さでカメラを動かしてください。
- 速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。



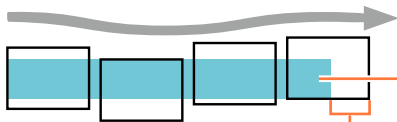
6 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても、撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。



撮影のコツ

- 揺れないように、撮影方向へカメラを動かす。



揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く (小さく) なります。

撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。(最後の 1 コマは端まで記録されません)

再生について

パノラマモードで撮影した写真は、他の写真と同じようにズームレバーで拡大表示できます。また、動画のように再生操作を行うと、自動でスクロール表示されます。(P.70)

- 動画再生と異なり、自動スクロール中は早戻し / 早送りすることはできません。(自動スクロール一時停止中はコマ戻し / コマ送りできます)

パノラマ写真を撮る

■パノラマを解除するとき

手順 **2** で  (単写) または  を選ぶ。

- ズーム位置は W 端に固定されます。
-  (通常) での手ブレ補正は使えません。
- パノラマ撮影時、絞り値およびシャッタースピードはカメラが自動制御するため、絞りリングやシャッタースピードダイヤルの設定には従いません。
- ピント、ホワイトバランス、露出は、最初の 1 枚目の画像に最適な値に固定されます。このために、撮影の途中の画像でピント位置や明るさが極端に異なる場合、パノラマ写真全体で様なピントや明るさに撮影されない場合があります。
- 画像効果 (フィルター) 設定時、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。
- 複数画像を合成してパノラマ写真を作成するため、被写体がゆがんだり、つなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の横縦の画素数は、撮影方向や合成した画像の枚数により変化します。記録される最大の画素数は以下のとおりです。

撮影する方向	横	縦
水平	8176 画素	1920 画素
垂直	2560 画素	7680 画素

- [シャッター方式] は [AUTO] に固定されます。

こんなときは使えません

- 次の場合は、パノラマ撮影ができません。
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - T (タイム) 撮影時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時
 - サイレントモード設定時
 - [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
 - [4K フォト] を [ON] に設定時
- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
 - 単調な色や模様が続く被写体 (空や砂浜など)
 - 動いている被写体 (人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
 - 短時間で色や模様が変化する被写体 (ディスプレイに映った画像など)
 - 暗い場所
 - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

一定の間隔で自動的に撮影する (インターバル撮影)

撮影モード: **[A] [P] [A] [S] [M]**

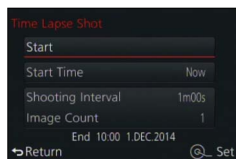
撮影開始時刻や撮影間隔などをあらかじめ設定しておく、自動的に写真を撮影します。動植物の経過観察や風景などの定点撮影に便利です。ひとつのグループ画像 (P.198) として記録されます。[再生] メニューの [インターバル動画作成] を使うと動画を作成することができます。 (P.212)

- あらかじめ時計設定をしておいてください。 (P.29)

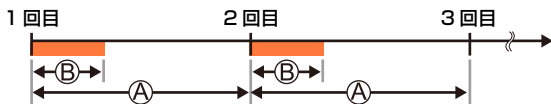
1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [インターバル撮影]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	撮影を開始する時刻を設定できます。最大 23 時間 59 分後まで設定可能です。 ◀▶で項目(時・分)を選び、▲▼で開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。	
	◀▶: 項目(分・秒・枚)選択 ▲▼: 設定 [MENU/SET] ボタン: 決定	• 撮影間隔は 1 秒～99 分 59 秒を 1 秒間隔で設定できます。 • 撮影枚数は 1 枚～9999 枚で設定できます。 • 撮影間隔 (A) は、露光時間 (シャッタースピード) (B) よりも長くなるように設定してください。(下図) 夜間の撮影など、撮影間隔 (A) が露光時間 (シャッタースピード) (B) より短くなる場合は、撮影をスキップすることがあります。



3 ▲▼で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

4 シャッターボタンを全押しする

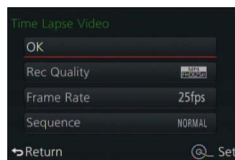
- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 電源が入った状態で [Fn2] ボタンを押すと、一時停止または終了の選択画面になります。画面に従って操作してください。また、一時停止中に [Fn2] ボタンを押すと、再開または終了の選択画面になります。一時停止状態からの再開は、シャッターボタンの全押しでも行えます。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい] を選んでください。

5 動画の作成方法を選ぶ

画質設定	動画の画質を設定します。 • カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合： [4K/30p] / [4K/24p] / [FHD/60p] / [FHD/30p] / [HD/30p] / [VGA/30p] • カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合： [4K/25p] / [4K/24p] / [FHD/50p] / [FHD/25p] / [HD/25p] / [VGA/25p]
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。 • カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合： [60fps]*1/ [30fps] / [15fps] / [10fps] / [7.5fps] / [6fps] / [3fps] / [1fps] • カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合： [50fps]*2/ [25fps] / [12.5fps] / [8.3fps] / [6.25fps] / [5fps] / [2.5fps] / [1fps] *1 [FHD/60p] 設定時のみ *2 [FHD/50p] 設定時のみ • [4K/24p] 設定時は、[24fps] / [12fps] / [8fps] / [6fps] / [4.8fps] / [2.4fps] / [1fps] からコマ数を設定できます。
動画化順番	[撮影順]：撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

6 ▲▼で[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- [再生] メニューの [インターバル動画作成] から動画化できます。(P.212)



一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

- システム用途（監視カメラ）の機能ではありません。
- 本機を放置してインターバル撮影を行う際は、盗難にお気をつけください。
- 寒冷地や低温下または高温・多湿な環境での長時間撮影は、故障の原因となることがありますので、お気をつけください。
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- 次の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - ・ バッテリー残量がなくなったとき
 - ・ 電源スイッチを [OFF] にしたとき
 設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源スイッチを [ON] にして再開することができます。（ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます）なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源スイッチを [OFF] にして行ってください。
- インターバル撮影時は AV ケーブル、HDMI マイクロケーブル、USB 接続ケーブル（付属）を接続しないでください。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されません。
- 記録時間が 29 分を超える動画、ファイルサイズが 4GB を超える動画は作成できません。
- 2 秒より短い動画は、動画記録時間（P.70）に “2s” と表示されます。
- 撮影された枚数が 1 枚の場合は、グループ画像として記録されません。

こんなときは使えません

- 次の場合、[インターバル撮影] は使えません。
 - ・ パノラマ撮影時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時
 - ・ [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時

ストップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)

撮影モード：**A P A S M**

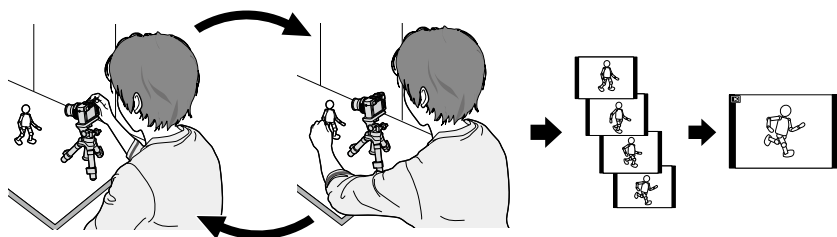
写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- ・あらかじめ時計設定をしておいてください。(P.29)
- ・コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P.198)



コマ撮りアニメを作成する前に

コマ撮りアニメでは、人形などを少しずつ動かすごとに撮影し、つなぎ合わせることでまるで動いているかのような動画が作れます。



- カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合
本機では、動画 1 秒当たり 1 コマ～ 60 コマの写真を撮影する必要があります。
- カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合
本機では、動画 1 秒当たり 1 コマ～ 50 コマの写真を撮影する必要があります。
- 滑らかな動きにするには、できるだけ動きを細かく撮り、動画化の際に 1 秒当たりのコマ数（フレームレート）を大きく設定してください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **【撮影】** → **【コマ撮りアニメ】**

ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

2 ▲▼で撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。
	OFF	1 コマずつ手で写真を撮影します。
撮影間隔	（〔自動撮影〕を〔ON〕に設定時のみ） 自動撮影の間隔を設定します。1 秒から 60 秒までを 1 秒間隔で設定できます。 ◀▶で撮影間隔（秒）を選び、▲▼で設定し、[MENU/SET] ボタンを押す	

3 ▲▼で〔開始〕を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲▼で〔新しく撮る〕を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 シャッターボタンを全押しする

- 最大 9999 コマまで撮影できます。

6 被写体を動かし、構図を決める

- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。



素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 再生ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は [⏮/⏭] ボタンを押して消去することができます。もう一度再生ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

7 撮影を終了するには、[MENU/SET] ボタンを押したあと、[撮影] メニューから [コマ撮りアニメ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

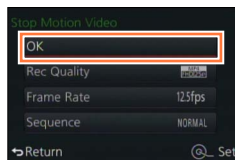
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと終了します。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい] を選んでください。

8 動画の作成方法を選ぶ

画質設定	動画の画質を設定します。 • カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合： [4K/30p] / [4K/24p] / [FHD/60p] / [FHD/30p] / [HD/30p] / [VGA/30p] • カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合： [4K/25p] / [4K/24p] / [FHD/50p] / [FHD/25p] / [HD/25p] / [VGA/25p]
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいく程滑らかな動画になります。 • カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合： [60fps]*1/ [30fps] / [15fps] / [10fps] / [7.5fps] / [6fps] / [3fps] / [1fps] • カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合： [50fps]*2/ [25fps] / [12.5fps] / [8.3fps] / [6.25fps] / [5fps] / [2.5fps] / [1fps] *1 [FHD/60p] 設定時のみ *2 [FHD/50p] 設定時のみ • [4K/24p] 設定時は、[24fps] / [12fps] / [8fps] / [6fps] / [4.8fps] / [2.4fps] / [1fps] からコマ数を設定できます。
動画化順番	[撮影順]：撮影した順番で画像をつなぎます。 [逆順]：撮影したのとは逆の順番で画像をつなぎます。

9 ▲▼で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- [再生] メニューの [コマ撮りアニメ作成] から動画化できます。(P.212)



■撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順 4 で [続きから撮る] を選ぶと、[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、確認画面で [はい] を選んでください。

ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

- フラッシュ撮影時など、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の画像が粗くなります。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- 記録時間が 29 分を超える動画、ファイルサイズが 4GB を超える動画は作成できません。
- 2 秒より短い動画は、動画記録時間（P.70）に“2s”と表示されます。
- 1 枚だけ撮影された場合は、グループ画像として記録されません。1 枚だけ撮影された画像を「続きから撮る」で選ぶことはできません。

 こんなときは使えません

- 次の場合、[コマ撮りアニメ] は使えません。
 - ・ パノラマ撮影時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時

1 枚の写真に複数回の露出をする (多重露出)

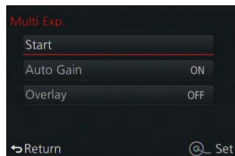
撮影モード： **A P A S M**

1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。

1 メニューを設定する

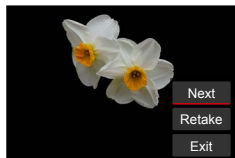
MENU ボタン →  **[撮影]** → **[多重露出]**

2 ▲▼ で **[開始]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す



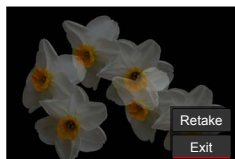
3 構図を決めて、1 枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲▼ で項目を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押すと次の操作が可能です。
 - **[次の撮影]**：次の撮影に進む
 - **[撮り直し]**：直前の撮影結果を破棄し、撮り直します。
 - **[完了]**：多重露出を終了し、撮影した画像を記録します。



4 2 枚目、3 枚目、4 枚目を撮影する

- 撮影時に **[Fn1]** ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。



5 ▼ で **[完了]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

1 枚の写真に複数回の露出をする（多重露出）

■自動ゲイン補正設定について

160 ページの手順 **2** の画面で [自動ゲイン補正] を選んで設定してください。

- [ON] : 撮影枚数に応じて、明るさを自動調整して合成します。
- [OFF] : すべての露光結果をそのまま重ねて合成します。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。

■カード内の RAW 画像に重ね合わせる

160 ページの手順 **2** の画面で [再生画像と多重] を [ON] に設定してください。

[開始] 後に、カード内の画像が表示されます。RAW 画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 本機で撮影された RAW 画像にのみ [再生画像と多重] を行えます。

- 完了するまで、画像は記録されません。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中は、メニュー画面にグレーで表示される項目は設定できません。



こんなときは使えません

- 次の場合、[多重露出] は使えません。
 - 画像効果（フィルター）設定時
 - パノラマ撮影時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時

操作音と発光の禁止を一括で設定する（サイレントモード）

撮影モード：**A P A S M**

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [サイレントモード]

設定：[ON] / [OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。次の機能は固定されます。
 - [シャッター方式]：[電子シャッター]
 - [フラッシュモード]：[ - [AF 補助光]：[OFF]
 - [電子音音量]：[ - [シャッター音音量]：[

- [ON] に設定していても、次の機能は点灯 / 点滅します。
 - セルフタイマーランプ
 - Wi-Fi 接続ランプ
- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

個人認証機能を使って撮る（個人認証）

撮影モード：[A] [P] [A S M]

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [個人認証]

設定：[ON] / [OFF] / [登録]

お買い上げ時、[個人認証] は [OFF] に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に [ON] になります。

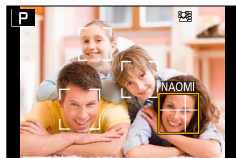
■個人認証機能の働き

撮影時

- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）

再生時

- 名前や月齢 / 年齢を表示（情報を登録している場合）
- 撮影時に認識した顔に設定された名前を表示（3人まで）
- 選んだ登録人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生]）



- [個人認証] は、オートフォーカスモードを [顔] に設定しているときのみ有効です。
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。
- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を [OFF] で撮影した画像は、[カテゴリー再生] の個人認証に分類されません。
- 個人認証情報を変更した場合でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は [カテゴリー再生] の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには [認証情報編集] の [入換え] (P.219) を行ってください。

個人認証機能を使って撮る（個人認証）

 こんなときは使えません

- 次の場合、[個人認証] を設定できません。
 - ・ パノラマ撮影時
 - ・ 画像効果（フィルター）設定時（[ジオラマ]）
 - ・ 動画撮影時
 - ・ インターバル撮影時

顔画像を登録する

最大 6 人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

- ・ 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- ・ 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

登録時の良い例



■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- ・ 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- ・ 撮影するその場で追加して登録する。
- ・ 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。

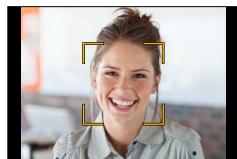
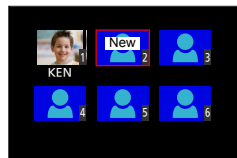
1 ▲▼で [登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼◀▶で [新規登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ すでに 6 人登録されているときは、まず、登録されている人物を解除してください。（P.165）

3 ガイドに顔を合わせて撮影する

- ・ 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- ・ 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ・ ▶を押すと、説明が表示されます。



個人認証機能を使って撮る（個人認証）

4 ▲▼で編集項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

名前	①▼で〔設定〕を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ②名前を入力する（文字入力方法：P.52）
月齢／年齢	誕生日を設定します。 ①▼で〔設定〕を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ②◀▶で年月日を選び、▲▼で設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
追加登録	顔画像は 3 枚まで登録できます。 ①◀▶で〔追加登録〕を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ・画像が 1 枚しか登録されていない場合は、カーソルボタンの操作は不要です。 [MENU/SET] ボタンのみ押して追加登録してください。 ・カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。 [はい] を選ぶと、顔画像が消去されます。（画像が 1 枚しか登録されていない場合は、解除できません） ②撮影する（164 ページの手順 3）

登録した人物の情報を編集 / 解除する

登録した人物の情報を修正したり、解除したりできます。

1 ▼で〔登録〕を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼◀▶で編集または解除する人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。（上記の手順 4）
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ①▲▼◀▶で登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。 ・確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する

撮影モード： **A P A S M**

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢 / 年齢を画像に記録することができます。

■名前、月齢 / 年齢を設定する

①メニューを設定する

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【プロフィール設定】**

設定：  ¹ (赤ちゃん 1) /  ² (赤ちゃん 2) /  (ペット) / [OFF] / [設定]

②▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

③▲▼で [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

④▲▼で [月齢 / 年齢] または [名前] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

⑤▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
誕生日：▲▼◀▶で誕生日を入力し、[MENU/SET] ボタンを押す

名前：(文字入力方法：P.52)

⑥▼で [終了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する



■月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには

手順 ① で [OFF] を設定してください。

こんなときは使えません

- 動画撮影中に記録した写真 ( (動画優先)) (P.195) には、月齢 / 年齢や名前は記録されません。

撮影に適した画面表示にする

白飛びのおそれがある部分を確認する（ゼブラパターン表示）

撮影モード： **A P A S M**

一定の輝度よりも明るい、白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。縞模様で表示する輝度（明るさ）を設定することもできます。

MENU ボタン → **ℳ** [カスタム] → [ゼブラパターン表示]

ゼブラ 1	右側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
ゼブラ 2	左側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
OFF	—	
設定	それぞれの模様での縞模様で表示する明るさを設定します。 [ゼブラ 1] / [ゼブラ 2] 1 ▲▼ で明るさを選び、[MENU/SET] ボタンを押す 選べる明るさの範囲は [50%] から [105%] までです。[ゼブラ 2] では、[OFF] に設定することができます。[100%] または [105%] を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広がります。	

撮影に適した画面表示にする

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム (P.64) を参考に、露出をマイナス方向に補正して (P.135) 撮影することをお勧めします。
- 表示される縞模様は記録されません。
- [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定] (P.37) に [ゼブラパターン表示] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ゼブラ 1] → [ゼブラ 2] → [OFF] の順に切り換わります。[ゼブラ 2] を [OFF] に設定時は、[ゼブラ 1] → [OFF] の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

撮影画面を白黒表示にする (モノクロライブビュー)

撮影モード： **A P A S M**

撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。

MENU ボタン → **/c** [カスタム] → [モノクロライブビュー]

設定： [ON] / [OFF]

- 撮影画像に影響はありません。

手ブレを補正する

- 三脚を使用するときは、[手ブレ補正] を [OFF] に設定することをお勧めします。
- [(👤📷)] での流し撮りは、ファインダー撮影をお勧めします。
- 次の場合、補正が効きにくくなることがあります。
 - ・ 手ブレが大きいとき
 - ・ ズーム倍率が高いとき（デジタルズーム領域を含む）
 - ・ 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
 - ・ 室内や薄暗い場所で撮る（シャッタースピードが遅い）とき
- 次の場合は、[(👤📷)] での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - ・ 夏の日中など、明るいところ
 - ・ シャッタースピードが 1/100 秒より速い場合
 - ・ 被写体の動きが遅く、本機を動かす速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
 - ・ 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

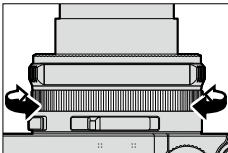
**こんなときは使えません**

- パノラマ撮影時、[(👤📷)]（通常）での手ブレ補正は使えません。

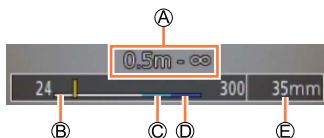
ズームを使って撮る

撮影モード：**A P A S M**

ズームを使って、写す範囲を調整できます。

ズームレバー	コントロールリング
① ズームレバーを回す 	① コントロールリング*を回す  *コントロールリングに割り当てる設定を「ズーム」にすると、ズーム操作ができます。(P.40)
T 側：望遠、大きく撮る W 側：広角、広く撮る	時計回りに回す：望遠、大きく撮る 反時計回りに回す：広角、広く撮る

プログラムモードで、光学ズーム、iA ズームおよびデジタルズームを併用したときの表示例



Ⓐ ピントが合う範囲

Ⓑ 光学ズームの範囲

Ⓒ iA ズームの範囲

Ⓓ デジタルズームの範囲

Ⓔ 現在のズーム位置 (35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離)

- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- 倍率、画面のバー表示は目安です。
- ズームレバーを操作すると、多少音が生じたり振動したりしますが、故障ではありません。

ズームを使って撮る

ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。



本書内、および下記の異なる設定で記載する倍率またはズーム倍率に関しては、それぞれの最短焦点距離 / 最大広角の設定を 1 倍とした場合の値です。

光学ズーム

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率：3.1 倍



こんなときは使えません

- 次の場合、光学ズームは使えません。
 - ・ パノラマ撮影時

EX 光学ズーム

[EX] 付きの記録画素数 (P.108) を選ぶと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。

最大倍率：6.2 倍 (光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります。)



こんなときは使えません

- 次の場合、EX 光学ズームは使えません。
 - ・ 画像効果 (フィルター) 設定時 ([トイフォト] [トイポップ])
 - ・ パノラマ撮影時
 - ・ [連写速度] を [SH] に設定時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ [i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - ・ [iHDR] を [ON] に設定時
 - ・ [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時
 - ・ 動画撮影時

ズームを使って撮る

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

iA ズーム

撮影モード：A P A S M

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iA ズーム] → [ON] / [OFF]

MENU ボタン →  [動画] → [iA ズーム] → [ON] / [OFF]



こんなときは使えません

- 次の場合、iA ズームは使えません。
 - 画像効果（フィルター）設定時（[インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ]）
 - パノラマ撮影時
 - [連写速度] を [SH] に設定時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - [i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - [iHDR] を [ON] に設定時
 - [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時

ズームを使って撮る

デジタルズーム

撮影モード： **A P A S M**

最大ズーム倍率がさらに 4 倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【デジタルズーム】** → **[ON] / [OFF]****MENU** ボタン →  **【動画】** → **【デジタルズーム】** → **[ON] / [OFF]**

- iA ズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が 2 倍までに制限されます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P.148) を使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AF エリアは中央で大きく表示されます。

 こんなときは使えません

- 次の場合、デジタルズームは使えません。
 - ・ 画像効果 (フィルター) 設定時 ([インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ])
 - ・ パノラマ撮影時
 - ・ [連写速度] を [SH] に設定時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時

ズームを使って撮る

ステップズーム

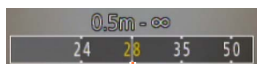
撮影モード：[A] [P] [A] [S] [M]

一般的な単焦点レンズの焦点距離（35 mm フィルムカメラ換算）の画角（写せる角度）をイメージしやすいように、ズームの動作を設定できます。

- スナップショットモード、プログラムモードおよび絞り優先モードで撮影している場合、コントロールリングはステップズームに設定されています。

コントロールリングに割り当てた設定を「ステップズーム」にすると、他のモードでもステップズームが使えるようになります。（P.40）

1 コントロールリングを回す



現在のズーム位置
（35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離）

■ズームレバーでステップズームを使う

「カスタム」メニューの「ズームレバー」を「ステップズーム」にすると、ステップズームが使えます。

- 焦点距離は目安です。



こんなときは使えません

- 次の場合、ステップズームは使えません。
 - ・ 動画撮影時

ズームを使って撮る

 ズーム動作の設定を変更する**MENU** ボタン →  [カスタム] → [ズームレバー]**MENU** ボタン →  [カスタム] → [コントロールリング]

Q (ズーム)	通常のズーム動作を行います。
Q (ステップズーム)	操作するたびに、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。

 電源を切ったときのズーム位置を記憶する**MENU** ボタン →  [カスタム] → [ズーム位置メモリー] → [ON] / [OFF]

付属のフラッシュを使って撮る

撮影モード：**A P A S M**

付属のフラッシュを取り付けたときは、本機に用意された発光モード（マニュアル設定など）がすべて使えます。（ただし、ワイヤレスフラッシュとしては使用できません。）
本項目では、付属のフラッシュを用いて説明をしています。

・付属のフラッシュ以外の外部フラッシュについては、261 ページをお読みください。
フラッシュを使うと、暗い場所で撮影したり、背景が明るいときに被写体を照らして全体のコントラストを調整することができます。

フラッシュを取り付ける

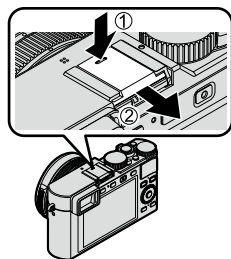
お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。
本体のホットシューからホットシューカバーを外し、フラッシュを取り付けてください。

ホットシューカバーを取り外す

・本機の電源スイッチが [OFF] であることを確認してください。

1 ホットシューカバーを矢印 ① の方向に押しながら、 矢印 ② の方向に引いて取り外す

- ・ご使用にならないときは、必ずホットシューカバーを取り付けてください。
- ・ホットシューカバーの紛失にお気をつけください。

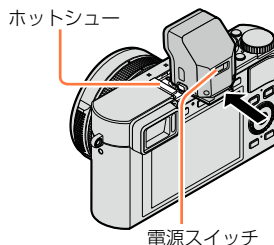


フラッシュを取り付ける

1 フラッシュの電源スイッチを [OFF] にする

2 本機のホットシューに、フラッシュを「カチッ」と音がするまで確実に奥まで差し込む

- ・撮影時、本機とフラッシュの電源スイッチを [ON] にしてください。

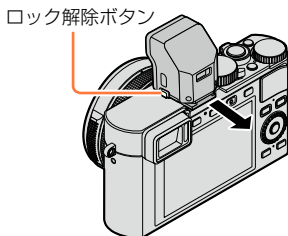


- 誤飲を防ぐため、ホットシューカバーを乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- フラッシュを本機に取り付けた状態で、フラッシュを持って持ち運びしないでください。

付属のフラッシュを使って撮る

■フラッシュを取り外す

- ① 本機とフラッシュの電源スイッチを [OFF] にする
- ② ロック解除ボタンを押しながら、フラッシュを矢印の方向に引いて取り外す
 - ・ 取り外す際は、ゆっくり丁寧に行ってください。
 - ・ ホットシューカバーを元の位置に取り付けておいてください。
 - ・ 取り外したフラッシュはソフトケースに収納してください。



発光禁止 ([ⓧ]) について

次の場合は、撮影画面に [ⓧ] (発光禁止) が表示され、フラッシュが発光しません。

- ・ フラッシュを取り付けていないとき
- ・ フラッシュを取り付けていても、フラッシュの電源スイッチを [OFF] にしているとき
- ・ 動画撮影時などフラッシュ撮影できないとき

■ISO 感度 [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲

ズームを使わずに、至近距離 (W 端付近) でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

W 端時	T 端時
約 60cm ～約 14.1m *	約 30cm ～約 8.5m *

* [ISO 感度上限設定] を [OFF] に設定時

付属のフラッシュを使って撮る



フラッシュを上手に使うには

フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。[カスタム]メニューの[ハイライト表示]を[ON]に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整] (P.184) をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。

- フラッシュ発光部を手で塞いだり、近くで見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。(熱や光で変形することがあります)
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 次の場合、フラッシュは [ⓧ] (発光禁止) に固定されます。
 - 動画撮影時
 - 画像効果 (フィルター) 設定時
 - パノラマ撮影時
 - 電子シャッター使用時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時

付属のフラッシュを使って撮る

発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）

撮影モード： **A P A S M**

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[フラッシュ設定]** → **[発光モード]**

2 ▲▼ で項目を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL] では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図通りの撮影ができます。

- [マニュアル] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比（[1/1] など）が表示されます。

■ 光量比を設定する（[マニュアル] 選択時）

① メニューを設定する

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[フラッシュ設定]** → **[マニュアル発光量設定]**

② ◀▶ で発光量を設定し、**[MENU/SET]** ボタンを押す

- ・ [1/1]（フル発光）～ [1/64] まで、1/3 段ごとに設定できます。

付属のフラッシュを使って撮る

フラッシュモードを切り換える

撮影モード：**A P A S M**

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **[撮影]** → **[フラッシュ設定]** → **[フラッシュモード]**

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

: 強制発光 : 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ・逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
: スローシンクロ : 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ・夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。
: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ・フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

※[発光モード] を[TTL] に設定時のみ設定できます。(P.180)

フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

- ・赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■赤目を補正する

撮影モード：**A P A S M**

フラッシュの赤目軽減([] [])で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[デジタル赤目補正]**

設定：**[ON]** / **[OFF]**

- [ON] に設定すると、アイコンが [] / [] に変わります。

こんなときは使えません

- 赤目の状態によっては、補正できない場合があります。

付属のフラッシュを使って撮る

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
	1/60 *1 ~ 1/4000 秒		1 ~ 1/16000 秒
			120 *2 ~ 1/16000 秒

*1 シャッター優先モード時は 60 秒、マニュアル露出モード時は T (タイム) となります。

*2 マニュアル露出モード時は T (タイム) となります。

- ・スナップショットモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

■撮影モード別フラッシュ設定 (フラッシュ装着時)

撮影モード					
A スナップショットモード	×*	×*	×*	×*	○
P プログラムモード	○	○	○	○	○
A 絞り優先モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先モード	○	○	×	×	○
M マニュアル露出モード	○	○	×	×	○

* [撮影] メニューによる設定はできません。被写体や明るさに応じて、、、、 になります。

- 撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。
- 設定したフラッシュ設定は電源を切っても記憶しています。

付属のフラッシュを使って撮る

後幕シンクロに設定する

撮影モード：A P A S M

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  【撮影】 → 【フラッシュ設定】 → 【フラッシュシンクロ】

2 ▲▼ で設定項目を選び、【MENU/SET】 ボタンを押す

さき早く 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
あとまく 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- 通常は【先幕】に設定してください。
- 【後幕】に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
- 【フラッシュシンクロ】の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.261)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- 【後幕】設定時は、、 に設定できません。

付属のフラッシュを使って撮る

フラッシュの発光量を調整する

撮影モード：A P A S M

フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュ光量調整]

2 ◀▶ でフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

設定：- 3EV ~ + 3EV (1/3EV 単位)

フラッシュ発光量を調整しない場合は、[± 0 EV] を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、フラッシュのアイコンに [＋] または [－] が表示されます。
- [フラッシュ光量調整] の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.261)

露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

撮影モード：A P A S M

露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [露出補正連動]

設定：[ON] / [OFF]

- 露出補正については、135 ページをお読みください。
- [露出補正連動] の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.261)

動画を撮る

MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画も撮影できます。(P.191)
音声はステレオで記録されます。

解像度とフレームレートを設定する

撮影モード：**[A]** **[P]** **[A S M]**

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン →  **[動画]** → **[画質設定]**

2 ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	サイズ	記録フレームレート	ビットレート
[4K/100M/30p]※1 [4K/100M/25p]※2	3840 × 2160	30p※1/25p※2	約 100Mbps
[4K/100M/24p]	3840 × 2160	24p	約 100Mbps
[FHD/28M/60p]※1 [FHD/28M/50p]※2	1920 × 1080	60p※1/50p※2	約 28Mbps
[FHD/20M/30p]※1 [FHD/20M/25p]※2	1920 × 1080	30p※1/25p※2	約 20Mbps
[HD/10M/30p]※1 [HD/10M/25p]※2	1280 × 720	30p※1/25p※2	約 10Mbps
[VGA/4M/30p]※1 [VGA/4M/25p]※2	640 × 480	30p※1/25p※2	約 4Mbps

※1 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

※2 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、数値が大きいほど高画質になります。本機は VBR 記録方式を採用しています。VBR とは Variable Bit Rate (可変ビットレート) の略で、撮影する被写体により、ビットレート (一定時間当たりのデータの量) が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

■撮影した動画の互換性について

[MP4] で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

[MP4] の [4K/100M/30p] または [4K/100M/24p] で記録した動画については 248 ページの「4K 動画を楽しむ」をお読みください。

- カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

[MP4] の [4K/100M/25p] または [4K/100M/24p] で記録した動画については 248 ページの「4K 動画を楽しむ」をお読みください。

■動画撮影時のピントの合わせ方 (AF 連続動作)

撮影モード：**A P A S M**

ピント合わせは、フォーカスモード (P.114) と [動画] メニューの [AF 連続動作] の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	動画撮影中も自動でピントを合わせ続けます。(P.114)
	OFF	動画撮影開始時のピント位置で固定します。
MF	ON/OFF	手でピントを合わせることができます。(P.128)

- フォーカスモードを [AFS]、[AFF]、[AFC] に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境によっては、動画撮影時にオートフォーカスが動くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、[動画] メニューの [AF 連続動作] を [OFF] に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

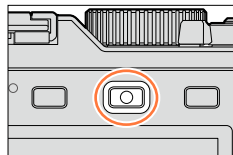
動画を撮る

撮影モード：**A P A S M**

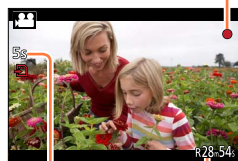
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して動画を撮影できます。(P.80)
スナップショットモード時は、カメラが自動的に絞り値やシャッタースピードを設定し、シーンを判別して動画を撮影します。(P.76)

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 約 1 分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP] ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付けを防ぐための動作です。故障ではありません。
- マイクを指で塞がないでください。
- 動画撮影中も、ズーム操作ができます。
 - ズームレバーやコントロールリングの操作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中に写真を撮ることができます。(P.195)



記録動作表示



記録経過時間

残り記録可能時間（目安）

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する



動画撮影時の絞り値とシャッタースピードについて

● 絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さく設定してください。

● シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときはシャッタースピードを遅く設定してください。
- 速いシャッタースピードに設定すると、感度が高くなるため、ノイズが増える場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、手動でシャッタースピードを1/60または1/100に調整してください。



撮影終了時の操作音について

動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- [再生] メニューの [動画分割] (P.211) で動画の終わりの部分を分割してください。最後のあたりでは分割できない場合があります。3秒ほど長めに撮影をしてください。

動画ボタンの有効 / 無効を設定する

MENU ボタン →  [カスタム] → [動画ボタン] → [ON] / [OFF]

- ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換える

MENU ボタン →  [カスタム] → [記録枠表示] →  (写真) /  (動画)

- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
[記録枠表示] を  に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 記録枠表示は目安です。

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 画像効果（フィルター）を [ジオラマ] に設定して、動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 動画撮影中、[ISO 感度上限設定] は動きません。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正] を （流し撮り）に設定していても、（通常）に固定されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。

こんなときは使えません

- 次の場合は、動画撮影できません。
 - ・ パノラマ撮影時
 - ・ 画像効果（フィルター）設定時（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ]* [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
* [画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合のみ
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時

4K 動画を撮る

撮影モード：**A P A S M**

〔画質設定〕のサイズを〔4K〕に設定することで、きめ細かい4K動画を撮影することができます。

- 4K動画を撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。(P.25)
- 4K動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。

■4K動画を撮影するには

- ①撮影モードを選ぶ (P.59)
- ②〔動画〕メニューの〔画質設定〕を〔4K/100M/30p〕^{*1}/〔4K/100M/25p〕^{*2}または〔4K/100M/24p〕に設定する (P.185)
- ③動画ボタンを押して、撮影を開始する
- ④もう一度動画ボタンを押して、終了する

^{*1} カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

^{*2} カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

4K 動画から高画質の写真を作成する（4K フォト）

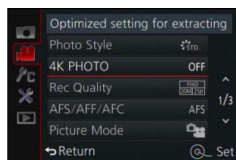
【4K フォト】を設定して撮影した 4K 動画から約 800 万画素の写真を作成することができます。高速連写での撮影と同様に、瞬間をとらえた写真を作ることができます。スナップショットモード時は設定できません。

4K 動画を撮る

- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。（P.25）

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **【動画】** → **【4K フォト】**

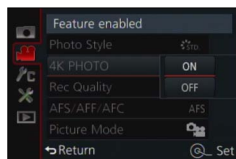


2 ▲▼で【ON】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

確認画面が表示されます。【はい】を選び、【MENU/SET】ボタンを押します。

- 4K 動画からの写真切り出しに適した動画モードになり、写真画質で動画を撮影できます。
- 4K 動画から切り出した写真のピントを優先するため、動画撮影時のフォーカスの動きが目立つ場合があります。

以下の項目はカメラが自動で設定します。

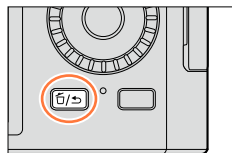


メニュー項目	メニュー設定内容
画質設定	[4K/100M/30p]*1 / [4K/100M/25p]*2

*1 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

*2 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

3 ボタンを押して、撮影画面を表示する

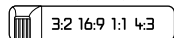
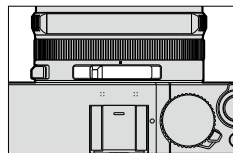


4 絞りリングとシャッタースピードダイヤルを回して、撮影モードを設定する

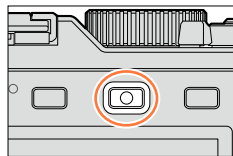
- 被写体ブレを抑えるために、シャッター優先モードにし、シャッタースピードは 1/1000 秒以上に設定することをお勧めします。動きの速い被写体を撮影する場合は、シャッタースピードを 1/2000 秒以上に設定してください。

5 アスペクト切換スイッチを操作して、動画の横縦比を設定する

- 4K 動画から切り出した写真は、動画と同じ横縦比になります。

**6 動画ボタンを押して、撮影を開始する**

- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。

**マーカーの設定**

- 撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、動画にマーカーが付きます。
- 動画から写真を作成する場合、写真を切り出したい場所へスキップできます。
- 1 つの動画に最大 40 個まで付けることができます。

7 もう一度動画ボタンを押して、終了する

- シャッターボタンでも動画撮影を開始 / 終了できます。

動画から写真を作成する

1 動画再生中に ▲ を押して一時停止にし、写真にしたい画像を表示する

- ◀▶ を押すと、コマ戻し / コマ送りができます。
- [Fn2] ボタンを押し、◀▶ を押すと動画撮影時に設定したマーカーにスキップできます。(再生中でも同様の操作ができます。)もう一度 [Fn2] ボタンを押すと、◀▶ でコマ戻し / コマ送りができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
 - 切り出した写真には [HDMI] が表示されます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに接続中に動画から写真を作成する場合は、[セットアップ] メニューの [テレビ接続設定] の [HDTV リンク] を [OFF] に設定してください。

動画撮影中に写真を撮影する

撮影モード：**A P A S M**

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。(同時記録)

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。



動画優先、写真優先を設定する

撮影モード：**A P A S M**

〔動画〕メニューの〔写真撮影〕で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

 (動画優先)	• 記録画素数 [S] (2M) で写真を記録します。通常の写真の [S] (2M) とは画質が異なる場合があります。 • クオリティを [RAW ]、[RAW ] または [RAW] に設定時は JPEG 画像のみ記録されます。([RAW] 設定時はクオリティは [] で記録されます) • 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大 30 枚までです。 • 画像効果 (フィルター) を [ジオラマ] に設定時は、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。
 (写真優先)	• 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 • 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声は途切れます。 • 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大 4 枚までです。

- 写真の画像縦横比は [16:9] に固定されます。

こんなときは使えません

- 次の場合、写真を記録できません。
 - [画質設定] を [4K/100M/30p]*1/ [4K/100M/25p]*2、[4K/100M/24p] または [VGA/4M/30p]*1/ [VGA/4M/25p]*2 に設定時

*1 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

*2 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

【動画】メニューを使う

【動画】メニューの設定方法は → 31 ページ

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF/AFC]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。
どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- 次の場合、[動画] メニューは表示されません。
 - パノラマ撮影時

【4K フォト】

- 詳しくは、192 ページをお読みください。

【画質設定】

- 詳しくは、185 ページをお読みください。

【写真撮影】

- 詳しくは、195 ページをお読みください。

【AF 連続動作】

- 詳しくは、186 ページをお読みください。

[動画] メニューを使う

[動画] メニューの設定方法は → 31 ページ

【マイクレベル表示】

撮影モード：A P A S M

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。

設定：[ON] / [OFF]



こんなときは使えません

- 画像効果（フィルター）を [ジオラマ] に設定時は使えません。

【マイクレベル設定】

撮影モード：A P A S M

音声入力レベルを 4 段階に調整します。



こんなときは使えません

- 画像効果（フィルター）を [ジオラマ] に設定時は使えません。

【風音低減】

撮影モード：A P A S M

音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

設定：[AUTO] / [強] / [中] / [弱] / [OFF]

- 風音低減を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。



こんなときは使えません

- 画像効果（フィルター）を [ジオラマ] に設定時は使えません。

グループ画像を見る

複数枚の画像を 1 つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1 枚ずつ再生します。

[▲📷]：連写速度を [SH] に設定して連続撮影したグループ画像 (P.142)

[▲📸]：インターバル撮影で撮影したグループ画像 (P.153)

[▲🎞️]：コマ撮りアニメで撮影したグループ画像 (P.156)



- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

グループ画像を連続再生する

1 グループ画像アイコン ([▲📷]、[▲📸]、[▲🎞️]) が付いた画像を選び、
▲を押す

- グループ画像を 1 枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[最初の画像から見る]：グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る]：再生中の画像から連続再生されます。

■連続再生中の操作

▲	連続再生 / 一時停止	▼	停止
◀	早戻し再生	▶	早送り再生
	前の画像に戻す (一時停止中)		次の画像へ送る (一時停止中)

グループ画像を見る

グループ画像を 1 枚ずつ再生する

1 グループ画像アイコン（[▲🖼️]、[▲📷]、[▲📱]）が付いた画像を選び、▼を押す

2 ◀▶を押して画像を送る

- もう一度 ▼を押すと、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。（マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など）



- 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。
- 他機で撮影した連写画像は、グループ画像として認識されない場合があります。

動画から写真を切り出す

動画のワンシーンを写真にして保存します。

- [4K フォト] を [ON] に設定して撮影した 4K 動画から写真を切り出す場合は、192 ページをお読みください。

1 動画再生中に ▲ を押して一時停止にし、写真にしたい画像を表示する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、コマ戻し / コマ送りができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 画像横縦比は [16:9] で、[クオリティ] は [■●■] で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。
 - [画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合：[M] (8M)
 - [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD] の動画の場合：[S] (2M)

- 元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
- 動画から作成された写真には、再生時に [■●■] が表示されます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに接続中に動画から写真を作成する場合は、[セットアップ] メニューの [テレビ接続設定] の [HDTV リンク] を [OFF] に設定してください。

こんなときは使えません

- 次の動画からは、写真を作成できません。
 - [MP4] の [VGA/4M/30p] *1 / [VGA/4M/25p] *2 で撮影された動画

*1 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

*2 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

[再生] メニューを使う

画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

- ・設定方法は、31 ページをお読みください。

【スライドショー】

写真や動画を順に自動再生します。テレビで見るときにお勧めです。

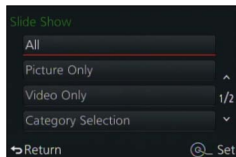
1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **【再生】** → **【スライドショー】**

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[カテゴリー選択] を選んだ場合は、▲▼◀▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。カテゴリーの詳細は 203 ページをお読みください。

3 ▲で【開始】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■スライドショー中の操作

▲	一時停止 / 再生	▼	終了
◀	前の画像へ	▶	次の画像へ
コントロールダイヤル (反時計回り)	音量を下げる	コントロールダイヤル (時計回り)	音量を上げる

[再生] メニューを使う

■ 音楽や表示時間などの設定を変更する場合

[効果] や [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

効果		おまかせ / ナチュラル / スロー / スウィング / アーバン / OFF
設定	再生間隔	1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 5 秒
	リピート	ON/OFF
	音設定	OFF：音楽も音声も再生しません。 AUTO：写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 音楽：効果の音楽を再生します。 音声：動画の音声を再生します。

- [アーバン] は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ] は、[カテゴリー選択] 選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ] または [カテゴリー選択] の 、、 のスライドショー時、[効果] は [OFF] に固定されます。
- グループ画像のスライドショー時は、[効果] を設定していても無効になります。
- パノラマ写真や動画、グループ画像が再生されるときは、[再生間隔] の設定が無効になります。
- [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ設定できます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに表示するときや、縦向きに撮影した画像を表示するとき、一部の [効果] が動作しません。
- 音楽効果を追加することはできません。

[再生] メニューを使う

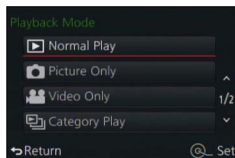
【再生モード】

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **【再生】** → **【再生モード】**

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



上記手順 2 で **【カテゴリー再生】** 選択時

3 ▲▼◀▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

	個人認証※
	自動シーン判別の i 人物 / i 夜景 & 人物 / i 赤ちゃん
	自動シーン判別の i 風景 / i タ焼け
	自動シーン判別の i 夜景 & 人物 / i 夜景 / i 手持ち夜景
	自動シーン判別の i 料理
	トラベル日付
	連写速度を [SH] で連続撮影した写真
	インターバル撮影、インターバル動画作成
	コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成

※ ▲▼◀▶ で再生したい人物を選び [MENU/SET] ボタンを押して再生してください。グループ画像は、グループ全体が個人認証画像として扱われます。

- 電源を入れたときや、撮影待機画面から再生画面に切り換えたときは、[再生モード] は自動的に [通常再生] になります。
- 撮影モードによっては動画の分類が写真と異なるため、再生されないことがあります。

【位置情報記録】

スマートフォン/タブレットで取得した位置情報（緯度・経度）を本機に送信した後、本機を操作して画像に位置情報を書き込むことができます。

準備

スマートフォン/タブレットから本機に位置情報を送信する (P.234)

- お使いのスマートフォン/タブレットに「Leica Image Shuttle」をインストールする必要があります。(P.225)

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → 【位置情報記録】 → 【位置情報データ付与】

2 ▲▼ で位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■位置情報の書き込みを中断する

① 位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [O] が表示されます。

[O] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■受信した位置情報を消去する

① ▲▼ で 【位置情報データ消去】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

② ▲▼ で位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 本機で撮影された画像にのみ、位置情報を書き込むことができます。



こんなときは使えません

- カードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- 位置情報の送信 (P.234) 後に撮影した画像には、位置情報は書き込まれません。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込めません。



スマートフォン/タブレットを操作して位置情報を書き込む

本機をスマートフォン/タブレットでリモート制御中は、スマートフォン/タブレットを操作して画像に位置情報を書き込むことができます。(P.235)

[再生] メニューを使う

[RAW 現像]

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。効果を確認しながら調整して現像することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[再生]** → **[RAW 現像]**



2 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼ で項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。

ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[] の付いた項目を選びと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	- 1EV ~ + 1EV の範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果（[スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物]）を選べます。
iD レンジコントロール	iD レンジコントロールの設定（[強]、[中]、[弱]、[OFF]）を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。（[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合は、色調の調整になります）
フィルター効果	フィルター効果を選べます。（[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合のみ）
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定（[強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]）を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	以下の設定ができます。 [調整前に戻す] ：撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間] ：色空間を [sRGB] または [Adobe RGB] から選べます。 [記録画素数] ：保存時の JPEG 画像のサイズ（[L]、[M]、[S]）を選べます。

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。詳しくは、206 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順 **3** の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 **3** から **5** を繰り返してください。

6 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

[再生] メニューを使う

■各項目の設定方法

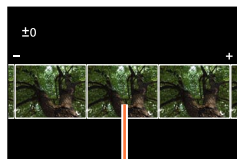
項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

◀▶ コントロールダイヤル	調整の選択
▲	色温度設定画面を表示 (P.105) ([ホワイトバランス] の [] 選択時のみ)
▼	ホワイトバランス微調整画面を表示 (P.105) ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP] ボタン	比較画面を表示
[MENU/SET] ボタン	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

- ・[ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- ・ズームレバーで拡大表示することができます。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

◀▶ コントロールダイヤル	調整の選択
[DISP] ボタン	設定画面に戻る
[MENU/SET] ボタン	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

[設定] 選択時

項目を選ぶと、[調整前に戻す]、[色空間]、[記録画素数] の選択画面が表示されます。

①▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[調整前に戻す] を選択時、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。

②▲▼で設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[再生] メニューを使う

- 露出補正で設定できる範囲は、撮影時と異なります。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス] の項目が撮影時の設定に固定されます。
- 撮影時に [デジタル赤目補正] が働いた場合、[再生] メニューの [RAW 現像] では、補正が働いた JPEG 形式の写真を書き出します。
- 複数の写真を同時に RAW 現像することはできません。

**こんなときは使えません**

- AV ケーブルや HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW 現像] は使えません。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。他の機種で撮影された画像や、RAW 形式以外の画像には [RAW 現像] は使えません。

[再生] メニューを使う

【タイトル入力】

撮影した画像に文字（コメント）を入力します。

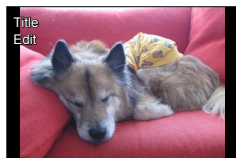
1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [タイトル入力] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真を選ぶ

[1 枚設定]

- ①   で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

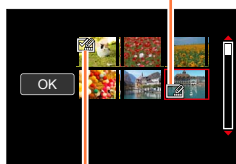


[複数設定] (100 枚まで)

- ①    で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 タイトル入力設定

- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- 実行するとき
→  で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



 タイトル入力済み

3 文字を入力する（文字入力方法：P.52）

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

- 設定した文字を印刷するには、[文字焼き込み] を行ってください。

こんなときは使えません

- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ [クオリティ] が [RAW ] [RAW ] [RAW] の写真

[再生] メニューを使う

【文字焼き込み】

撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [文字焼き込み] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真を選ぶ

[1 枚設定]

①  で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

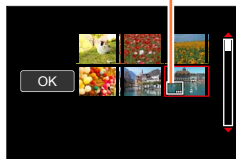


[複数設定] (100 枚まで)

①   で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

☐ 文字焼き込み設定
(☒ 文字焼き込み済み)

- ・ 解除するとき → 再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- ・ 実行するとき
→  で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3   で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4   で項目 (P.210) を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5   で設定 (P.210) を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

6 [G/△] ボタンを押す

7   で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

[再生] メニューを使う

■焼き込める項目

撮影日時	[日付]：撮影日を焼き込む [日時]：撮影日時を焼き込む
名前	 ：個人認証に登録された名前を焼き込む  /  ：[プロフィール設定] で登録された名前を焼き込む
旅行先	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で設定された旅行日の経過日数を焼き込む
タイトル	[タイトル入力] で登録した文字を焼き込む

・[OFF] の項目は焼き込みません。

- 文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
- プリンターによっては文字が切れることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- 0.3M 以下の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。



こんなときは使えません

- 次の画像には設定できません。
 - ・動画
 - ・[クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・パノラマ写真
 - ・文字焼き込み済みの写真
 - ・時計未設定で撮影した写真

[再生] メニューを使う

【動画分割】

1 つの動画を 2 つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [動画分割]

2 ◀▶ で分割する動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割する場所で ▲ を押して一時停止する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。
- もう一度 ▲ を押すと、続きから動画が再生されます。

4 ▼ を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと分割されます。
- 分割した元の動画は残りません。
(分割後の 2 つの動画のみになります)



- 分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
- 画像表示順が [ファイル名] の場合、[MP4] で撮影した動画を分割すると画像の順番が変わります。画像表示順を [撮影日時] にするか、カレンダー再生で表示することをお勧めします。

こんなときは使えません

- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

[再生] メニューを使う

【インターバル動画作成】

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [インターバル動画作成]

2 ◀▶ でインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- ・ インターバル撮影後に続けて動画化すると同じ手順になります。詳しくは 154 ページの手順 **5** 以降をお読みください。
作成した動画については、155 ページのお知らせもお読みください。

【コマ撮りアニメ作成】

【コマ撮りアニメ】で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [コマ撮りアニメ作成]

2 ◀▶ でコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- ・ 【コマ撮りアニメ】の撮影後に続けて動画化すると同じ手順になります。詳しくは 158 ページの手順 **8** 以降をお読みください。
作成した動画については、159 ページのお知らせもお読みください。

[再生] メニューを使う

[リサイズ (縮小)] 画像サイズ (画素数) を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量 (記録画素数) を小さくします。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[再生]** → **[リサイズ (縮小)]** → **[1 枚設定]** または **[複数設定]**

2 写真、サイズを選ぶ

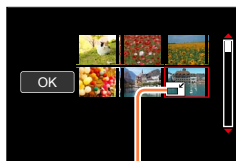
[1 枚設定]

- ①   で写真を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す
- ②   でサイズを選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す
 - ・ 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

[複数設定] (100 枚まで)

- ①   でサイズを選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す
- ②   で写真を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す
 - ・ 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- ・ 解除するとき → 再度 **[MENU/SET]** ボタンを押す
- ・ 実行するとき
 -  で **[実行]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す



リサイズ設定

- リサイズすると画質が粗くなります。

こんなときは使えません

- いちばん小さい記録画素数で撮影した写真は、それ以上小さくできません。
- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・ パノラマ写真
 - ・ グループ画像
 - ・ 文字焼き込み済みの写真

[再生] メニューを使う

【トリミング（切抜き）】 画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → 【トリミング（切抜き）】

2 ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。



- グループ画像は 1 枚ずつトリミング（切抜き）してください。（グループ単位の編集はできません）
- グループ画像にトリミング（切抜き）を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。
- トリミングすると画質が粗くなります。

こんなときは使えません

- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・ パノラマ写真
 - ・ 文字焼き込み済みの写真

[再生] メニューを使う

【画像回転】 / 【縦位置自動回転】

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で 90° ごとに回転させることができます。

【画像回転】 画像を手動で回転する

- ・ [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → 【画像回転】

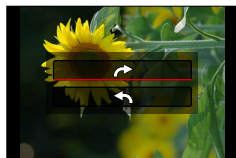
2 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ グループ画像は回転できません。

3 ▲▼ で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[] : 時計回りに 90° 回転します。

[] : 反時計回りに 90° 回転します。



【縦位置自動回転】 画像を自動で回転して表示する

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → 【縦位置自動回転】 → [ON]

- ・ [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。

こんなときは使えません

- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。Exif とは、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです。
- 複数消去など設定時のマルチ再生画面では、縦位置自動回転されない場合があります。

[再生] メニューを使う

【お気に入り】

気に入った画像に[★]印を付けておくと、お気に入り画像だけを再生したり、お気に入り画像以外を全消去したりすることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [お気に入り] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

【1 枚設定】

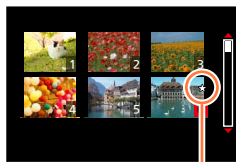
- ①   で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 ・ 解除するとき → 再度 [MENU/SET] ボタンを押す



お気に入り設定

【複数設定】(999 枚まで)

- ①     で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 ・ 解除するとき → 再度 [MENU/SET] ボタンを押す



お気に入り設定

■全解除するとき

手順 **1** で [お気に入り] → [全解除] を選ぶ → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ内の画像に [お気に入り] 設定すると、先頭画像のお気に入りアイコンに設定枚数が表示されます。
- [再生モード] を [通常再生] 以外に設定しているときは、[全解除] を選択できません。



こんなときは使えません

- 次の画像には設定できません。
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真

[再生] メニューを使う

[プリント設定]

DPOF プリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。(対応しているかどうかはお店に確認してください)

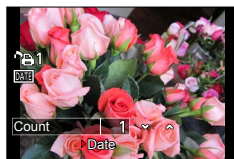
1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [プリント設定] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真を選ぶ

[1 枚設定]

① で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



[複数設定]

① で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲▼で枚数を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

([複数設定] 時は手順 2 と 3 を繰り返す (999 枚まで))

・日付プリントを設定 / 解除するとき → を押す

■全解除するとき

手順 1 で [プリント設定] → [全解除] を選ぶ → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像に [プリント設定] を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。
- グループ内の画像に [プリント設定] すると、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。
- [文字焼き込み] 済みの画像には、日付プリントを設定できません。
- プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
- 他機で設定された DPOF 情報 (プリント設定) は利用することができない場合があります。その場合、DPOF 情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。



こんなときは使えません

- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・ DCF 規格に準拠していないファイル

[再生] メニューを使う

【プロテクト】

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [プロテクト] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

【1 枚設定】

- ①   で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 解除するとき → 再度 [MENU/SET] ボタンを押す



プロテクト設定

【複数設定】

- ①     で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 解除するとき → 再度 [MENU/SET] ボタンを押す



プロテクト設定

■全解除するとき

手順 **1** で [プロテクト] → [全解除] を選ぶ → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



カードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] にしておくと、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 本機以外では無効になることがあります。
- グループ内の画像に [プロテクト] 設定すると、先頭画像のプロテクトアイコンに設定枚数が表示されます。

[再生] メニューを使う

【認証情報編集】

間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[再生]** → **[認証情報編集]** → **[入換え]** または **[解除]**

2 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶ で人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[解除] の場合は手順 **5** へ
- ・個人認証情報が登録されていない人物は選択できません。

4 ▲▼◀▶ で入れ換えたい人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ◀▶ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生] または [カテゴリー選択] の個人認証に分類されません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は 1 枚目の画像のみ編集できます。

[再生] メニューを使う

【画像表示順】

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[再生]** → **[画像表示順]**

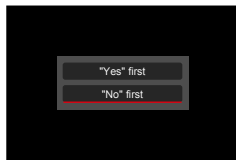
2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

ファイル名	フォルダ名 / ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置が分かりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 本機にカードを入れた直後は「撮影日時」の順で表示できない場合があります。しばらくすると、「撮影日時」の順で表示されます。

【消去確認画面】

画像消去時に表示される確認画面の選択肢「はい」 / 「いいえ」のどちらが最初に選ばれるかを設定します。



1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[再生]** → **[消去確認画面]**

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

「はい」がはじめ	最初に「はい」が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
「いいえ」がはじめ	最初に「いいえ」が選ばれます。誤って画像を消去するのを防ぎます。

Wi-Fi[®] 機能 / NFC 機能について

■本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用する、両方の処理速度が低下することがあります。

■利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID*）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

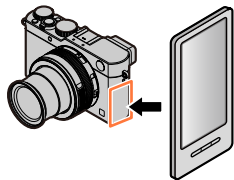
*SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ご使用の前に

- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■本機は NFC に対応しています

NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。



■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



■ [WIFI] ボタンについて

[WIFI] / [Fn2] ボタンは、[WIFI] と [Fn2]（ファンクション 2）の 2 種類の使い方ができます。

お買い上げ時は、[WIFI] が設定されています。

ファンクションボタンについて詳しくは 37 ページをお読みください。

- Wi-Fi 接続する前に [WIFI] ボタンを押すと、以下の操作ができます。
（**MENU** ボタン → ✕ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] を選んでも同じメニューを表示できます）

[新規に接続する]

[履歴から接続する] (P.244)

[お気に入りから接続する] (P.244)

Wi-Fi® 機能 / NFC 機能について

- Wi-Fi 接続中に [WIFI] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

[接続を終わる]	Wi-Fi 接続を終了します。
[接続先を変える]	Wi-Fi 接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
[画像の送信設定を変える]	詳しくは 246 ページをお読みください。
[今の接続先をお気に入りに入れる]	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
[ネットワークアドレス表示]	本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。 (P.247)

- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます)
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。

Wi-Fi 機能でできること

スマートフォンとつないで使う (P.225)

スマートフォンで撮影する (リモート撮影)

カメラの画像を再生する

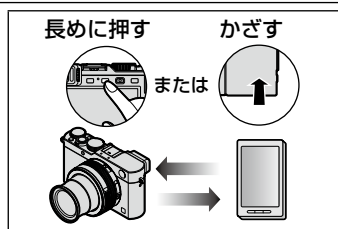
カメラの画像を保存する

画像を SNS へ送信する

位置情報をカメラの画像に書き込む

かんたん接続、かんたん転送

[WIFI] ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単にお使いいただけます。



- このページ以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。

スマートフォンとつないで使う

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。

お使いのスマートフォンに「Leica Image Shuttle」（以降では「Image Shuttle」と表記）をインストールする必要があります。

スマートフォン/タブレットアプリ「Leica Image Shuttle」をインストールする

ライカカメラ AG のアプリケーション「Leica Image Shuttle」を使うと、Wi-Fi 対応のライカコンパクトデジタルカメラの以下の操作を、スマートフォンから行うことができます。

	Android™ 向けアプリ	iOS 向けアプリ
対応 OS	Android 2.3.3 以上※ ¹	iOS 6.0 以上 (iPhone 3GS には対応していません)
インストール手順	① Android 端末をネットワークに接続する ② 「Google Play™ ストア」を選ぶ※ ² ③ 検索フィールドに「Leica Image Shuttle」と入力する ④ 「Leica Image Shuttle」を選び、インストールする ・メニューにアイコンが追加されます。  ※ ² 中国では「Google Play™ ストア」をご利用いただけません。下記 URL より Android 用「Leica Image Shuttle」をダウンロードしてください。 www.leica-camera.com	① iOS 端末をネットワークに接続する ② 「App Store SM 」を選ぶ ③ 検索フィールドに「Leica Image Shuttle」と入力する ④ 「Leica Image Shuttle」を選び、インストールする ・メニューにアイコンが追加されます。 

※¹ [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™ に対応している必要があります。

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2014 年 9 月現在のもので、また、対応 OS は変更する場合があります。
- 対応 OS や Image Shuttle のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image Shuttle」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

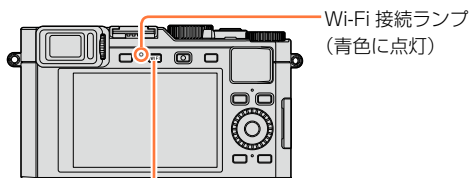
スマートフォンと接続する

[WIFI] ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

準備

「Image Shuttle」をインストールしておく (P.225)

1 [WIFI] ボタンを長めに押す

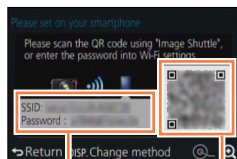


[WIFI] ボタン

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID とパスワード) が表示されます。
- 2 回目以降は前回接続した接続方法の画面が表示されます。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

**WIFI ボタン → [新規に接続する] →
[スマートフォンとつないで使う]**

- カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試ください。(読み取れない場合は、カメラとスマートフォンの距離を離して試してみるか、QR コード以外の方法で接続してください)
- 接続方法を切り換えたい場合は、[DISP] ボタンを押して、接続方法を選んでください。(P.229)



SSID とパスワード

QR コード

2 スマートフォンを操作する

- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に本機の画像が表示されます。(操作後、接続が完了するまでにしばらくかかる場合があります)
- お使いのスマートフォンによって接続方法が異なります。(P.227、228)

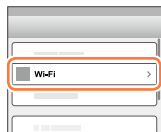
■iOS 端末をお使いの場合

- QR コードを読み取って接続する場合
(再接続する場合は手順 ①～⑤は不要です)

- ①「Image Shuttle」(P.225) を起動する
- ②[QR コード] → [OK] を選ぶ
- ③本機に表示された QR コードを「Image Shuttle」で読み取る
(カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。)
- ④「Image Shuttle」プロフィールをインストールする
[インストール]*を選び、[インストール]*→[完了]*を選んでください。
 • ブラウザにメッセージが表示されます。
 • スマートフォンのロック解除のパスコードを設定されている場合は、パスコードの入力が必要です。



- ⑤ ホームボタンを押してブラウザを終了する
- ⑥ [設定]*の [Wi-Fi]*を選ぶ



- ⑦ [Wi-Fi]*をオンにして、本機に表示された SSID を選ぶ



- ⑧ ホームに戻り、「Image Shuttle」(P.225) を起動する

*お使いの言語設定によって表示が異なります。

- SSID とパスワードで接続する場合
 - ① [設定] * の [Wi-Fi] * を選ぶ
 - ② [Wi-Fi] * をオンにして、本機に表示された SSID を選ぶ
 - ③ 本機に表示されたパスワードを入力する（初回接続時のみ）
 - ④ ホームに戻り、「Image Shuttle」(P.225) を起動する

* お使いの言語設定によって表示が異なります。

■Android 端末をお使いの場合

- QR コードを読み取って接続する場合
 - ① 「Image Shuttle」(P.225) を起動する
 - ② [QR コード] を選ぶ
 - ③ 本機に表示された QR コードを「Image Shuttle」で読み取る
(カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。)
- SSID とパスワードで接続する場合
 - ① 「Image Shuttle」(P.225) を起動する
 - ② [Wi-Fi] を選ぶ
 - ③ 本機に表示された SSID を選ぶ
 - ④ 本機に表示されたパスワードを入力する（初回接続時のみ）
 - パスワードを表示する項目にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認できます。

接続方法を変える

接続方法を切り換えたい場合は、[DISP] ボタンを押して、接続方法を選んでください。



■[ネットワーク経由] で接続する場合

(カメラ側)

- ① [ネットワーク経由] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ 240 ページの接続方法に従って本機を無線アクセスポイントに接続してください。

(スマートフォン側)

- ② Wi-Fi 機能を ON にする
- ③ 本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
- ④ 「Image Shuttle」(P.225) を起動する

■[直接接続] で接続する場合

(カメラ側)

- ① [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続] を選び、243 ページの接続方法に従って本機をスマートフォンに接続してください。

(スマートフォン側)

- ② 「Image Shuttle」(P.225) を起動する

接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

(カメラ側)

1 [WIFI] ボタンを押す

(撮影待機画面で **MENU** ボタン → ✕ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい] を選んでも接続を終了できます)

2 [接続を終わる] を選ぶ

- ・ 確認画面が表示されます。[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押します。

(スマートフォン側)

3 「Image Shuttle」を終了する

< iOS 端末をお使いの場合 >

「Image Shuttle」の画面でスマートフォンのホームボタンを押してアプリを終了する

< Android 端末をお使いの場合 >

「Image Shuttle」の画面でスマートフォンの戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する

NFC 機能を使って、スマートフォンと接続する

NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) 機能を使用して、本機とスマートフォンとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。

対応機種について：

本機能は、Android (OS バージョン 2.3.3 以上) で、NFC に対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

準備

(カメラ側)

- [NFC 動作] を [ON] にする (P.247)

(スマートフォン側)

- スマートフォンが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi 機能を ON にする
- [Image Shuttle] をインストールしておく (P.225)

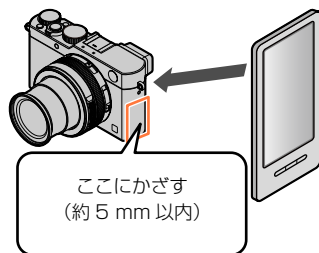
1 お使いのスマートフォンで「Image Shuttle」を起動する

2 「Image Shuttle」の接続画面に【📱】が表示されている状態で、本機にスマートフォンをかざす

3 ◀で【はい】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 再度、本機にスマートフォンをかざす

- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に本機の映像が表示されます。
- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続されたスマートフォンは本機に登録されます。
- 2 回目からは手順 **1**、**2** の操作で接続できます。



スマートフォンとつないで使う

- 最大 20 件までスマートフォンを登録できます。20 件を超えた場合は、最も古くかざされた順に登録を消去します。
- [Wi-Fi 設定リセット] を行うとスマートフォンの登録は消去されます。
- 通信環境が悪い場合、NFC 機能が使用できないことがあります。
- すぐに反応しないときは、位置を少しずらしてください。
- スマートフォンを本機に強く当てないでください。
- NFC 対応スマートフォンの操作や設定については、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
- 本機とスマートフォンとの間に金属物があると、読み取れない場合があります。また、NFC エリア付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性があります。

こんなときは使えません

- 次の場合、NFC 機能は使えません。
 - ・ カメラの電源が入っていないとき（[スリープモード] を含む）
 - ・ 動画撮影中
 - ・ 静止画撮影中（セルフタイマーのカウントダウン中）
 - ・ コマ撮りアニメ撮影中、インターバル撮影中
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ 動画再生中、スライドショー中、パノラマ再生中、グループ画像を連続再生中（それぞれ一時停止中を含む）
 - ・ Wi-Fi での画像送信中
 - ・ パソコンまたはプリンター接続時
- RAW 形式の写真、[画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画は転送できません。

スマートフォンで撮影する（リモート撮影）

1 スマートフォンと接続する（P.226）

2 「Image Shuttle」のを選ぶ

3 撮影する

- ・ 撮影した画像はカメラに保存されます。
- ・ ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。
- ・ 設定など一部利用できないものがあります。

カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P.226)

2 「Image Shuttle」の【】を選ぶ

- スマートフォンの画面に本機からの映像が表示されます。
- 画面左上のアイコンで、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには「Leica Image Shuttle」を選んでください。
- 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます。



カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P.226)

2 「Image Shuttle」の【】を選ぶ

3 画像を長押ししてドラッグし、スマートフォンに保存する

- スマートフォンに画像が保存されます。
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



こんなときは使えません

- RAW 形式の写真、[画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画は保存できません。

カメラの画像を簡単に転送する

スマートフォンを本機にかざすことで、NFC 機能を使って Wi-Fi 接続ができ、表示中の画像を簡単に Wi-Fi で転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン*にも簡単に転送できます。

*ご利用には、「Image Shuttle」をインストールする必要があります。

準備

(カメラ側)

- [NFC 動作] を [ON] にする (P.247)
- [タッチシェアリング] を [ON] にする (P.247)

(スマートフォン側)

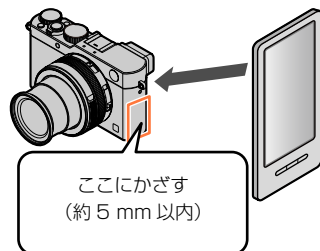
- スマートフォンが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi 機能を ON にする
- 「Image Shuttle」をインストールしておく (P.225)

1 スマートフォンに転送したい画像を本機で再生する

2 転送先のスマートフォンで「Image Shuttle」を起動する

3 「Image Shuttle」の接続画面に [📷] が表示されている状態で、本機にスマートフォンをかざす

- スマートフォンに画像が転送されます。
- 複数の画像を転送する場合は、手順 **1**、**3** を繰り返してください。(一括で転送することはできません)
- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。



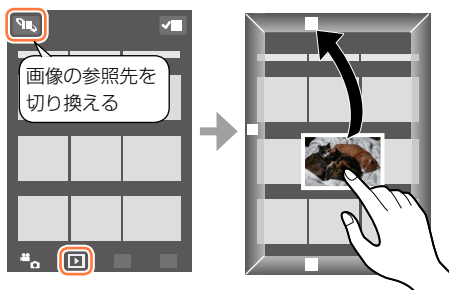
カメラの画像を SNS へ送信する

1 スマートフォンと接続する (P.226)

2 「Image Shuttle」の [] を選ぶ

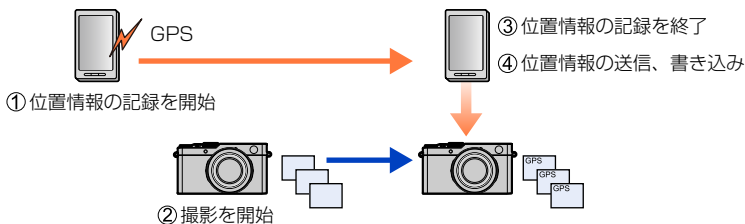
3 画像を長押ししてドラッグし、SNS などに送信する

- SNS などの Web サービスに画像が送信されます。
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



スマートフォンから、カメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。



- 撮影時と異なる位置情報が書き込まれるおそれがあります。以下についてお気をつけください。
 - カメラの「ワールドタイム」の「ホーム」の設定をお住まいの地域に設定してください。
 - スマートフォンで位置情報の記録開始後、カメラの「ワールドタイム」の「ホーム」の設定を変更しないでください。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込みません。

■位置情報の記録を開始

① スマートフォンを操作する

- ① [📷] を選ぶ
- ② [ジオタギング] を選ぶ
- ③ [▶] を選ぶ



■位置情報の記録を終了

① スマートフォンを操作する

- ① [📷] を選ぶ
- ② [ジオタギング] を選ぶ
- ③ [■] を選ぶ



■位置情報の送信、書き込み

① スマートフォンと接続する (P.226)

② スマートフォンを操作する

- ① [📷] を選ぶ
- ② [ジオタギング] を選ぶ
- ③ [📶] を選ぶ



- 画面のメッセージに従って、操作してください。
- カメラのカードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- 送信した位置情報の画像への書き込みは、[再生] メニューの [位置情報記録] でもできます。

● 使用上のお願い：

本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

- スマートフォンで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image Shuttle」のメニューの中のヘルプをお読みください。

- (iOS 向けの「Image Shuttle」をお使いの場合)

位置情報を記録中にスマートフォンのホームボタンまたはオン / オフボタンを押すと、位置情報の記録が中止されます。

カメラを操作してスマートフォンに画像を送る

■送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4
【撮影中に画像を送る】(P.237)	○	×	×
【カメラ内の画像を送る】(P.238)	○	×	○※

※ [画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の取扱説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、246 ページをお読みください。

準備

「Image Shuttle」をインストールしておく (P.225)

【撮影中に画像を送る】**1 メニューを設定する**

WIFI ボタン→【新規に接続する】→【撮影中に画像を送る】

2 【ネットワーク経由】または【直接接続】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す**■【ネットワーク経由】で接続する場合**

（カメラ側）

①本機を無線アクセスポイントに接続する（P.240）

（スマートフォン側）

②Wi-Fi 機能を ON にする

③本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する

④「Image Shuttle」を起動する（P.225）

■【直接接続】の【Wi-Fi Direct】または【WPS 接続】で接続する場合

（カメラ側）

①本機をスマートフォンに接続する（P.243）

（スマートフォン側）

②「Image Shuttle」を起動する（P.225）

■【直接接続】の【手動接続】で接続する場合

226 ページの手順 **2** を操作してください。

3 接続したい機器を選ぶ

- ・接続が完了すると送信設定確認画面が表示されます。設定を確認し、【MENU/SET】ボタンを押してください。画像の送信設定を変更するには【DISP】ボタンを押してください。（P.246）

4 写真を撮る

- ・撮影後、自動的に写真が送信されます。
- ・設定を変更したり、接続を終わるには、【WIFI】ボタンを押してください。
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。
（**MENU** ボタン→✕【セットアップ】→【Wi-Fi】→【Wi-Fi 機能】→【はい】を選んで接続を終了できます）

[カメラ内の画像を送る]

1 メニューを設定する

WIFI ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■[ネットワーク経由] で接続する場合

(カメラ側)

①本機を無線アクセスポイントに接続する (P.240)

(スマートフォン側)

②Wi-Fi 機能を ON にする

③本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する

④「Image Shuttle」を起動する (P.225)

■[直接接続] の [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続] で接続する場合

(カメラ側)

①本機をスマートフォンに接続する (P.243)

(スマートフォン側)

②「Image Shuttle」を起動する (P.225)

■[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

226 ページの手順 **2** を操作してください。

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると送信設定確認画面が表示されます。設定を確認し、[MENU/SET] ボタンを押してください。画像の送信設定を変更するには [DISP] ボタンを押してください。 (P.246)

4 [1 枚選択] または [複数選択] を選ぶ

[1 枚選択]

① 画像を選ぶ

② [MENU/SET] ボタンを押す

[複数選択]

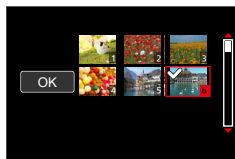
① 画像を選ぶ (繰り返す)

- もう一度選ぶと設定が解除されます。

② [実行] を選ぶ

- [複数選択] で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 画像の送信設定を変更するには、[DISP] ボタンを押してください。
- 接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。



接続について

Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。

無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。

以前と同じ設定で接続する場合、[履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] で接続すると、素早く Wi-Fi 機能が使えます。

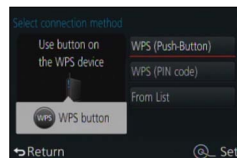


接続方法	設定内容	
[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P.240
[直接接続]	お使いの機器が本機に直接接続します。	P.243

【ネットワーク経由】 無線アクセスポイントを経由して接続する

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

- WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



接続方法	設定内容
[WPS (プッシュボタン)]	WPS マークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。 1 無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す 詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
[WPS (PIN コード)]	WPS マークがあり、PIN コード方式の Wi-Fi Protected Setup 対応の無線アクセスポイントを登録します。 1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ 2 本機の画面に表示されている PIN コードを無線アクセスポイントに入力する 3 [MENU/SET] ボタンを押す 詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
[一覧から選ぶ]	WPS に対応しているか分からない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。 詳しくは 241 ページをお読みください。

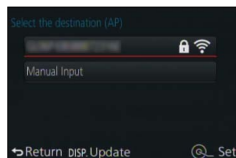
WPS に対応しているか分からない場合（[一覧から選ぶ] で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は
242 ページの「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。

**2（ネットワーク認証が暗号化されている場合）****暗号化キーを入力する**

- 文字の入力方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。

■【マニュアル入力】で接続する場合

- ①「WPS に対応しているか分からない場合（[一覧から選ぶ] で接続する）」の
手順 **1** の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ（P.241）
- ②接続する無線アクセスポイントの SSID を入力して [決定] を選ぶ
 - ・文字の入力方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- ③ネットワークの認証方式を選ぶ
 - ・ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
- ④暗号化方式を選ぶ
 - ・ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK] / [WPA-PSK]	[TKIP] / [AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし] / [WEP]

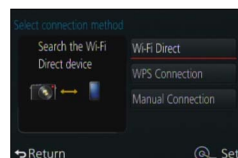
（[暗号化なし] 以外選択時）

⑤暗号化キーを入力する

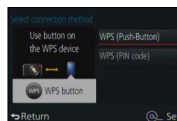
- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」（P.269）、「Q&A 故障かな？と思ったら」（P.280）をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

【直接接続】 直接接続する

お使いの機器との接続方法を選択できます。
 お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。



接続方法	設定内容
[Wi-Fi Direct] *1	1 機器を Wi-Fi Direct™ モードにする 2 [Wi-Fi Direct] を選ぶ 3 接続する機器を選ぶ ・ 詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
[WPS 接続] *2	[WPS (プッシュボタン)] 1 [WPS (プッシュボタン)] を選ぶ 2 機器を WPS モードにする ・ 本機の [DISP] ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	[WPS (PIN コード)] 1 [WPS (PIN コード)] を選ぶ 2 機器の PIN コードを本機に入力する
[手動接続]	1 機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSID とパスワードを機器に入力する



QR コード
SSID とパスワード

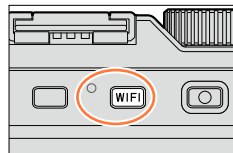
*1 [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™ に対応している必要があります。

*2 WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。

以前と同じ設定で素早く接続する （【履歴から接続する】 / 【お気に入りから接続する】）

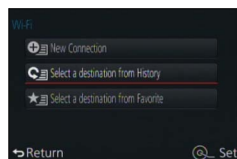
Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

1 【WIFI】 ボタンを押す

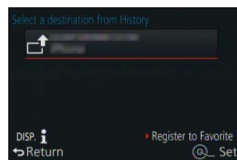


2 【履歴から接続する】 または 【お気に入りから接続する】 を選ぶ

項目	設定内容
【履歴から接続する】	以前と同じ設定で接続します。
【お気に入りから接続する】	お気に入りに登録された設定で接続します。



3 接続したい項目を選ぶ



履歴をお気に入りに登録する

1 【WIFI】 ボタンを押す

2 【履歴から接続する】 を選ぶ

3 登録したい項目を選び、▶ を押す

4 登録名を入力する

- 文字の入力方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 入力できる文字数は最大 30 文字です。2 バイト文字は 2 文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

- 1 [WIFI] ボタンを押す
- 2 [お気に入りから接続する] を選ぶ
- 3 編集したいお気に入り項目を選び、▶ を押す
- 4 項目を選ぶ

項目	設定内容
[お気に入りを消す]	—
[お気に入りの順番を変える]	移動先を選ぶ
[登録名を変える]	- 文字の入力方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。 - 入力できる文字数は最大 30 文字です。2 バイト文字は 2 文字の扱いになります。



よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておく

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。(P.244)



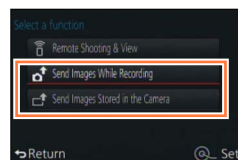
履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

- 履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと、履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。

画像の送信設定について

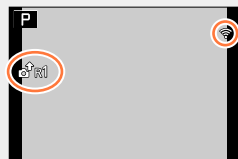
画像を送信する場合、[新規に接続する] を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。
接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



【撮影中に画像を送る】

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。

- [撮影中に画像を送る] で接続中は、撮影画面に [Wi-Fi] が表示され、ファイルを送信中は [送信] が表示されます。
- 送信完了前に電源を切ったり、Wi-Fi 接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や [再生] メニューの使用はできない場合があります。



こんなときは使えません

- 動画は送信できません。

【カメラ内の画像を送る】

撮影後に画像を選んで送信できます。

- [再生] メニューの [お気に入り] または [プリント設定] の設定内容は送信されません。

こんなときは使えません

- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに [DISP] ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

項目	設定内容
[送信サイズ]	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [変更] ● [変更] の画像サイズは [M]、[S] または [VGA] を選択できます。画像の横縦比は変わりません。

[Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。

Wi-Fi 接続中は [Wi-Fi 設定] の変更はできません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → ✕ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → 設定したい項目

項目	設定内容
機器名称 本機の名前を変更することができます。	① [DISP] ボタンを押す ② 任意の機器名称を入力する - 文字入力の方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。 - 入力できる文字数は最大 32 文字です。
NFC 動作 NFC 機能の設定をします。	[ON] : NFC 機能が働きます。 [OFF]
タッチシェアリング NFC 機能で接続したときの動作を設定します。	[ON] : 1 枚再生時に NFC 機能を使って Wi-Fi 接続すると、画像 (1 枚) を転送できます。 [OFF]
Wi-Fi パスワード 誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi 機能をパスワードで保護することをお勧めします。	パスワードを設定しておくと、Wi-Fi 機能使用時、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。 [設定] : 数字 4 桁で任意のパスワードを入力してください。設定後はメニューを終了してください。 [解除] : 確認画面が表示されます。[[はい]] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。 - 文字入力の方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。 - パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまった場合、[セットアップ] メニューの [Wi-Fi 設定リセット] を行くとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。
ネットワークアドレス表示 本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。	「MAC アドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 「IP アドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどの DHCP 機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例 : 192.168.0.87)
認証情報※ 電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。	—

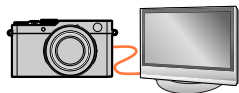
※カメラモデル 18 471 の場合

4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■テレビで見る

本機と 4K 動画対応テレビを接続して、[画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画を再生すると、きめ細かい 4K 動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K 動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。



準備

サイズが [4K] の場合、[HDMI 出力解像度] (P.48) を [AUTO] または [4K] に設定する。

① HDMI マイクロケーブルで本機と 4K 動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P.249)

- [HDTV リンク] を [ON] に設定して HDTV リンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切り替えが自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、251 ページをお読みください。
- 4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの説明書もお読みください。



■パソコンで見る

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。



4K 動画を残す

■パソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。詳しくは、253 ページをお読みください。

テレビで見る

本機とテレビを HDMI マイクロケーブルまたは AV ケーブルで接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

- ・互換性のあるケーブルは専門店で求めいただけます。必ず本機と互換性のあるケーブルをご使用ください。

準備

本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

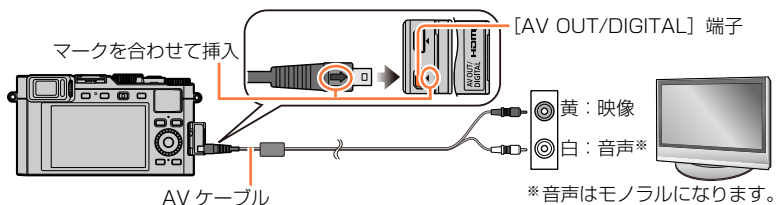
端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

■HDMI マイクロケーブルで接続する場合

本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影した写真や動画を高画質で楽しむことができます。



■AV ケーブルで接続する場合



2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] を押す

■HDMI マイクロケーブルで接続したとき

- [HDMI 出力解像度] (P.48) を確認してください。
- 24p 動画を再生時は [HDMI 出力解像度] を [AUTO] に設定してください。[AUTO] 以外に設定していると、24 コマ / 秒では出力できません。
- 画像横縦比によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMI マイクロケーブル接続時は、カメラには画像が表示されません。
- USB 接続ケーブル (付属) と同時に接続すると、[HDMI] 端子は働きません。
- AV ケーブルと HDMI マイクロケーブルを同時に接続すると、AV ケーブルの映像は出力されません。
- テレビによっては、再生開始直後や一時停止直後に一瞬、画像が乱れることがあります。
- 音声出力はステレオ (2ch) です。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

■AV ケーブルで接続したとき

- [テレビ画面タイプ] (P.47) を確認してください。
- 規格に準拠した AV ケーブルのみお使いください。
- 国 (地域) により放送システムが NTSC または PAL と異なりますが、セットアップメニューの [ビデオ出力] の設定により、撮影した画像をその国のテレビで再生することができます。(カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合)
- 縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
- ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
- ファインダー表示はできません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。



SD カードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

テレビで見る

HDTV リンク (HDMI) (HDAVI Control™) を使う

HDTV リンク (HDMI) とは

- 本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続した HDTV リンク対応機器を自動的に連動させて、HDTV のリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- HDTV リンク (HDMI) は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。HDTV リンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

準備

[HDTV リンク] を [ON] に設定しておく。(P.49)

- 1** HDMI マイクロケーブルで、本機と HDTV リンク (HDMI) に対応したテレビをつなぐ (P.249)
- 2** 本機の電源を入れ、再生ボタンを押す
- 3** テレビのリモコンで操作する
 - ・ 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

■その他の連動操作について

電源 OFF

- テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMI マイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の再生ボタンを押すと、テレビの入力切換が自動で本機の画面に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- HDTV リンク（HDMI）が正しく働かない場合は、291 ページをご確認ください。

- HDMI マイクロケーブルは、HDMI ロゴのある「High Speed HDMI マイクロケーブル」をご使用ください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
[High Speed HDMI マイクロケーブル（プラグ：タイプ D- タイプ A、長さ：2m 以下）]
HDMI マイクロケーブルは販売店でお買い求めいただけます。必ず本機に対応している HDMI マイクロケーブルをお使いください。
- お使いのテレビが HDTV リンク（HDMI）対応か分からないときは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル（2m まで）をお使いください。
- HDTV リンク動作時、本機の「HDMI 出力解像度」は自動的に判別されます。
- 本機の「HDTV リンク」を「ON」に設定している場合は、本機のボタンを使っでの操作は制限されます。
- 接続したテレビ側の HDTV リンク（HDMI）が動くように設定しておいてください。（設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください）

パソコンに撮影した画像データをコピーする

カードリーダーの場合（内蔵 / 外付け）

- 一部のパソコンは、カメラから抜いたカードから直接読み込んだり、また外付けのカードリーダーが必要な場合もあります。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- SDXC メモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります
（撮影したすべての画像データが消去されますので、[いいえ]を選択してください）
- 外付けのカードリーダーの場合、使用するカードの種類をサポートしているか確認してください。

カメラに直接接続されたパソコンの場合（利用可能なソフトウェアを使用）

■使用できるパソコン

マストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコン

- Windows の場合：Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/
Windows 8.1
- Mac の場合：OS X v10.5 ~ v10.9

パソコンに撮影した画像データをコピーする

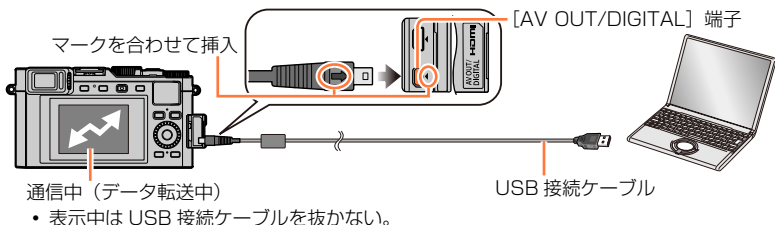
写真、動画を取り込む

準備

- 本機とパソコンの電源を入れる。

1 本機とパソコンを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。



- 表示中は USB 接続ケーブルを抜かない。

2 ▲▼で [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [USB モード] を [PC] に設定しておく、パソコンに接続するたびに設定する必要があります。

3 インストールしたソフトウェアを使って画像をパソコンにコピーする

■PTP モードの場合

[USB モード] (P.47) の設定を [PictBridge(PTP)] にしても、パソコンと PTP モードで接続することができます。

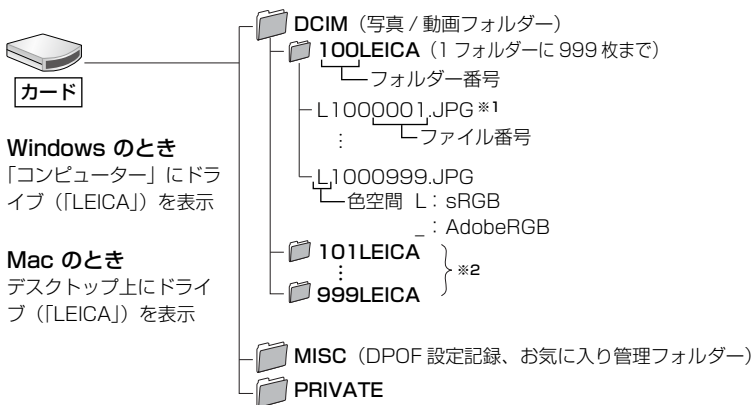
- 画像の読み出しのみできます。
- PTP モードでパソコンと接続できない場合は、[USB モード] を [PC] に設定して、接続し直してください。
- カードの中に 1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- 動画や RAW 形式の画像データは、読み出しできません。

パソコンに撮影した画像データをコピーする

■「Adobe® Photoshop® Lightroom®」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ&ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

・本機のカードの中（フォルダー構造）は以下ようになります。



※1 .JPG : 写真

.RAW : RAW で記録した写真

.MP4 : MP4 動画

※2 フォルダーは次の場合に新しく作成されます。

- ・フォルダー内にファイル番号 999 の画像がある場合
- ・同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）
- ・[番号リセット] したとき (P.50)

● カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。

● 十分に充電したバッテリーをご使用ください。通信中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください

● パソコンの取扱説明書をお読みください。

写真や動画をレコーダーに残す

お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

カードをレコーダーに入れてダビングする

各ファイル形式に対応した機器（ブルーレイディスクレコーダーなど）を使ってダビングすることができます。

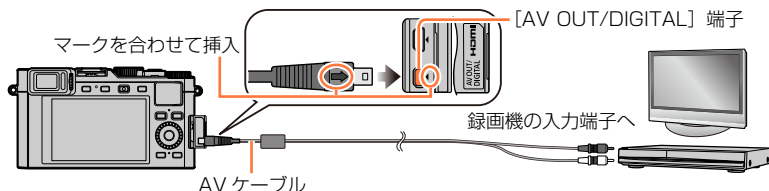
- ・ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

AV ケーブルを使って再生映像をダビングする

本機で再生した映像をレコーダー、ディスク、ビデオテープなどに標準画質でダビングします。ハイビジョン対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。音声はモノラルになります。

1 本機と録画機を接続する

- ・端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



2 録画機で録画を始める

3 本機で再生を始める

- ・録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

- 横縦比が 4:3 のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の [テレビ画面タイプ] (P.47) を [4:3] に設定してダビングしてください。[16:9] に設定してダビングした動画は 4:3 のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

プリントする

ピクトブリッジ

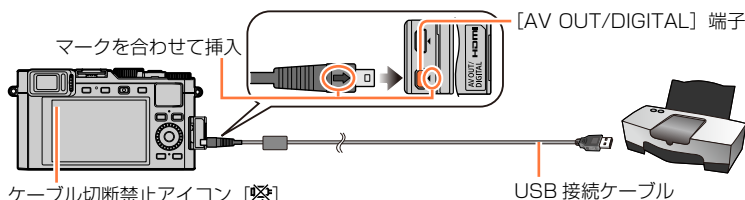
PictBridge 対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備

- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

1 本機とプリンターを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。



- 表示中は USB 接続ケーブルを抜かない。
(プリンターによってはアイコンが表示されません)

2 ▲▼ で [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶ でプリントする写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(プリントの各種設定：P.260)

■途中でプリントを中止するとき

[MENU/SET] ボタンを押す

【複数プリント】

複数まとめてプリントします。

1 手順 3 (P.257) で ▲ を押して複数プリントに設定する

2 ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 複数選択： ① ▲▼◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す)
② ◀ で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 全画像： すべての画像
- プリント設定 (DPOF)： [プリント設定] で設定した画像 (P.217)
- お気に入り： [お気に入り] で設定した画像 (P.216)

3 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(プリントの各種設定：P.260)

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい] を選んでください。

- グループ画像は、グループ単位ではなく 1 枚ずつ表示されます。
- カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
- プリント終了後、USB 接続ケーブルを外してください。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB 接続ケーブルを抜いてください。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの取扱説明書をお読みください。
- プリント中にオレンジ色の [●] が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
- プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。(残り枚数の表示が設定と異なることがあります)

こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。
- RAW で記録した写真はプリントできません。(同時に記録した JPEG 形式の写真はプリントできます)

プリントする

写真に日付や文字を入れる

[再生] メニューの [文字焼き込み] で日付や日時を写真に焼き込むことができます。
(P.209)

■ [文字焼き込み] せずに日付などをプリントするとき

お店プリントの場合：

撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。

- お店にカードを渡す前に、本機で [プリント設定] (P.217) をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定できます。
- 16:9 の写真をプリントする場合は、お店が 16:9 サイズに対応しているか事前に確認してください。

プリンターの場合：

本機で [プリント設定] をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で [日付プリント] (P.260) を [ON] に設定すると、撮影日時を印刷できます。

本機でプリントの各種設定をする

プリント枚数や用紙サイズなどを設定できます。[プリント開始] を選ぶ前に設定してください。

1 ▲▼で設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

設定項目	設定内容
日付プリント	ON (日付プリントする) / OFF
プリント枚数	枚数を設定 (最大 999 枚)
用紙サイズ	 を選ぶと、プリンターの設定を優先します。
レイアウト	 (プリンターの設定を優先) /  (1 面縁なし)  (1 面縁あり) /  (2 面) /  (4 面)

2 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [日付プリント] を [ON] にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)
- 文字や日付を焼き込んだ画像をプリントする場合は、[日付プリント] を [OFF] にしてください。(日付が重なってプリントされます)
- プリンターが対応していない項目は表示されません。
-  (2 面) /  (4 面) で同じ写真を並べたいときは、その写真のプリント枚数を 2 枚 / 4 枚にしてください。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには  (プリンター優先) を選び、プリンター側で設定してください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)
- [プリント設定] をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。

外部フラッシュ

Leica CF22（別売→13）などの外部フラッシュを使用すると、フラッシュ（付属）に比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備

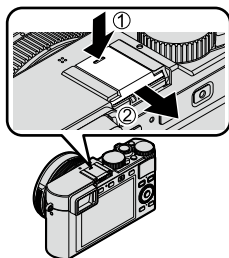
本機の電源スイッチを [OFF] にしてください。

ホットシューカバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印 ① の方向に押しながら、矢印 ② の方向に引いて取り外す

- ・ご使用にならないときは、必ずホットシューカバーを取り付けてください。
- ・ホットシューカバーの紛失にお気をつけください。



■互換性のあるフラッシュを使う場合

- ① ホットシューに外部フラッシュを取り付け、本機と外部フラッシュの電源を入れる
- ② メニューを設定する

MENU ボタン → **【撮影】** → **【フラッシュ設定】**

③ ▲▼ で [フラッシュモード] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

④ ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。

: 外部フラッシュ強制発光

: 外部フラッシュスローシンクロ

: 外部フラッシュ発光禁止

本機との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることでできる製品をお使いください。
- 絞り優先モードまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先モードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）

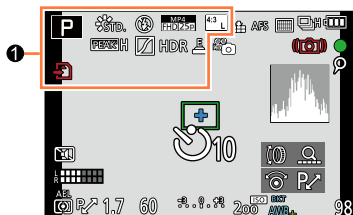
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものが 있습니다。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 本機に対応した外部フラッシュ以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが [OFF] でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを [白] に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。（P.105）
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

モニター / ファインダーの表示一覧

モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 画面は「モニター表示スタイル」を「」（モニタースタイル）に設定時の例です。

撮影時



	撮影モード (P.59)
	動画撮影モード (P.58)
	「4K フォト」を「ON」に設定時の動画撮影モード (P.192)
	カスタムセット (P.60)
	パノラマ撮影モード (P.150)
	フォトスタイル (P.100)
	フラッシュモード (P.181、261)
	フラッシュ設定 (P.183)
	記録方式 / 画質設定 (P.185)
	画像横縦比 / 記録画素数 (P.108)
	カード (記録時のみ表示) (P.25)
	パノラマ撮影方向 (P.150)
	画像効果 (フィルター) 種別 (P.89)

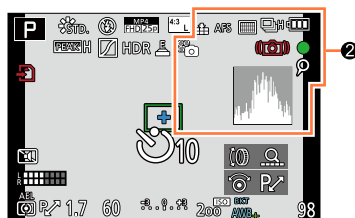
	画像効果 (フィルター) 調整表示 (P.91)
	記録経過時間*1 (P.187)
	同時記録表示 (P.195)
	ファインダー / モニター自動切換 (P.54)
	ピーキング (P.130)
	ハイライトシャドウ (P.102)
	HDR (P.112)
	多重露出 (P.160)
	電子シャッター (P.140)

*1 m は「minute (分)」, s は「second (秒)」を省略した表示です。

*2 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

*3 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

モニター / ファインダーの表示一覧

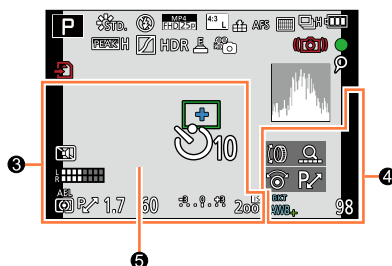


②

	RAW	クオリティ (P.109)
	フォーカスモード (P.114)	
	オートフォーカスモード (P.115)	
	個人認証 (P.163)	
	AF ロック (P.133)	
	連写 (P.142)	
	オートブラケット (P.145)	
	アスペクトブラケット (P.147)	
	セルフタイマー (P.148)	
	パノラマ撮影方向 (P.150)	
	バッテリー残量表示 (P.21)	
	写真撮影 (写真優先) (P.195)	
	マクロ撮影 (P.126)	

	手ブレ補正 (P.169)
	手ブレ警告表示 (P.169)
	記録動作 (赤点減) / フォーカス (緑点灯) (P.56)
	フォーカス (低照度時) (P.56)
	Wi-Fi 接続状態
	[4K フォト] マーカー (P.193)
	インターバル撮影 (P.153)
	コマ撮りアニメ (P.156)
	ヒストグラム表示 (P.64)

モニター / ファインダーの表示一覧



③

旅行先・トラベル経過日数※2 (P.42)
名前・月齢 / 年齢※2 (P.166)
現在日時※2 / ワールドタイム※2 : 飛行機 (P.41)

	AF エリア (P.56、121)
+	スポット測光ターゲット (P.139)
	セルフタイマー※3 (P.148)
	サイレントモード (P.162)
	マイクレベル表示 (P.197)
AEL	AE ロック (P.133)
	測光モード (P.139)
P	プログラムシフト (P.81)
1.7	絞り値 (P.56)
60	シャッタースピード (P.56)
-3.0 +3.0	露出補正值 (P.135)
	マニュアル露出アシスト (P.87)
200	ISO 感度 (P.136)

④

	ダイヤル操作ガイド (P.18)
BKT AWB+	ホワイトバランスブラケット (P.106)
	ホワイトバランス微調整 (P.105)
	ホワイトバランス (P.103)
98	記録可能枚数※4 (P.27)
RXXmXXs	記録可能時間※1、※4 (P.28)

⑤

露出メーター (P.81)
ズーム表示 (P.171、175)

※1 m は「minute (分)」, s は「second (秒)」を省略した表示です。

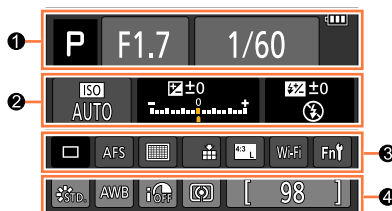
※2 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

※3 カウントダウン中に表示されます。

※4 [カスタム] メニューの [残枚数 / 残時間切換] の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

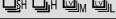
モニター / ファインダーの表示一覧

■モニター撮影情報画面



1	①	撮影モード (P.59)
	P	プログラムシフト (P.81)
	A	動画撮影モード (P.58)
	S	[4K フォト] を [ON] に設定時の動画撮影モード (P.192)
	M	カスタムセット (P.60)
	C1	パノラマ撮影モード (P.150)
	F1.7	絞り値 (P.56)
	1/60	シャッタースピード (P.56)
	TIME	タイム撮影 (P.87)
	BATT	バッテリー残量表示 (P.21)
	SD	カード (動画記録時のみ表示) (P.25)

2	②	ISO 感度 (P.136)
	AUTO	露出補正值 (P.135)
	±0	マニュアル露出アシスト (P.87)
	FLASH	フラッシュモード (P.181、261)
	±0	フラッシュ設定 (P.183)

③		単写 (P.141)
		連写 (P.142)
		オートブラケット (P.145)
		アスペクトブラケット (P.147)
		セルフタイマー (P.148)
		パノラマ撮影方向 (P.150)
	AFS AFF AFC MF	フォーカスモード (P.114)
		オートフォーカスモード (P.115)
		クオリティ (P.109)
		記録方式 / 画質設定 (P.185)
		画像横縦比 / 記録画素数 (P.108)
	Wi-Fi	Wi-Fi (P.222)
	Fn	ファンクションボタン設定 (P.37)

4	
	フォトスタイル (P.100)
	ホワイトバランス (P.103)
	iD レンズコントロール (P.111)
	測光モード (P.139)
98	記録可能枚数 (P.27)
R8m30s	記録可能時間※1 (P.28)

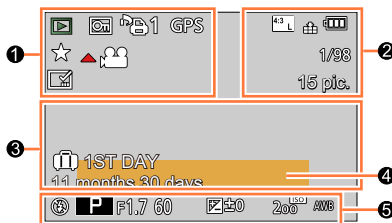
*1 m は「minute (分)」, s は「second (秒)」を省略した表示です。

*2 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

*3 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

モニター / ファインダーの表示一覧

再生時



①

	再生モード (P.203)
	プロテクト (P.218)
	プリント枚数 (P.217)
	GPS 位置情報あり (P.204)
	お気に入り (P.216)
	ケーブル切断禁止アイコン (P.257)
	動画再生 (P.70)
	パノラマ再生 (P.151)
	連写グループ連続再生 (P.198)
	インターバル撮影グループ連続再生 (P.198)
	コマ撮りグループ連続再生 (P.198)
	文字焼き込み済み (P.209)
XXmXXs	再生経過時間※1 (P.70)

③

	情報取得中アイコン (P.272)
	1 日目 トラベル経過日数 (P.42)
	サイレントモード (P.162)
11 ヵ月 30 日	月齢 / 年齢 (P.166)

④

名前※2 (P.165、166)
旅行先※2 (P.42)
タイトル※2 (P.208)

⑤

撮影情報

②

	画像横縦比 / 記録画素数 (P.108)
	※3 記録方式 / 画質設定 (P.185)
	※4 画質設定 (P.185)
	クオリティ (P.109)
	バッテリー残量表示 (P.21)
1/98	画像番号 / トータル枚数
15 枚	連写枚数
XXmXXs	動画記録時間※1 (P.70)

※1 m は「minute (分)」, s は「second (秒)」を省略した表示です。

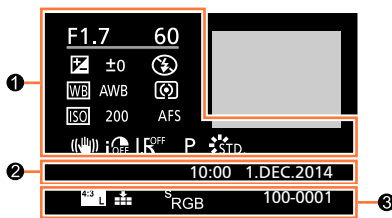
※2 タイトル、旅行先、名前 (赤ちゃん / ペット)、名前 (個人認証) の優先順位で表示されます。

※3 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

※4 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

モニター / ファインダーの表示一覧

■詳細情報表示



①

撮影情報

iOFF	iD レンジコントロール (P.111)
HDR ON	HDR ※1 (P.112)
LR OFF	超解像 (P.111)
4K	[4K フォト] を [ON] に設定して撮影した 4K 動画またはその動画から切り出した写真 (P.192)

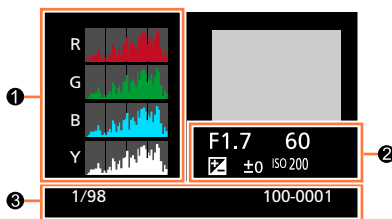
②

撮影日時 / ワールドタイム (P.41)

③

4:3	画像横縦比 / 記録画素数 (P.108)
RAW	クオリティ (P.109)
MP4 ※2 FHD 30p MP4 ※3 FHD 25p	記録方式 / 画質設定 (P.185)
S RGB	色空間 ※1 (P.113)
100-0001	フォルダー・ファイル番号 (P.255)

■ヒストグラム表示



①

ヒストグラム (P.64)

②

撮影情報

③

1/98	画像番号 / トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号 (P.255)

※1 動画には表示されません。

※2 カメラモデル 18 471 / 18 472 の場合

※3 カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合

メッセージ表示

モニター / ファインダーに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？

- ・ 本機では認識できないフォーマットです。
→ パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.26) してください。

カードを入れ直してください / 別のカードでお試してください

- ・ カードへのアクセスに失敗しました。
→ カードを入れ直してください。
- ・ 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください

- ・ データの読み込みに失敗しました。
→ カードが確実に入っているか確認してください。(P.24)
- ・ データの書き込みに失敗しました。
→ 電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れてください。
- ・ カードが壊れている可能性があります。
→ 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- ・ 動画の [画質設定] によって必要なカードが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、25 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
→ 推奨のスピードクラスのカード (P.25) を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット (P.26) することをお勧めします。

メモリーカードエラー / このカードは使用できません

- ・ 本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。

放送方式 (NTSC/PAL) の異なるデータが存在するため、記録できません。

- ・ パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。(P.26)
→ 別のカードを入れてお試してください。

■バッテリーについて

このバッテリーは使えません

- ・ライカ純正品のバッテリーをお使いください。
- ・バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。
→端子部のごみなどを取り除いてください。

■Wi-Fi 機能について

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- ・無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
→本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P.242)
→無線アクセスポイントの電源が入っていません。
→本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- ・接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- ・他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。
→無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信する画像がありません

- ・送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。(P.236)

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。 /

ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- ・無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。
→無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- ・サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。
→しばらくしてから再度実行してください。
- ・無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。
→もう一度接続してください。

通信できませんでした

- ・接続先のスマートフォンについて、以下をご確認ください。
-スマートフォンが動作していません。
-スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
-スマートフォンの保存容量に空きがありません。

メッセージ表示

送信先の制限のため、送信されないファイルがあります /

送信完了しました。送信先の制限により、未送信のファイルがあります。

- 送信する画像のファイル形式を確認してください。
- 動画を送信する場合、ファイルサイズが大きいと送信できない場合があります。[動画分割] で動画を分割してください。(P.211)

IP アドレスが取得できません。アクセスポイントの IP アドレス設定を DHCP にしてください。

- 接続する無線アクセスポイントの IP アドレスの DHCP 設定を有効にしてください。

サーバと接続できませんでした

- ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。

■その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF 規格 (P.67) に準拠していない画像は消去できません。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。(P.26)

この画像には設定できません

- DCF 規格 (P.67) に準拠していない画像は [プリント設定]、[タイトル入力]、[文字焼き込み] などができません。

電源を入れ直してください / システムエラー

- レンズが正常に動作しませんでした。
→電源を入れ直してください。(それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

フォルダーを作成できません

- フォルダー番号を 999 まで使っています。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。(P.26) [番号リセット] (P.50) を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。

16:9TV 用で出力します / 4:3TV 用で出力します

- 本機に AV ケーブルが接続されました。
→メッセージをすぐに消す場合: [MENU/SET] ボタンを押す。
→画面表示の比率を変える場合: [テレビ画面タイプ] の設定を変えてください。(P.47)
- USB 接続ケーブル (付属) が本機だけに接続されました。
→ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。

情報取得中のため、編集操作はできません

- 画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン []、[] が長時間表示されることがあります。一部の [再生] メニューの使用はできません。
→情報取得中に電源を切った場合、それまでに情報を取得できた画像のみがグループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。

メニュー一覧

📷 [撮影]

画素数やフラッシュなどの設定ができます。

- ・ [フォトスタイル]、[AFS/AFF/AFC]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

フォトスタイル	撮りたいイメージに合わせて、効果を選択することができます。 効果の色や画質を調整することができます。	P.100
記録画素数	記録画素数を設定します。	P.108
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。	P.109
AFS/AFF/AFC	ピントの合わせ方を設定します。	P.114
測光モード	明るさを測る測光方式を切り換えることができます。	P.139
連写速度	連写時の連写速度を設定します。	P.142
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写 / 連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。	P.146
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。	P.148
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。	P.102
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。	P.111
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。	P.111
フィルターなし 同時記録	フィルターありの画像とフィルターなしの画像を、同時に記録するかしないかを設定します。	P.91
i 手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し 1 枚の画像に合成します。	P.78
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。	P.79
HDR	露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。	P.112
多重露出	1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。	P.160
インターバル撮影	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。	P.153
コマ撮りアニメ	写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。	P.156
パノラマ撮影方向	パノラマ撮影時の撮影方向を設定します。	P.150

シャッター方式	メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。	P.140
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。	P.181
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。	P.181
ISO 感度上限設定	ISO 感度が [AUTO] または [ISO] のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。	P.137
ISO 感度ステップ	ISO 感度の設定を 1/3EV ごと、または 1EV ごとの設定値に変更します。	P.138
拡張 ISO 感度	設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。	P.138
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。	P.113
iA ズーム	画像の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げることができます。	P.173
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。	P.174
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。	P.113
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。	P.169
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。	P.163
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢 / 年齢を画像に記録することができます。	P.166

【動画】

画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF/AFC]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

詳しくは、[撮影] メニューの同じ項目をお読みください。

4K フォト	4K 動画の 1 コマを切り出して高画質の写真を作成する際の動画モードを設定します。	P.192
画質設定	記録する動画の画質（サイズ、フレームレートなど）を設定します。	P.185
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。	P.195
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。	P.186
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。	P.197
マイクレベル設定	音声入力のレベルを 4 段階に調整します。	P.197
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。	P.197

た [カスタム]

画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

カスタムセット呼出	[カスタムセット登録] で登録した設定を呼び出します。	P.60
カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。	P.60
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。	P.162
AF/AE ロック切換	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。	P.133
AF/AE ロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の [AF/AE] のボタン動作を設定します。	P.133
シャッター半押し AF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。	P.124
シャッター半押し リリース	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。	P.124
クイック AF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。	P.124
アイセンサー AF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。	P.55
ピンポイント AF 時間	オートフォーカスモードを [+] に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。	P.122
ピンポイント AF 表示	オートフォーカスモードを [+] に設定時、アシスト画面を画面の一部に表示するか、全画面表示にするかを設定します。	P.122
AF 補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。	P.125
ダイレクト フォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。	P.123 P.131
フォーカス / リリース 優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。	P.125
AF + MF	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。	P.125
MF アシスト	MF アシスト (拡大画面) の表示方法を設定します。	P.131
MF アシスト表示	MF アシスト (拡大画面) を画面の一部に表示するか、全画面表示にするかを設定します。	P.132
MF ガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。	P.129

ピーキング	手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。	P.130
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	P.64
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。	P.65
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起きている部分を黒と白の点滅で表示します。	P.72
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。	P.167
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。	P.168
常時プレビュー (M モード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。	P.87
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。	P.81
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。	P.18
EVF 表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。	P.63
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を切り換えます。	P.62
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を切り換えます。	P.65
記録枠表示	写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換えます。	P.189
残枚数 / 残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。	P.28
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	P.57
ファンクション Fn ボタン設定	特定のボタンに、よく使う機能を割り当てることができます。	P.37
ズームレバー	ズームレバーの動作を切り換えることができます。	P.176
コントロールリング	よく使う機能をコントロールリングに割り当てることができます。	P.40
ズーム位置メモリー	電源を切ったときのズーム位置を記憶します。	P.176
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。	P.34
A ボタン切換	スナップショットモードに切り換えるときに [A] ボタンの操作方法を切り換えます。	P.75
動画ボタン	動画ボタン動作の有効 / 無効を設定します。	P.189
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。	P.55

✕ [セットアップ]

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。

時計設定	日時と表示方法を設定します。	P.29
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。	P.41
トラベル日付	旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。	P.42
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。	P.247
電子音	電子音や電子シャッター音を設定します。	P.43
ライブビューモード	撮影時の画面（ライブビュー画面）の表示速度・画質を設定します。	P.43
モニター調整 / EVF 調整	モニター / ファインダーの明るさや色合いを調整します。	P.44
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。	P.45
スリープモード	設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源が切れます。	P.46
USB モード	USB 接続ケーブル（付属）でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。	P.47
テレビ接続設定	本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。	P.47
メニュー位置メモリー	直前に操作したメニューの選択位置を記憶します。	P.49
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目 / 設定内容の説明文を表示します。	P.49
言語設定	画面に表示させる言語を設定します。	P.49
バージョン表示	本体または付属のフラッシュ（装着時）のファームウェアバージョンを確認できます。	P.50
セルフタイマー自動解除	電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。	P.50
番号リセット	画像のファイル番号をリセットします。	P.50
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.50
Wi-Fi 設定リセット	[Wi-Fi] で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	P.51
フォーマット	カードをフォーマット（初期化）します。	P.26

▶【再生】

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

スライドショー	写真や動画を順に自動再生します。	P.201
再生モード	カテゴリーやお気に入りの画像など、設定した条件で表示する画像を絞り込むことができます。	P.203
位置情報記録	スマートフォンから送信された位置情報（緯度・経度）を画像に書き込むことができます。	P.204
RAW 現像	RAW 形式で撮影した写真をカメラで JPEG 形式で現像できます。	P.205
タイトル入力	撮影した画像に文字（コメント）を入力します。	P.208
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。	P.209
動画分割	1 つの動画を 2 つに分割します。	P.211
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。	P.212
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りアニメグループから動画を作成します。	P.212
リサイズ（縮小）	画像のサイズ（記録画素数）を小さくします。	P.213
トリミング（切抜き）	写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。	P.214
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。	P.215
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。	P.215
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。	P.216
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。	P.217
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。	P.218
認証情報編集	間違えて個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。	P.219
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。	P.220
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [[はい] / [[いいえ]] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。	P.220

Q&A 故障かな？と思ったら

①まず、以下の方法 (P.280 ～ 293) をお試しください。

それでも解決できない場合は、

② [セットアップ] メニューの [設定リセット] (P.50) を行うと症状が改善する場合があります。

■電源、バッテリー

電源を入れても動作しない。

- バッテリーが正しく入っていない。(P.24) または、消耗している。

電源を入れてもすぐ切れる。

- バッテリーが消耗している。

電源が勝手に切れる。

- スリープモードが働いている。(P.46)
- HDTV リンク (HDMI) 対応のテレビと HDMI マイクロケーブルで接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。
→ HDTV リンク (HDMI) を使用しない場合は、本機の [HDTV リンク] を [OFF] に設定してください。(P.49)

バッテリーの消耗が早い。

- 長時間 Wi-Fi 接続を行っている。
→ Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。[スリープモード] (P.46) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

Q&A 故障かな？と思ったら

■撮影

撮影できない。

- カードの残量がない。
→不要な画像を消去してください。(P.73)
- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
- ピントが合っていない。
→「フォーカス/リリース優先」が「フォーカス」に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影されません。(P.125)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズが汚れている。(指紋などの汚れが付いている)
→電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- 露付きが起きている。(P.12)

撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。

- 露出を補正してください。(P.135)
- 不適切な状態で AE ロック (P.133) がかかっている。

ズームの動きが一瞬止まる。

- EX 光学ズーム時にズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

シャッターボタンを 1 回押すと、複数枚撮影される。

- オートブラケット、ホワイトバランスブラケット、アスペクトブラケット、「連写」を設定している。セルフタイマーを「」に設定している。
→設定を解除してください。(P.106、141)

ブラケット撮影ができない。

- カードのメモリー残量がない。
→カードのメモリー残量をご確認ください。

ピントが合わない。

- 撮影可能範囲から外れている。(P.126)
- 手ブレや被写体ブレしている。(P.169)
- 「フォーカス/リリース優先」が「リリース」になっている。(P.125)
- 「シャッター半押し AF」が「OFF」になっている。(P.124)
- 不適切な状態で AF ロック (P.133) がかかっている。

Q&A 故障かな？と思ったら

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。

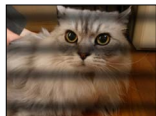
- ・ 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
→ 脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。
- ・ 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー (P.148) をお勧めします。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- ・ 以下をお試しください。
→ [ISO 感度] を低くしてください。(P.136)
→ 明るい場所で撮影してください。
→ [フォトスタイル] の [ノイズリダクション] をプラス方向にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P.101)
→ [長秒ノイズ除去] を [ON] に設定してください。(P.113)
→ [記録画素数] (P.108) と [クオリティ] (P.109) の設定を変更してください。
- ・ デジタルズーム使用時は、ズームするほど画質が粗くなります。

蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しまが出る。被写体がゆがんで見える。

- ・ 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがあります。
- ・ [電子シャッター] で写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P.84)



撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

- ・ 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化することがあります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- ・ 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

撮影時に、画面に赤っぽい横すじが出る。

- ・ 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。
- ・ 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。

動画撮影が途中で止まる。

- ・ 動画の [[画質設定] によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、25 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- ・ 推奨のスピードクラスのカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているのので、バックアップをとりフォーマット (P.26) することをお勧めします。

Q&A 故障かな？と思ったら

動画撮影中に画面が暗くなる。

- 動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波（電波塔、高圧線など）により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影させる場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

パノラマ撮影が途中で止まる。

- カメラを動かす速度が遅いと、カメラを止めたと判断し、撮影が終了します。
- カメラを動かすときに、撮影方向に対して揺れが大きいと撮影を終了します。

AF ロックできない。（動体追尾できない）

- 被写体と背景の色が似ていると、追尾 AF が働かないことがあります。被写体の特徴的な色の部分を AF ロックしてください。

操作音が小さい、または聞こえない。

- スピーカーが塞がっている。
- [サイレントモード] が [ON] になっている。(P.162)

Q&A 故障かな？と思ったら

■モニター / ファインダー

電源 [ON] 中に、モニター / ファインダーが消える。

- ・アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。(P.54)

モニターに画像が出ない。

- ・ファインダー表示になっている。
→ [EVF] ボタンを押して、モニター表示に切り換えてください。(P.54)
- ・モニターが消灯になっている。
→ [DISP] ボタンを押して表示情報を切り換えてください。(P.62)
- ・HDMI マイクロケーブルでテレビとカメラを接続すると、次の場合はモニターとファインダーに画像が出ません。
- 再生時

明るさが不安定になる。

- ・シャッターボタンを半押ししたときに絞り値を設定するためです。(撮影画像に影響はありません)ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。

室内でちらつく。

- ・電源周波数が 50 Hz の地域では、電源を入れてから数秒間、画面がちらつく場合があります。これは蛍光灯や LED などの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。

明るすぎる、または暗すぎる。

- ・[モニター輝度] の設定を確認してください。(P.45)
- ・[モニター調整] / [EVF 調整] で明るさを調整してください。(P.44)

黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。モニターを押さえるとムラが出る。

- ・故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。

モニターにノイズが出る。

- ・暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出る場合があります。

[EVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- ・パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

Q&A 故障かな？と思ったら

■フラッシュ

【フラッシュ設定】ができない。

- フラッシュが正しく取り付けられていない。
→フラッシュを正しく取り付けてください。(P.177、261)
- フラッシュ設定について、詳しくは P.177 ~ 184、261 をお読みください。

発光しない。

次の場合は発光しません。

- 画像効果（フィルター）設定時
- オートブラケット、ホワイトバランスブラケット、アスペクトブラケット設定時
- 連写撮影時
- パノラマ撮影時
- [HDR] を [ON] に設定時
- 電子シャッター使用時 (P.140)
→ [シャッター方式] を [AUTO] または [メカシャッター] に設定してください。
- サイレントモード使用時 (P.162)
→ [サイレントモード] を [OFF] に設定してください。

フラッシュが2回発光する。

- ([フラッシュ設定] の [発光モード] を [マニュアル] に設定時を除く) 特に赤目軽減 (P.181) に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。

Q&A 故障かな？と思ったら

■再生

画像が勝手に回転して小さく表示される。

- ・[縦位置自動回転] を設定している。(P.215)

再生できない。撮影した画像がない。

- ・カメラにカードが入っていない。
- ・カードに再生できる画像がない。
- ・パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
- ・[再生モード] を [通常再生] 以外に設定している。
→ [再生モード] を [通常再生] に設定してください。(P.203)

フォルダー・ファイル番号が [—] で表示される。画像が黒く表示される。

- ・パソコンで編集、または他機で撮影した。
- ・撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。
→ 消去するには、本機でフォーマットしてください。(P.26)

カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。

- ・パソコンで編集、または他機で撮影した。
- ・[時計設定] が正しくない。(P.29) (パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります)

撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。

- ・室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。



画面に [サムネイル表示] と表示される。

- ・他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- ・デジタル赤目補正 ([⚡👁️]、[⚡👁️]) が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。
→ フラッシュを [⚡] または [デジタル赤目補正] を [OFF] にして撮影することをお勧めします。(P.181)

Q&A 故障かな？と思ったら

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が小さい。

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] (P.186) で [OFF] に設定することができます。
- 動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画の最後に操作音が記録される。

- 動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。操作音が気になる場合は、以下をお試してください。
→ [再生] メニューの [動画分割] (P.211) で動画の終わりの部分を分割してください。動画分割は最後のあたりでは分割できない場合があります。3 秒ほど長めに撮影してください。

再生音や操作音が小さい。

- スピーカーを塞いでいる。(P.15)

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 本機で撮影された動画は、MP4 に対応した機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

Q&A 故障かな？と思ったら

■Wi-Fi 機能について

無線 LAN に接続できない。電波が途切れる。

- 無線 LAN ネットワークの通信圏内でご使用ください。
- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。
→無線アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 電波が途切れる場合は、無線アクセスポイントの置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。
- 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知設定の場合、自動接続できない場合があります。
→無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？
→同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが 5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？
→5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます)
- [セットアップ] メニューの [Wi-Fi 設定リセット] をお試しください。

Q&A 故障かな？と思ったら

無線アクセスポイントが表示されない。または接続できない。

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの近くで接続してください。
 - 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
 - 本機の向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの設定内容をご確認ください。
 - 本機が対応している無線チャンネルは 1 ～ 11 チャンネルです。無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1 ～ 11 チャンネルの中から選び、設定してください。
- 電波状況により無線アクセスポイントが見つからない場合があります。
 - 【マニュアル入力】を行ってください。(P.242)
- 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されていませんか？
 - 非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して設定してください。(P.241)
- 無線アクセスポイントにより接続方式が異なります。
 - 無線アクセスポイントの説明書をご確認ください。

スマートフォンとの接続に毎回時間がかかる。

- スマートフォンの Wi-Fi 接続設定によっては時間がかかることがあります。故障ではありません。

スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能の ON/OFF を切り換えてみてください。

Q&A 故障かな？と思ったら

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

- [セットアップ] メニューの [Wi-Fi 設定リセット] を実行してください。(P.51)
ただし、お客様が [Wi-Fi 設定] で設定した情報もリセットされます。

NFC 機能を使って接続できない。

- お使いのスマートフォンが NFC に対応していない。
本機能は、Android (OS バージョン 2.3.3 以上) で NFC に対応する端末でお使いいただけます。
- スマートフォンの NFC 機能が OFF になっていませんか？
- 本機の [NFC 動作] の設定が [OFF] になっている。(P.247)
- お使いのスマートフォンによっては、認識しにくい機種があります。認識されない場合は、位置をずらすなどして、ゆっくりかざしてください。
- かざす時間が短いと認識できない場合があります。スマートフォンをしばらくかざし続けてください。

Q&A 故障かな？と思ったら

■テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。

- ・正しく接続していない。(P.249)
- ・テレビの入力切換を外部入力にしていない。
- ・[ビデオ出力] の設定を確認してください。(P.47) (カメラモデル 18 470 / 18 473 の場合)

テレビ画面とカメラの画面の表示が違う。

- ・テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。

テレビで動画再生できない。

- ・テレビにカードを入れている。
→ AV ケーブルまたは HDMI マイクロケーブルで接続し、本機で再生してください。(P.249)

テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。

- ・[テレビ画面タイプ] を確認する。(P.47)

本機のスピーカーから音が出ない

- ・AV ケーブルまたは HDMI マイクロケーブルを接続している場合、本機から音声は出ません。

HDTV リンク (HDMI) が働かない。

- ・HDMI マイクロケーブルで正しく接続されていますか？ (P.249)
→ HDMI マイクロケーブルが奥まで確実に入っていることを確認してください。
- ・本機の [HDTV リンク] を [ON] に設定していますか？ (P.49)
→ テレビの HDMI 端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
→ 接続した機器側の HDTV リンク (HDMI) の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。
→ テレビの [HDTV リンク制御 (HDMI 機器制御)] の設定を [しない] に変更し、再度 [する] に設定してください。(詳しくはテレビの取扱説明書をお読みください)

パソコンとの通信ができない。

- ・正しく接続していない。(P.254)
- ・パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。
→ 本機の [USB モード] を [PC] にしてください。(P.47)
→ 本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。

- ・USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。
- ・1 台のパソコンに 2 つ以上の USB 端子がある場合、別の USB 端子に接続してみてください。

Q&A 故障かな？と思ったら

パソコンにカードが認識されない。(SDXC メモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンが SDXC メモリーカードに対応しているか確認してください。
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの [通信中] の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブル (付属) を抜いてください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridge 対応機を使用していない。
- 本機の [USB モード] を [PictBridge(PTP)] にしてください。(P.47、257)

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)
- 写真の横縦比がプリントする用紙の横縦比と異なる。
→お店に依頼した場合、16:9 のサイズに対応しているか確認してください。

パノラマ写真がうまくプリントできない。

- パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。
→パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)
- ソフトウェアを使って、印刷する紙のサイズに合わせて画像のサイズを調整することをお勧めします (→253)。

Q&A 故障かな？と思ったら

■その他

メニューを表示する言語を変えたい。

- ・[言語設定] を変更してください。(P.49)

本機を振ると「カタカタ」と音がする。

- ・レンズが移動する音で、故障ではありません。

レンズ部から音がする。

- ・電源入または切時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ・ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。

- ・[AF 補助光] を [ON] にしている。(P.125)

AF 補助光が点灯しない。

- ・[AF 補助光] を [OFF] にしている。(P.125)
- ・明るい場所では点灯しません。

画像の一部が白と黒に点滅する。

- ・[ハイライト表示] を [ON] にしている。(P.72)

本機が熱くなる。

- ・ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- ・長期間放置した。
→再度時計を設定してください。(P.30)
- ・時計設定に時間がかかった。(その分時間がずれます)

ファイル番号が連続して記録されない。

- ・新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。(P.50)
- ・特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。

ファイル番号がさかのぼって記録される。

- ・電源を切らずにバッテリーを抜き差した。(フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録されることがあります)

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

- 長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使ってください。
 - ・テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
 - ・スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
 - ・マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
 - ・本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを一度外してから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。
- 電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
 - ・近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。
- 付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。
- スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。
 - ・スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。
 - ・かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

使用上のお願いとお知らせ

しばらく使わないとき

- 電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
(特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります)
- ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく(15℃～25℃)、湿気の少ない(湿度 40% RH～60% RH)、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1 年に 1 回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードやデータについて

- カードやデータの破損を防ぐために
 - ・高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
 - ・折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
 - ・カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
 - ・本機やパソコンの機能による [フォーマット] や [消去] では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

モニター / ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えている場合、電源を入れた直後はモニター / ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が見えたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター / ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

使用上のお願いとお知らせ

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

- 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
 - ・ 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
 - ・ スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
 - ・ 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャーも忘れずに準備してください。
- バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
 - ・ 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ・ 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- ・ 分解しないでください。



チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電には影響ありません
- AM ラジオからは 1 m 以上離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、微量の電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

使用上のお願いとお知らせ

レンズについて

- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。(レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなる場合があります)
- レンズ部を太陽に向けたまま放置しないでください。

三脚 / 一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認してください。(三脚の取扱説明書もお読みください)
- 三脚 / 一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。

個人情報について

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードを設定することをお勧めします。(P.247)
[プロフィール設定] / 個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

● 免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [Wi-Fi 設定リセット] / [消去・退会] を行って必ず消去してください。(P.51)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P.50)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻ることがあります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店またはお近くのライカカスタマーケアセンターにご相談ください。

- メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。(P.295)

使用上のお願いとお知らせ

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- LEICA/ ライカは、ライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- SUMMILUX/ ズミルックスはライカカメラ社の登録商標です。
- Adobe®Photoshop®Lightroom® は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
- Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- iMovie、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®”、“Wi-Fi Direct®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



使用上のお願いとお知らせ

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

使用上のお願いとお知らせ

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) 第三者が保有しており、ライカカメラ AG にライセンスされたソフトウェア
- (2) オープンソースソフトウェア

上記 (2) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] ボタン→ [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

ライカサービスアドレス

ライカのホームページ

製品、新製品、イベント、ライカについての最新情報は、次のアドレスのホームページに掲載されています。

<http://www.leica-camera.co.jp>

ライカデジタルサポートセンター

<技術的なお問い合わせ窓口>

Tel : 0120-03-5508

受付時間 :

月曜日～金曜日 9 : 30 - 18 : 00

祝祭日は受け付けておりません。

ライカインフォメーションサービス

お客様からのライカ製品の使用技術上の質問には、ライカインフォメーションサービスが書面、電話、ファックス、eメールで回答いたします。次の連絡先にお問い合わせください。

Leica Camera AG

Product Support / Software Support

Am Leitz-Park 5

D-35578 Wetzlar

Tel : +49 (0) 6441-2080-111 /-108

Fax : +49 (0) 6441-2080-490

info@leica-camera.com / software-support@leica-camera.com

ライカカスタマーケア

お手持ちのライカ製品のメンテナンスや修理が必要な場合は、下記のカスタマーケアまたはお近くのライカ正規販売店までご相談ください。

ライカカメラジャパン株式会社

カスタマーケア

東京都中央区銀座 6-4-1 ライカ銀座店内

Tel : 03-6215-7072

Fax : 03-6215-7073

E-mail : info@leica-camera.co.jp

Leica Camera AG

Customer Care

Am Leitz-Park 5

D-35578 Wetzlar

Tel: +49 (0) 6441-2080-189

Fax: +49 (0) 6441-2080-339

customer.care@leica-camera.com



my point of view